令和７年度　仕様書

工事名称　　川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事

工事場所　　川越市大字上戸３９０番地１ほか1箇所

【工事大要】
本工事は、学校体育館に空調設備等を整備するものである。
・機械設備工事　一式
・電気設備工事　一式
・建築工事　　一式

（対象校）
１　上戸小学校
２　広谷小学校

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
機械設備工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		
工事費	1	式		

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
【上戸小学校】				
機械設備工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
建築工事	1	式		
小計				
【広谷小学校】				
機械設備工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
建築工事	1	式		
小計				
計				

上戸小学校

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
空気調和設備	1	式		
ガス設備	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

電気設備工事　科目別内訳

上戸小学校

名　　　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
空調電源設備	1	式		
自動制御設備	1	式		
計				

上戸小学校

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
内部改修	1	式		
外部改修	1	式		
計				

広谷小学校

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
空気調和設備	1	式		
ガス設備	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

広谷小学校

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
空調電源設備	1	式		
自動制御設備	1	式		
計				

広谷小学校

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
内部改修	1	式		
外部改修	1	式		
計				

川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事

図　面　リ　ス　ト

図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称
	(上戸小学校)				(広谷小学校)		
GU－01	特記仕様書	AU－01	建築工事特記仕様書	GH－01	特記仕様書	AH－01	建築工事特記仕様書
GU－02	施工条件・案内図・配置図	AU－02	1階平面図	GH－02	施工条件・案内図・配置図	AH－02	1階平面図
		AU－03	2階平面図			AH－03	2階平面図
MU－01	冷暖房設備 機器表・凡例	AU－04	3階平面図	MH－01	冷暖房設備 機器表・凡例(1)	AH－04	現況・改修 バルクタンク配置平面図
MU－02	冷暖房設備 系統図	AU－05	4階平面図	MH－02	冷暖房設備 機器表・凡例(2)	AH－05	現況 室外機設置平面図
MU－03	1階配管平面詳細図	AU－06	改修 室外機設置平面図	MH－03	冷暖房設備 系統図	AH－06	改修 室外機設置平面図
MU－04	1階配管平面図	AU－07	各部詳細図	MH－04	1階配管平面詳細図	AH－07	各部詳細図
MU－05	4階配管平面図・断面図	AU－08	矩計図・取付架台詳細図・防球ガード参考図	MH－05	1階配管平面図	AH－08	矩計図・室内機支持参考図・防球ガード参考図
MU－06	都市ガス設備 屋外配管図			MH－06	2階配管平面図・断面図	AH－09	2階取付鋼材伏図
				MH－07	バルクタンク詳細図(参考図)	AH－10	鉄骨ブラケット詳細図
EU－01	空調制御仕様書						
EU－02	電気設備 1・3階平面図			EH－01	空調制御仕様書		
EU－03	電気設備 4階平面図			EH－02	電気設備 1階平面図		
EU－04	自動制御設備　1・3階平面図			EH－03	電気設備 2階平面図		
EU－05	自動制御設備　4階平面図			EH－04	自動制御設備　1階平面図		
				EH－05	自動制御設備　2階平面図		

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋　藤　出

検印 齋藤出　設計 齋藤出

設計年月日 R 7. 1.30
変更年月日 R 6.00.00

工事名称 川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事
図面名称 表紙・図面リスト
Scale

No.

特記仕様書

Ⅰ.工事概要

１．工事名称

川越市上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事

２．工事場所

川越市大字上戸３９０番地１ほか１箇所

３．工事内容

本工事は、川越市立上戸小学校の体育館に空調設備等を整備するものである。

４．主任技術者又は監理技術者の専任期間(建設業法により必要になった場合)

（１）専任期間の始期

請負契約締結の日から、現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事が開始されるまで）の期間については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

（２）専任期間の終期

工事完了後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

（３）専任期間の中断

自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

５．工事範囲　　図示のとおり

Ⅱ.一般事項

１．設計図書の順位

(1) 質問回答書　(2) 特記仕様書　(3) 設計図

(4) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）、（建築工事編）（最新版）、（電気設備工事編）（最新版）

公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）、（建築工事編）（最新版）、（電気設備工事編）（最新版）

公共設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）、（電気設備工事編）（最新版）

機械設備工事監理指針（最新版）、建築工事監理指針（最新版）、電気設備工事監理指針（最新版）

２．疑義に対する協議等

設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取り合い等の関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督員と協議し、指示を受けること。

３．特記仕様書のうち選択する項目は、○印の付いたものを適用する。適用しない項目等は斜線または、無印とする。

４．発生材の処理等

本工事における撤去発生材については、受注者の責任で構外に搬出し、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令に遵守し適切に処理する。

５．建設副産物実態報告について

受注時・完了時において建築副産物情報交換システムに情報を入力し、以下の書類を監督員に提出すること。

受注時：再生資源利用計画書、同促進計画書、工事登録証明書

完了時：再生資源利用実施書、同促進実施書、工事登録証明書

また、「再生資源利用〔促進〕計画」を工事現場の公衆の見えやすい場所に掲げること。

６．施工計画書

工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画および工種別に機器、材料、工法などを具体的にまとめた施工計画書を作成し監督員に提出する。ただし、施工計画書の作成を要しない簡易な工事については、あらかじめ監督員の承諾を受け、省略することができる。

７．実施工程表

工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。ただし、実施工程表の作成を要しない簡易な工事については、あらかじめ監督員の承諾を受け、省略することができる。

８．施工体制台帳・施工体系図

工事の一部を下請施工させる場合は、下請負人に関する事項を記載した施工体制台帳および施工体系図を作成し、監督員に提出すること。また、施工体系図は工事看板とともに掲示すること。

９．工事の保険等

(1)工事目的物、工事材料等について、建設保険、火災保険、組立保険等に加入し、その写しを監督員に提出する。

(2)期間は工事完成期日後１４日を含むこと。

１０．法定外労災保険等

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

１１．工事実績情報の登録

受注者は、受注時、変更時、完成時、訂正時の各時点における請負代金額が５００万円以上の工事については、工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、工事実績情報システム（コリンズ）に登録するとともに、一般財団法人日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書（登録データの一覧表を含む。）」の写しを速やかに監督員に提出しなければならない。

１２．工事写真

施工前、施工工程および完成後確認困難な箇所等を撮影し、整理のうえ、１部提出すること。

なお、本工事は、「川越市工事書類（写真）電子納品運用取扱基準」の対象工事である。

実施の可否について、工事着手前に監督員と協議すること。

取扱基準は、川越市総務部技術管理課ホームページで確認すること。

１３．中間検査

原則１回とする。

１４．完成図書

(1) 完成図：施工完成図・機器完成図および取扱説明書、保証書等をとりまとめ、２部提出すること。

(2) 完成図データ：完成図を電子データ（ｄｗｇ、ｄｘｆ、jwwなど）にて１部提出すること。

(3) 完成写真：本工事主要部分の完成写真を撮影し、アルバム整理のうえ、１部提出すること。

(4) 冷媒漏えい点検記録簿：電子データにて提出すること。

Ⅲ.環境配慮改修工事

１．一般事項

大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、建設リサイクル法その他関係法令を遵守する。

その他の一般事項は、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9.1.2 による。

２．石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について、有資格者による調査を実施し、関係省庁及び監督員に報告すること。

また、事前調査結果と届出事項、石綿ばく露防止対策等の実施内容の掲示をすること。

調査範囲（　改修範囲　）

貸与資料（・あり　　⊙なし　　）

３．石綿含有建材の事前調査により石綿含有ありと判明した場合、または図示により石綿の除去等措置が必要な場合は下記による。

（１）石綿含有成形板の除去

石綿含有成形板の除去（レベル３）

石綿含有成形板等の除去は、石綿則に基づき、原形のまま、手ばらしで行う。

ただし、やむを得ず原形のまま取り外すことが技術上著しく困難な場合は、監督員と協議のうえ、湿潤化した状態で作業を行う。

（２）石綿含有仕上塗材部の改修

アンカー打設などの穿孔作業には、集塵機能付ドリルを使用し、粉塵を回収する。

コア抜き作業には、湿式ダイヤモンドコアドリルを使用し作業を行う。

（３）石綿含有建材の処分

石綿含有建材の処分（石綿含有産業廃棄物）

（イ）石綿含有せっこうボード

埋立処分（管理型最終処分場）

（ロ）石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板および石綿含有仕上塗材

埋立処分（安定型最終処分場）

中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

（ハ）石綿含有仕上塗材部等の改修により発生した粉塵や屑ならびに濁水

埋立処分（管理型最終処分場）

４．参考図書

（１）建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策

徹底マニュアル　（厚生労働省、環境省監修　令和３年３月）

（２）石綿含有廃棄物等処理マニュアル　第３版　（環境省監修　令和３年３月）

Ⅳ. 施工条件

１．施工日及び施工時間は、次による。

（１）行政機関の休日に関する法律に定める行政機関の休日は、施工しない。

ただし、監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。

（２）学校内の施工時間は8：30～17：00。変更する必要がある場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。

（３）夜間に施工する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。

２．１．以外の施工条件は、別図GU-02による。

Ⅴ. 工事仕様

１．耐震計算に用いる設計用水平震度は、室外機設置場所が１階の場合はＫＨ＝１．０とする。

２．室外機据付のあと施工アンカーは、種類ごとに１箇所引抜試験を行うこと。

３．試験項目は以下のとおりとする。

冷媒管気密試験（試験数値は選定メーカー要領による）、現地試運転試験（吸込・吹出温度測定、風量測定、ドレン通水試験）、絶縁抵抗試験、接地抵抗試験、ガス配管気密試験

４．１系統のガス消費量が７０ｋW以上の場合、消防法の「火気使用設備等の設置届」が必要となるため、消火器設置を見込むこと。

５．冷媒配管：断熱材被覆銅管（国土交通省標準仕様適合品とする。）（断熱厚さ：液管10mm以上、ガス管20mm以上）

６．ドレン管：保温機能付空調用ドレン管（屋内）、耐候性向上仕様硬質ポリ塩化ビニル管（カラーＶＰ）（屋外・色は監督員と協議のこと）

７．冷媒管外装：カラーガルバリウム製ラッキング又は冷媒ラック（屋外）※色は監督員と協議のこと、合成樹脂製カバー（屋内）

８．連絡線：CEE-Sケーブル（原則冷媒管共巻とする）

９．リモコン線：CEE-Sケーブル

１０．電源線：CEケーブル、CETケーブル、EEFケーブル（室内機用電源線は冷媒管共巻とし、連絡線より50mm以上離隔をとること）

１１．屋外に使用する支持材は原則としてステンレス製とする。（施工状況によっては溶融亜鉛めっきも可とする）

１２．ガス設備は次による。

（1)配管材料　⊙ 都市ガス　ガス事業者の供給規定による。埋設はPE管を原則とする。

・　液化石油ガス　一般配管：　・合成樹脂被覆銅管　・SGP(白)、地中埋設：　・PE管

（２）ガス漏れ警報遮断装置　　漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。

（３）液化石油ガスの供給権　　ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。

１３．屋内にある既存の支持金物は原則再使用とするが、詳細は協議により決定する。

１４．建設発生土の処理は次のとおりとする。

⊙　本工事により発生する建設発生土については、下記に示す土質改良プラントへの搬出を想定しているが、別施設を選定する場合には、事前に監督員と協議すること。

・受入側名称（土質改良プラント）：川越市大字下赤坂１８００-３、(株)ホートー川越リサイクルプラント

・土質及び処分量：8.7m3

・搬出時期：令和８年２月～３月（予定）

・　監督員が指示する構内の場所に敷きならす。（　・敷きならし　　・たい積　）

Ⅵ. 注記事項

１．施工工程の詳細については監督員その他関係者と充分協議し、当該施設の運営等に支障をきたさないよう留意すること。

２．施工中の安全管理には充分留意し、必要に応じて標識、仮囲いなどの安全処置を施すこと。

３．本工事において、既存建物などに損傷等を与えた場合は、受注者の責任において修復すること。

４．機器等に不具合等を発見した場合は、速やかに監督員に報告すること。

５．工事目的物引渡しまでに、施設運営上やむをえず工事対象物を使用する場合は、約款に基づく部分使用に係る手続きを行う。

６．毎作業終了時には、後片付け及び清掃を行い、作業現場の美化等に努めること。

７．請負契約金額が５００万円以上の場合は、ワンデーレスポンスの対象工事とする。

８．既設の家具・什器等の移動については、原則受注者の責任により行うこととする。

９．工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行うこと。

１０．RC造の躯体のコア抜きする際は、各所レントゲン撮影等の調査を行うこと。

１１．本工事の仮設などで使用する電力やガスは、子メーターを設置するなど、使用量が分かるようにすること。

（関連工事の電気設備改修工事分も含む）

１２．工事の着手に先立ち、工事用打合せ図面（A3二つ折り製本）を２部提出すること。

１３．工事名及び工事内容を記した工事看板（内容及び設置場所について監督員と協議したもの）を設置すること。

１４．その他関連工事　⊙有り(川越市立上戸小学校ほか１校体育館電気設備改修工事)　　・無し

Ⅶ. 改修一般事項（付加事項）

１．本工事で単独に必要となる足場は下記により設ける。⊙本工事　・別契約の関係請負者が定着したものは無償で使用できる)

（１）内部足場　◔ 脚立足場　・くさび緊結式足場（手すり先行方式）　◔ローリングタワー

（２）外部足場　・Ａ種　⊙Ｂ種（くさび緊結式足場（手すり先行方式））　・C種　・Ｄ種　・Ｅ種　・Ｆ種

なお、本工事で設置した足場作業構台の類は、無償で別契約の関係受注者等に使用させること。

特記事項

斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R７．１．30 変更年月日 R６．00.00	工事名称	川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事	No. GU-01
				図面名称	(上戸小学校) 特記仕様書　　Scale	

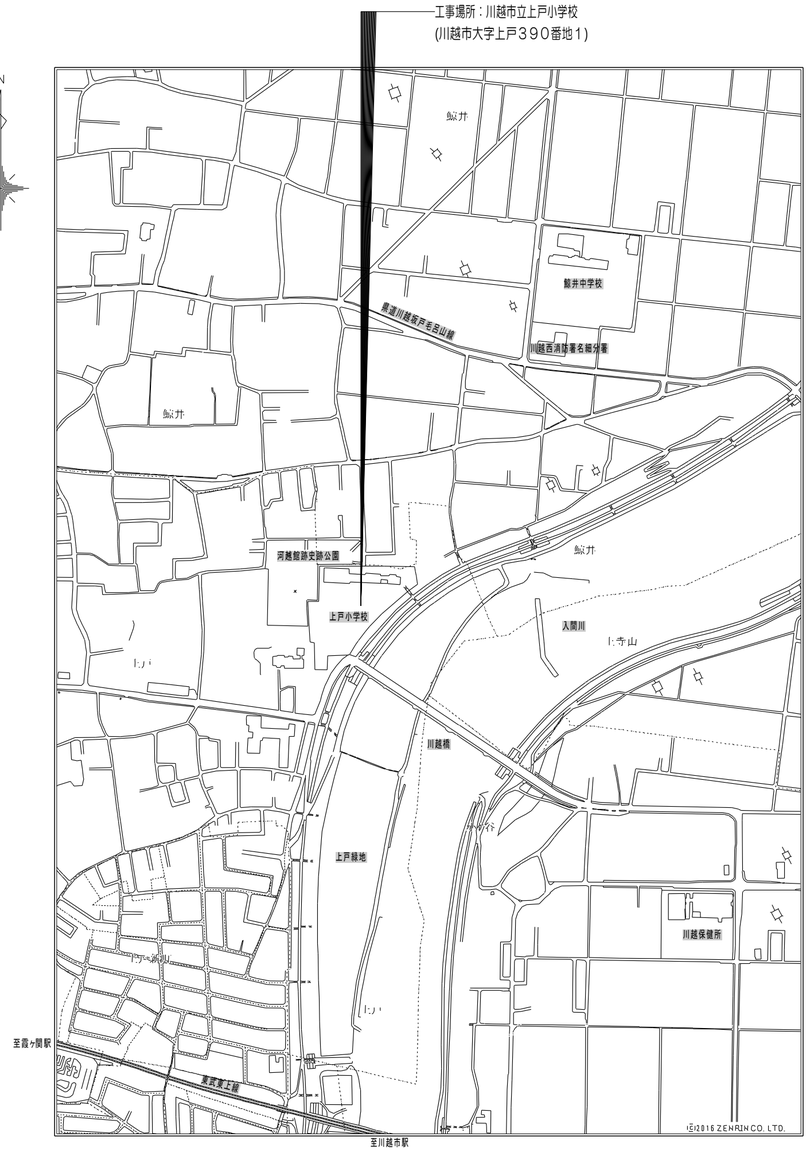
施工条件等(上戸小学校)　※（　）は、小学校は「児童」、中学校は「生徒」と読み替える。

■本工事は、工事施工の箇所を施設運営中に体育館利用を休止して施工するため、以下の点につき配慮し、作業及び工程管理を行うこと。
- 施設運用中の作業では、騒音等に十分配慮するとともに、※（児童又は生徒）や教職員、一般利用者などへの十分な安全対策を施すこと。
- 現場作業により備品等の破損が無いよう細心の注意を払い作業を行うこと。
- 工事期間中、施工部屋以外の※（児童又は生徒）や教職員、一般利用者などへの動線を確保すること。
- 施設の運用に支障をきたさぬよう作業実施日や養生についての施設管理者側の要望に対し柔軟に対応すること。
- 休校日または、運営時間外に実施しなければならない作業の際は、監督員や施設管理者等の許可を得て作業を行うこと。
- 現調や準備作業等を行う際は、監督員や施設管理者と日程や場所の調整を行うこと。

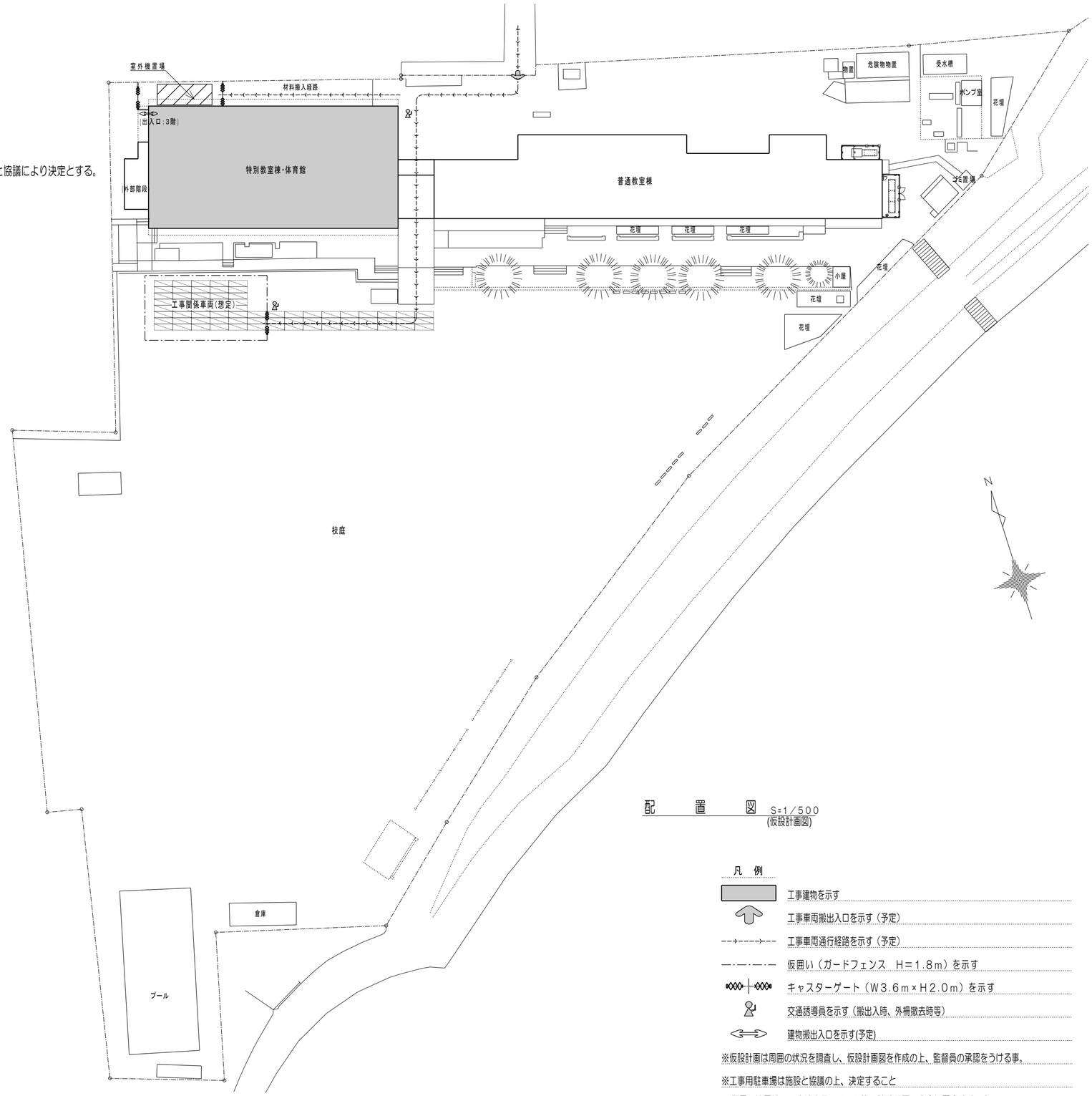
■屋内施工については、原則として下記の○印期間に施工すること。なお、詳細な作業実施時期ついては契約後、受注者、監督員及び施設管理者と協議により決定とする。

1．令和７年８月下旬から１０月上旬のうち、概ね１ヶ月程度

② 令和７年１２月上旬から令和８年１月下旬のうち、概ね１ヶ月程度（年末年始の閉庁日を除く）



案　内　図



配　置　図　S=1／500
(仮設計画図)

凡　例

- 工事建物を示す
- 工事車両搬出入口を示す（予定）
- 工事車両通行経路を示す（予定）
- 仮囲い（ガードフェンス　H＝1.8m）を示す
- キャスターゲート（W3.6m×H2.0m）を示す
- 交通誘導員を示す（搬出入時、外構撤去時等）
- 建物搬出入口を示す(予定)

※仮設計画は周囲の状況を調査し、仮設計画図を作成の上、監督員の承認をうける事。

※工事用駐車場は施設と協議の上、決定すること

※仮囲い範囲外の工事はカラーコーン等で随時区画し安全に配慮すること。

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 7．1．30	川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事	GU-02
		変更年月日 R 7．00．00	図面名称 (上戸小学校) 施工条件・案内図・配置図	Scale 1／500

機器表

電源周波数：50Hz

記号	機器名称	台数	機器仕様	相（φ）	電圧（V）	冷房消費電力（KW）	暖房消費電力（KW）	設置場所 階	設置場所 室名
＜冷暖房設備＞									
体ＧＨＰ－１	ガスヒートポンプエアコン	１組	屋外機型式：　停電時自立運転対応型ビル用マルチエアコン、	1	200	1.33	1.19	１階	屋外機置場
（親機）	マルチ屋外機		都市ガス仕様、相当馬力：20馬力		発電時	0.13	0.13		
			冷房能力：　56.0 kW　暖房能力：　63.0 kW						
			ガス消費量(非発電時)　冷房：46.1kW、暖房：42.7kW						
			ガス消費量(発電時)　冷房：49.2kW、暖房：45.6kW						
			発電機容量：4.5kVA						
			公共建築工事標準仕様、防振架台、臭化低減機能						
			分岐配管セット、ドレンホースキット、動力制御盤(電源切替盤)、自立運転スイッチ						
			他付属品一式						
			機器重量：　870 kg						
			外形寸法：　2026Wx880(+80)Dx2228H						
体ＧＨＰ－１－１	ガスヒートポンプエアコン	４台	屋内機型式：　天井吊形、相当馬力：5馬力	1	200	84W	84W	４階	体育館
	屋内機		冷房能力：　14.0 kW　暖房能力：　16.0 kW						
			ロングライフフィルター、防球ガード、防振吊具、他付属品一式共						
			機器重量：　33 kg						
			外形寸法：　1595Wx680Dx210H						
体ＧＨＰ－２	ガスヒートポンプエアコン	１組	屋外機型式：　停電時自立運転対応型ビル用マルチエアコン、	1	200	1.33	1.19	１階	屋外機置場
（子機）	マルチ屋外機		都市ガス仕様、相当馬力：20馬力		発電時	0.13	0.13		
			冷房能力：　56.0 kW　暖房能力：　63.0 kW						
			ガス消費量(非発電時)　冷房：46.1kW、暖房：42.7kW						
			ガス消費量(発電時)　冷房：49.2kW、暖房：45.6kW						
			発電機容量：4.5kVA						
			公共建築工事標準仕様、防振架台、臭化低減機能						
			分岐配管セット、ドレンホースキット、他付属品一式						
			機器重量：　820 kg						
			外形寸法：　2026Wx880(+80)Dx2228H						
体ＧＨＰ－２－１	ガスヒートポンプエアコン	４台	屋内機型式：　天井吊形、相当馬力：5馬力	1	200	84W	84W	４階	体育館
	屋内機		冷房能力：　14.0 kW　暖房能力：　16.0 kW						
			ロングライフフィルター、防球ガード、防振吊具、他付属品一式共						
			機器重量：　33 kg						
			外形寸法：　1595Wx680Dx210H						

記号	機器名称	台数	機器仕様	相（φ）	電圧（V）	消費電力（KW）	設置場所 階	設置場所 室名
ＲＣ－１	ワイヤードリモコン	４台	型式：　ワイヤードリモコン	-	-	-	３階	体育館
			液晶画面付、運転ランプ、操作スイッチ、他付属品一式					（空調操作盤内）
Ｆ－１	搬送ファン	８台	型式：　エアー搬送ファン　標準タイプ	1	200	73W	４階	体育館
			風量：　1365 m3/ｈ					
			吊金具共、ON/OFFスイッチ、他附属品一式					

凡例（新設）

記号	名称	仕様
——R——	冷媒管	断熱材被覆銅管
		断熱材の厚さ：液管は10.0mm以上　ガス管は20.0mm以上とする。
		屋外露出部はカラーガルバリウム鋼板カバーに納める。
		屋内露出部は合成樹脂製カバーに納める。
		冷媒管の自重負荷及び熱膨張負荷軽減のため、冷媒管の竪管へ１箇所竪バンドを
		設けること。
		図中の冷媒管サイズが選定メーカーの仕様と異なる場合は、メーカー仕様を優先する。
——D——	ドレン管	屋外：耐候性向上仕様硬質ポリ塩化ビニル管(カラーVP)
		屋内：保温機能付空調用ドレン管(ACD)
		室外機接続部：ドレンホース
		屋内保温仕様（異種管接続部）
		保温筒（ＧＷ20mm厚）＋粘着テープ巻き
		注）室内機がドレンアップ仕様の場合は、ドレンアップ部を保温する。
——PG——	ガス管	屋外露出：カラー鋼管　※ガス供給会社の規定による
		土中埋設：ＰＥ管　※ガス供給会社の規定による
		GC～室外機：強化ガスホース　※ガス供給会社の規定による
——Ⓣ——	空調用ドレンチャッキ弁	掃除口付
連絡線	屋外機～屋内機	EM-CEES1.25sq-2C（冷媒管併設）
リモコン線	室内機～リモコンスイッチ	EM-MEES1.25sq-2C（露出部はメタルモール(B型)にて保護）

注記

1．選定機器する機器は公共建築工事標準仕様とする。

2．機器表に記載のガス消費量及び消費電力は参考値とする。また、機器重量及び外形寸法についても参考値とする。

3．消防法令に基づいて届出（火を使用する設備等の届出）対象の屋外機については、消防と協議の上、屋外機置場に消火器（消火器ボックス含む）を設置すること。

4．選定する機器の能力は、仕様に記載された数値以上とする。

5．GHP停電自立運転は下記について留意すること。

・停電時において、内蔵されている蓄電池装置にて自立運転が可能であること。

・自立運転時において、室内機、搬送機、コンセントおよび照明器具等に電源を供給する。

・空調操作盤は空調リモコンを実装し、課金装置に対応すること。

・上記要件を満たす空調機器等を選定すること。

なお、機器表や平面図記載の機器構成や配線仕様などは参考とし、詳細な仕様については、選定メーカーの指定する仕様に限り、別途監督員と協議し決定するものとする。

特記事項

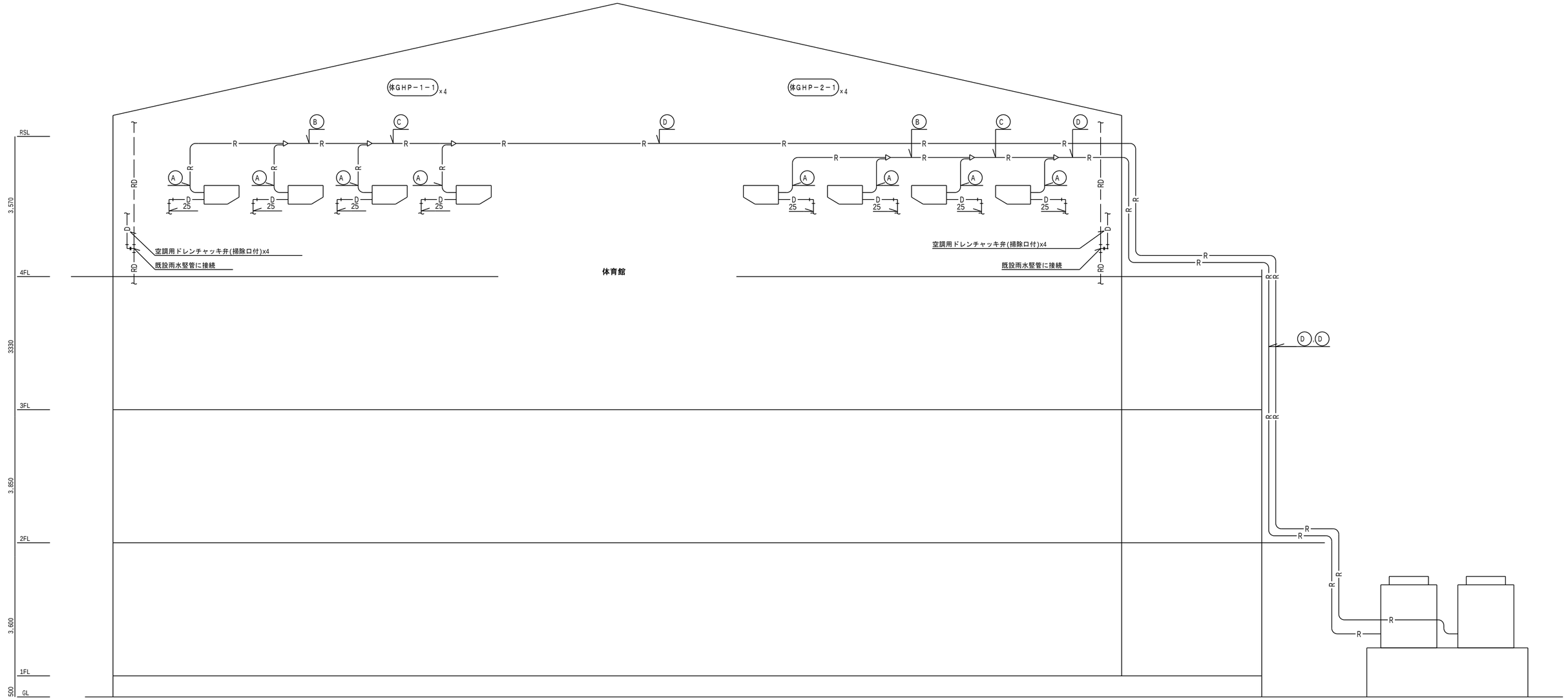
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

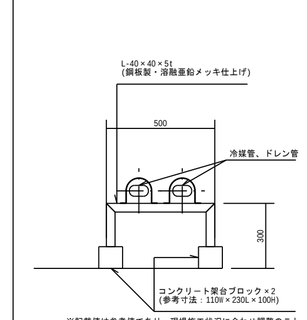
検印　設計

設計年月日　R 7. 1. 30
変更年月日

工事名称　川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事（上戸小学校）
図面名称　冷暖房設備　機器表・凡例
Scale　N/S

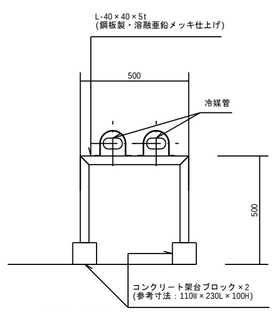
No.　MU-01





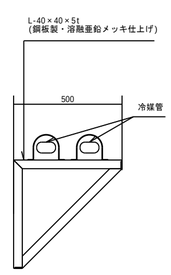
※記載値は参考値であり、現場施工状況に合わせ調整のこと。

配管支持架台c　参考図 S=1:20



※記載値は参考値であり、現場施工状況に合わせ調整のこと。

配管支持架台d　参考図 S=1:20



壁ブラケット架台

※記載値は参考値であり、現場施工状況に合わせ調整のこと。

配管支持架台e　参考図 S=1:20

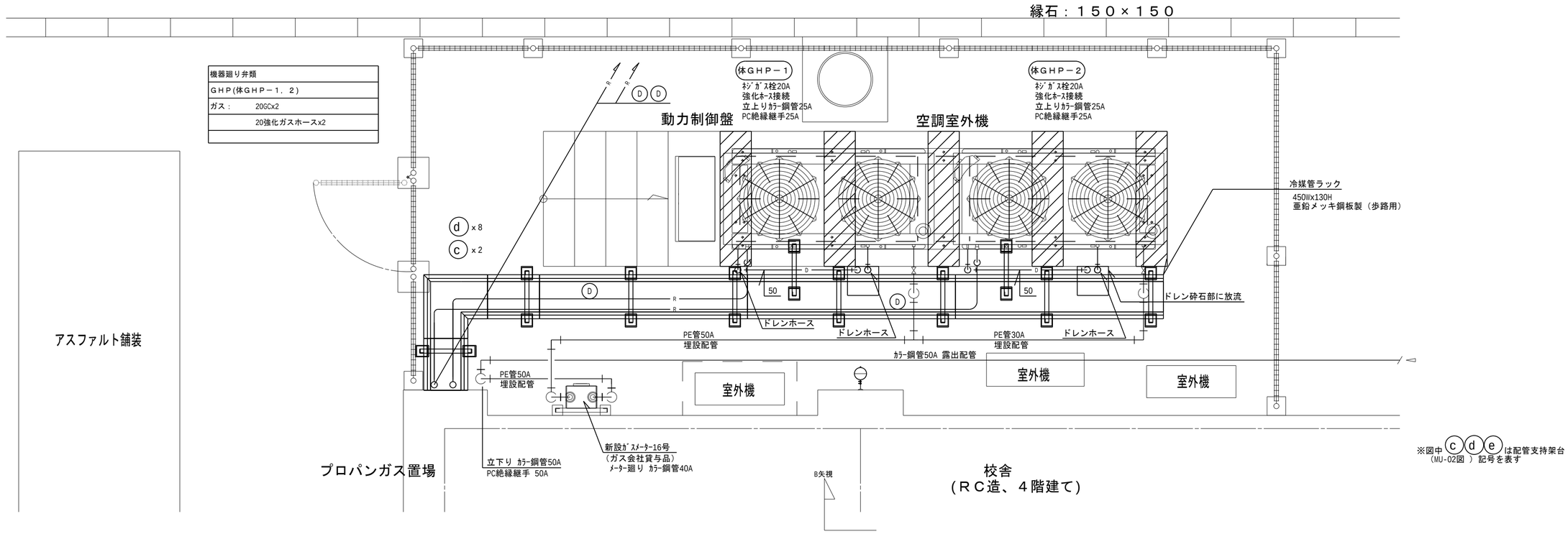
体GHP－2　　体GHP－1

記号	冷媒サイズ
A	9.5φ×15.9φ
B	9.5φ×22.2φ
C	12.7φ×28.6φ
D	15.9φ×28.6φ

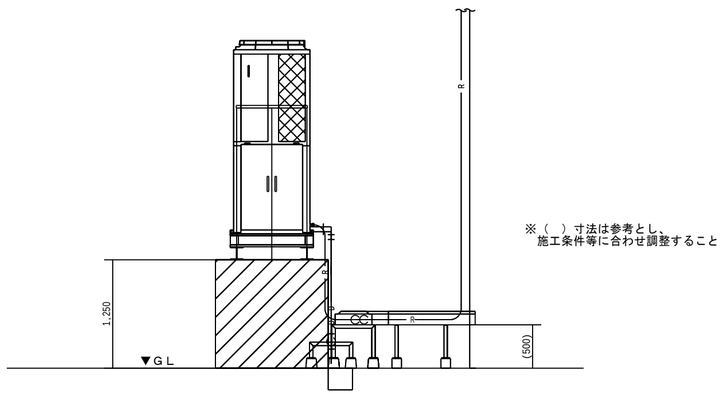
特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	佐藤	R 7. 1. 30	川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事	MU-02
		変更年月日	図面名称 (上戸小学校) 冷暖房設備　系統図	Scale N/S

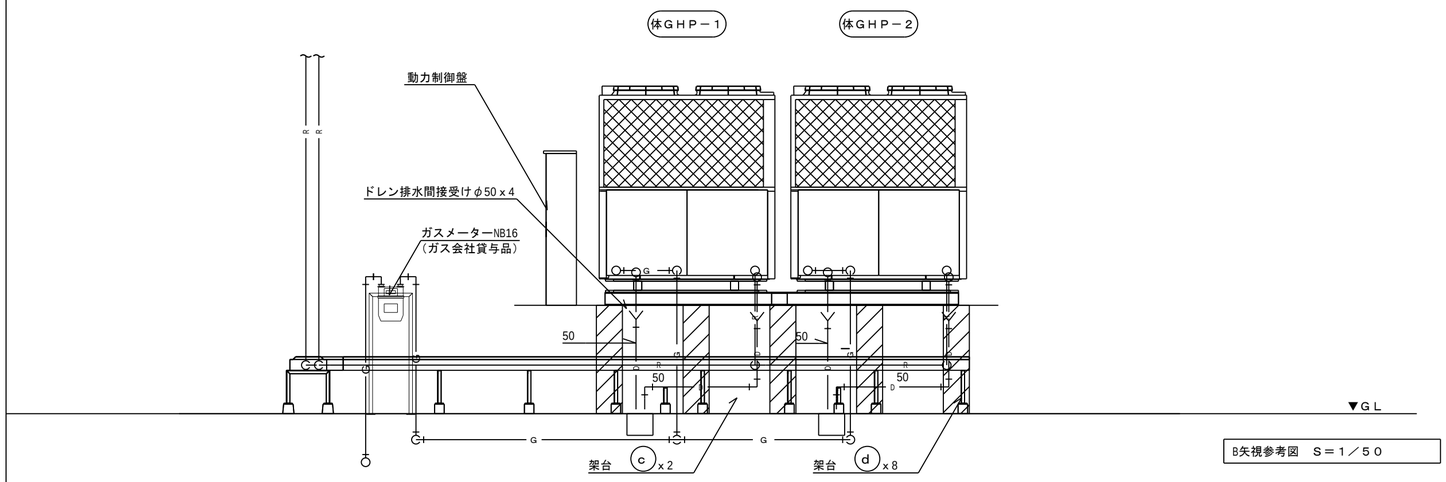


屋外機廻り平面詳細図　S=1/30



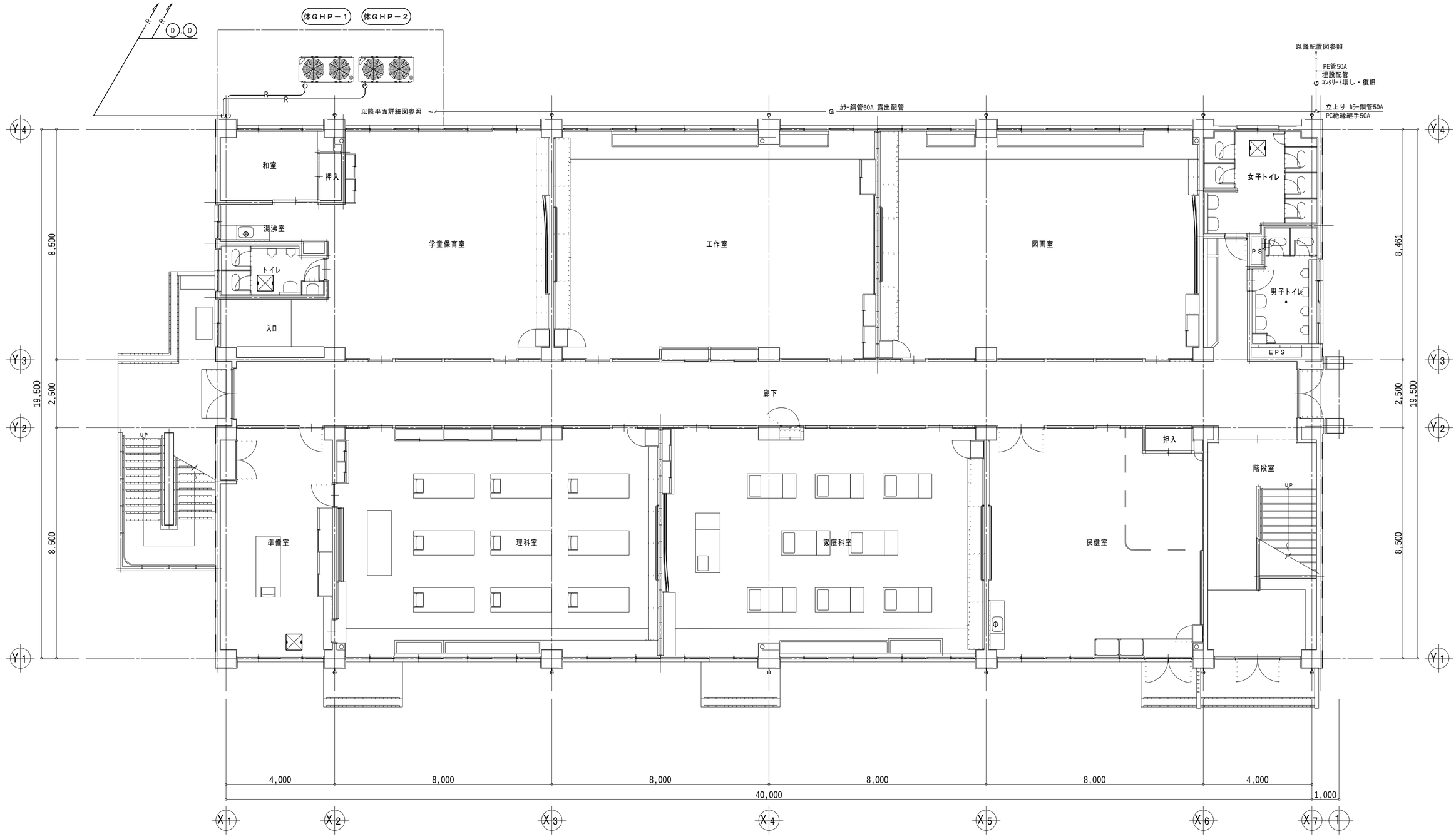
※（ ）寸法は参考とし、
施工条件等に合わせ調整すること

A矢視参考図　Ｓ＝１／５０



B矢視参考図　Ｓ＝１／５０

特記事項	斉藤出建築設計室	検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
	一級建築士 第326081号 齋藤出	齋藤出	佐藤	R 7. 1. 30	川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事	MU-03
				変更年月日	図面名称 (上戸小学校) 1階配管平面詳細図	Scale S=1/30、50



記号	冷媒サイズ
Ⓐ	9.5φ×15.9φ
Ⓑ	9.5φ×22.2φ
Ⓒ	12.7φ×28.6φ
Ⓓ	15.9φ×28.6φ

注　記

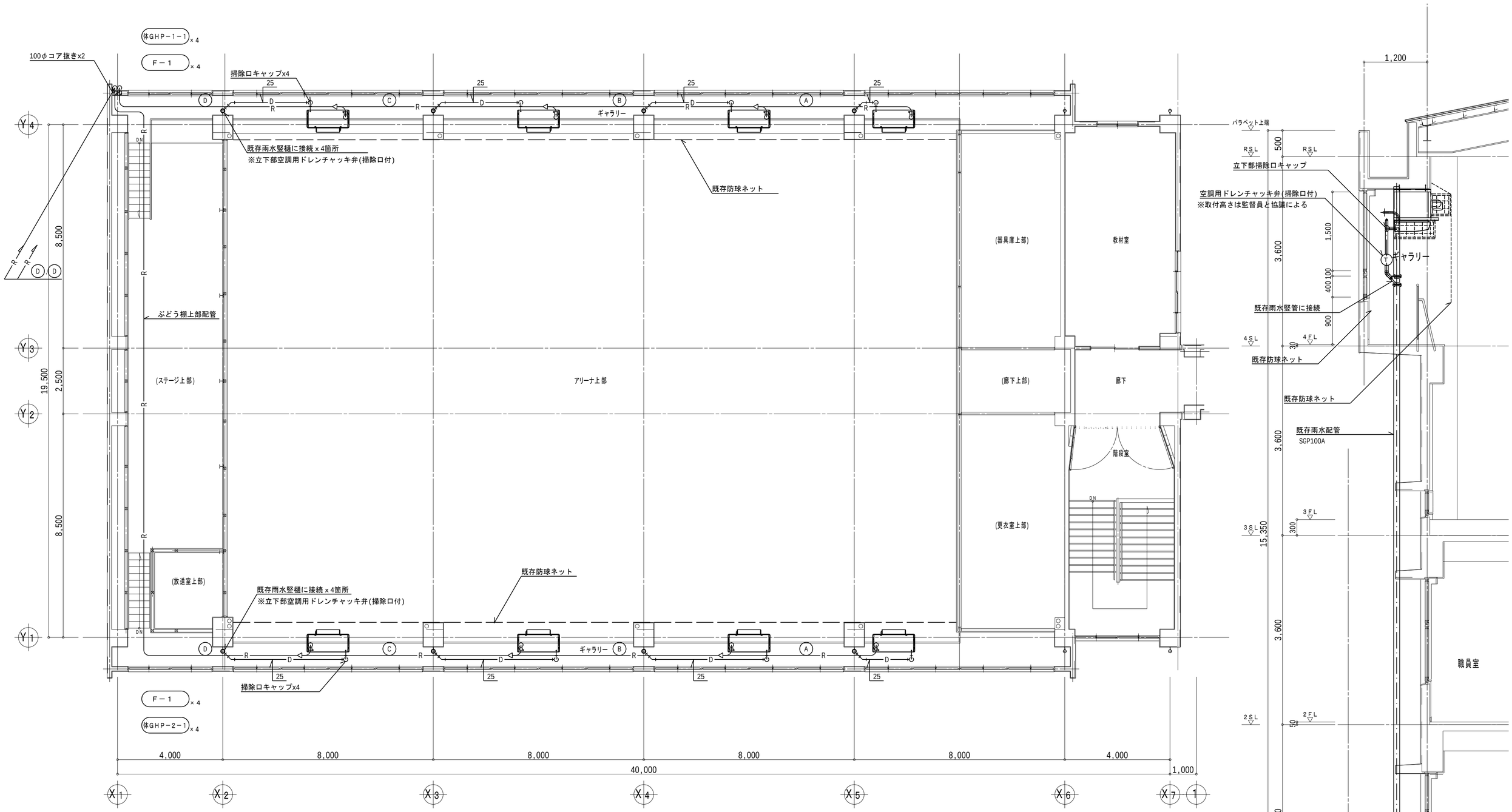
1. 冷媒管の口径は左表による。
2. 冷媒管外装について屋外はカラーガルバリウム製ラッキング仕上
   屋内露出部は合成樹脂製カバー仕上げとする。
3. 室内機電源については冷媒配管共巻きとし、EM-EEF2.0-3C
   を見込むものとする。
4. 屋内機ドレン配管立下部に空調用ドレンチャッキ弁(掃除口付)を
   見込むものとする。
5. 機器設置においては新設機器架台により機器吊り込みを行い
   後打ちアンカーボルトにて梁下面に固定を行う。
6. 配管の敷設位置及びレベルについては既設開口部の開閉及び
   カーテンの開閉に支障の無いよう現場状況に応じて施工を
   行うものとする。
7. 外壁コア抜きに際し事前にアスベスト含有調査報告を行うこと。

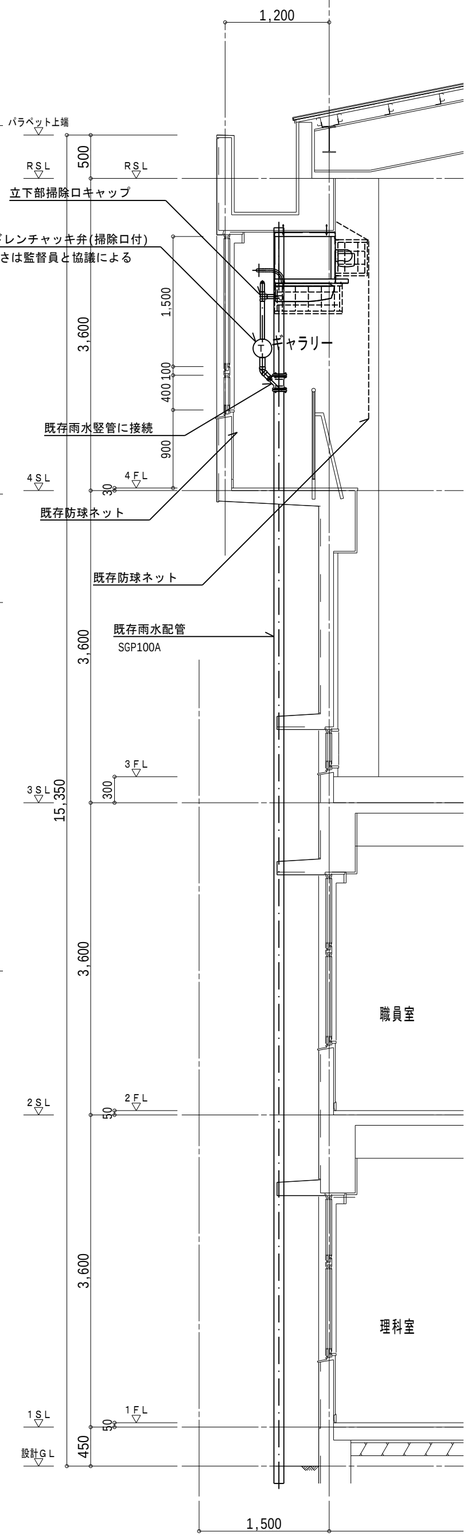
１階平面図　S=1／100

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	佐藤	R７．１．３０	川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事	MU-04
		変更年月日	図面名称 (上戸小学校) １階配管平面図	Scale S=1／100





断面参考図　Ｓ＝１／５０

記号	冷媒サイズ
A	9.5φ×15.9φ
B	9.5φ×22.2φ
C	12.7φ×28.6φ
D	15.9φ×28.6φ

注　記

1. 冷媒管の口径は左表による。
2. 冷媒管外装について屋外はカラーガルバリウム製ラッキング仕上屋内露出部は合成樹脂製カバー仕上げとする。
3. 室内機電源については冷媒配管共巻きとし、EM-EEF2.0-3Cを見込むものとする。
4. 屋内機ドレン配管立下部に空調用ドレンチャッキ弁(掃除口付)を見込むものとする。
5. 機器設置においては新設機器架台により機器吊り込みを行い後打ちアンカーボルトにて梁下面に固定を行う。
6. 配管の敷設位置及びレベルについては既設開口部の開閉及びカーテンの開閉に支障の無いよう現場状況に応じて施工を行うものとする。
7. 外壁コア抜きに際し事前にアスベスト含有調査報告を行うこと。

4 階 平 面 図　S=1／100

特記事項

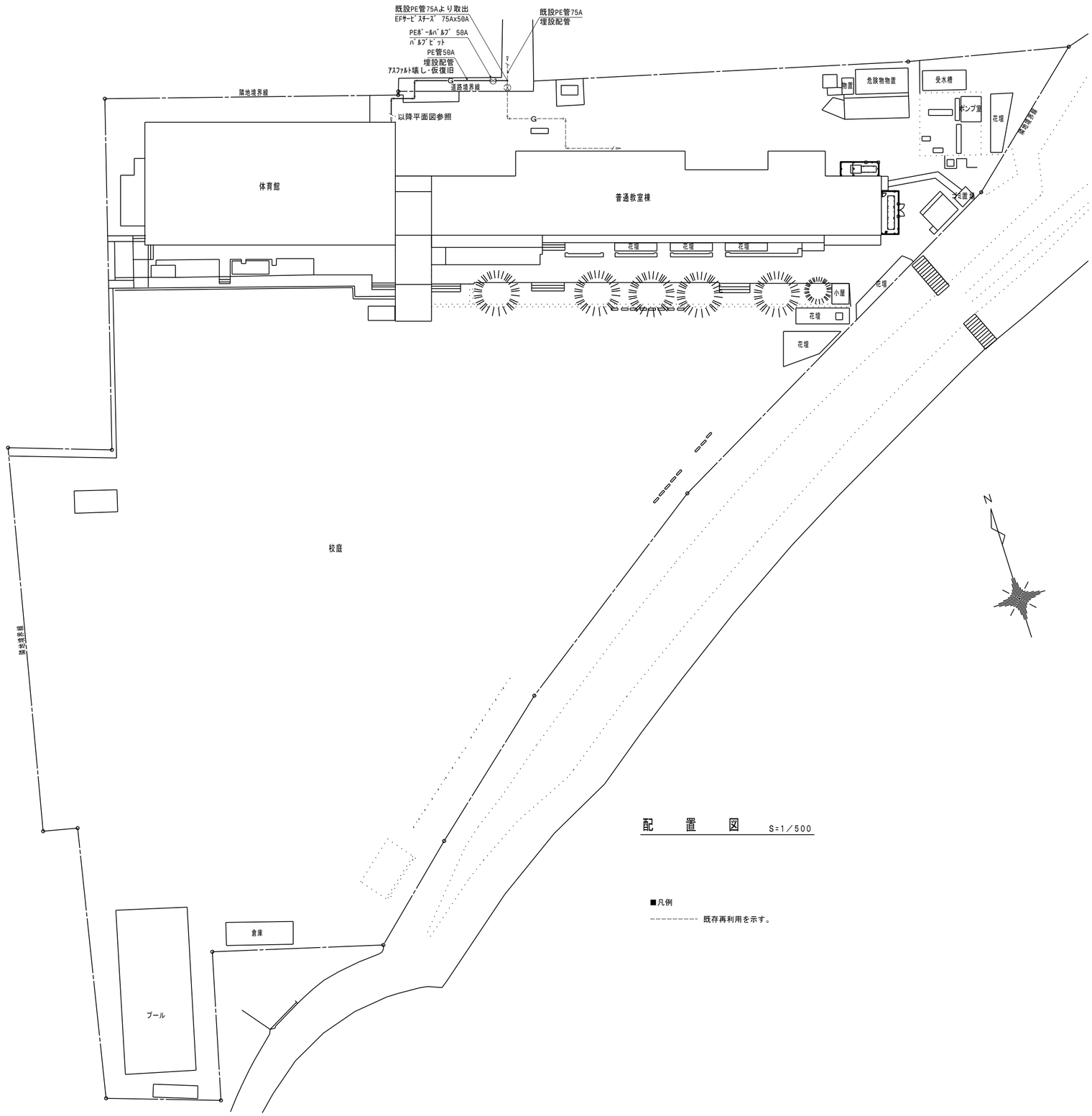
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印　設計

設計年月日　Ｒ７．１．３０
変更年月日

工事名称　川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事
図面名称　(上戸小学校)
４階配管平面図・断面図
Ｓｃａｌｅ　S=1／50、100

No.　MU-05



配　置　図　S=1／500

■凡例

---------- 既存再利用を示す。

特記事項

斉藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印 齋藤出

設計 佐藤

設計年月日 R 7．1．30

変更年月日

工事名称 川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事

図面名称 (上戸小学校)
都市ガス設備　屋外配管図

Scale 1／500

No. MU-06

操作条件

①学校使用時：キースイッチを「学校」側にし、個別リモコンから操作

②貸出使用時：キースイッチを「貸出」側にし、カードを入れた後、個別リモコンから操作

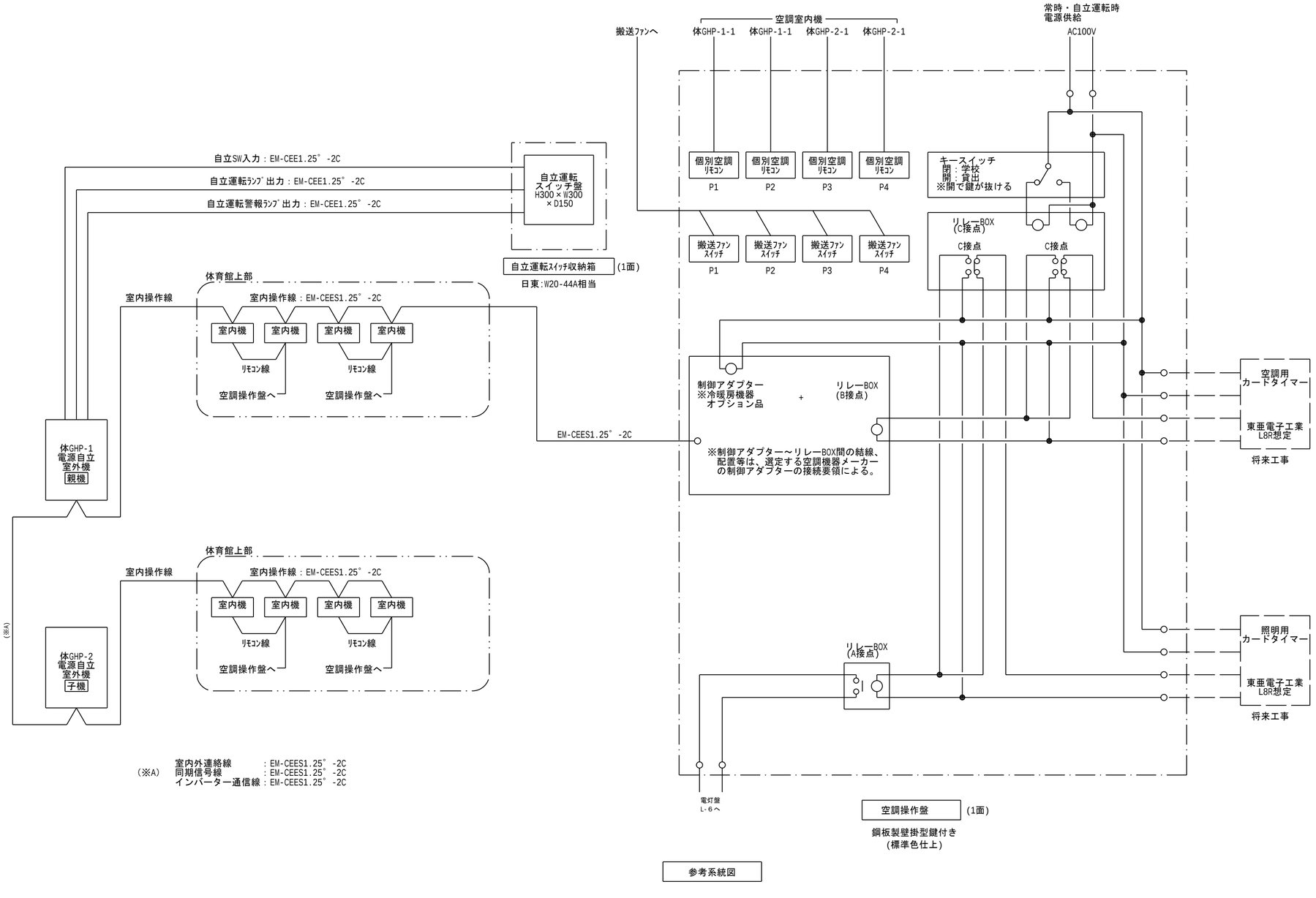
③停電使用時：自立運転スイッチにて自立運転開始後、キースイッチを「学校」側にし、個別リモコンから操作

・カード挿入時に手元解除となり個別リモコンから操作可能となる。

・時間経過しタイマー切れたタイミングで手元禁止がかかり個別リモコンからの操作は不可に、空調も一括停止となる。

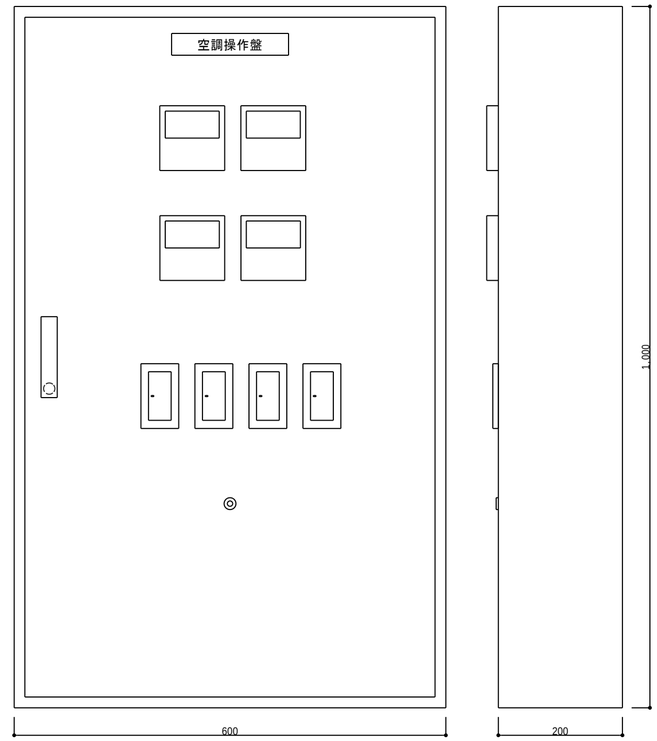
・上記要件を満足すること。

・下記系統図は参考であり、操作条件を満たすための機器等は本工事に含む。



(※A)

室内外連絡線	：	EM-CEES1.25°-2C
同期信号線	：	EM-CEES1.25°-2C
インバーター通信線	：	EM-CEES1.25°-2C



空調操作盤姿図 (参考図)

(鋼板製屋内壁掛形・標準色仕上)

・空調用個別ﾘﾓｺﾝ	× 4	
・搬送ファン用ﾘﾓｺﾝ	× 4	
・ｷｰｽｲｯﾁ(ﾀｷﾋﾞｼS-430-90-B-1)	× 1	※キー8本

特記事項

斉藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋 藤 出

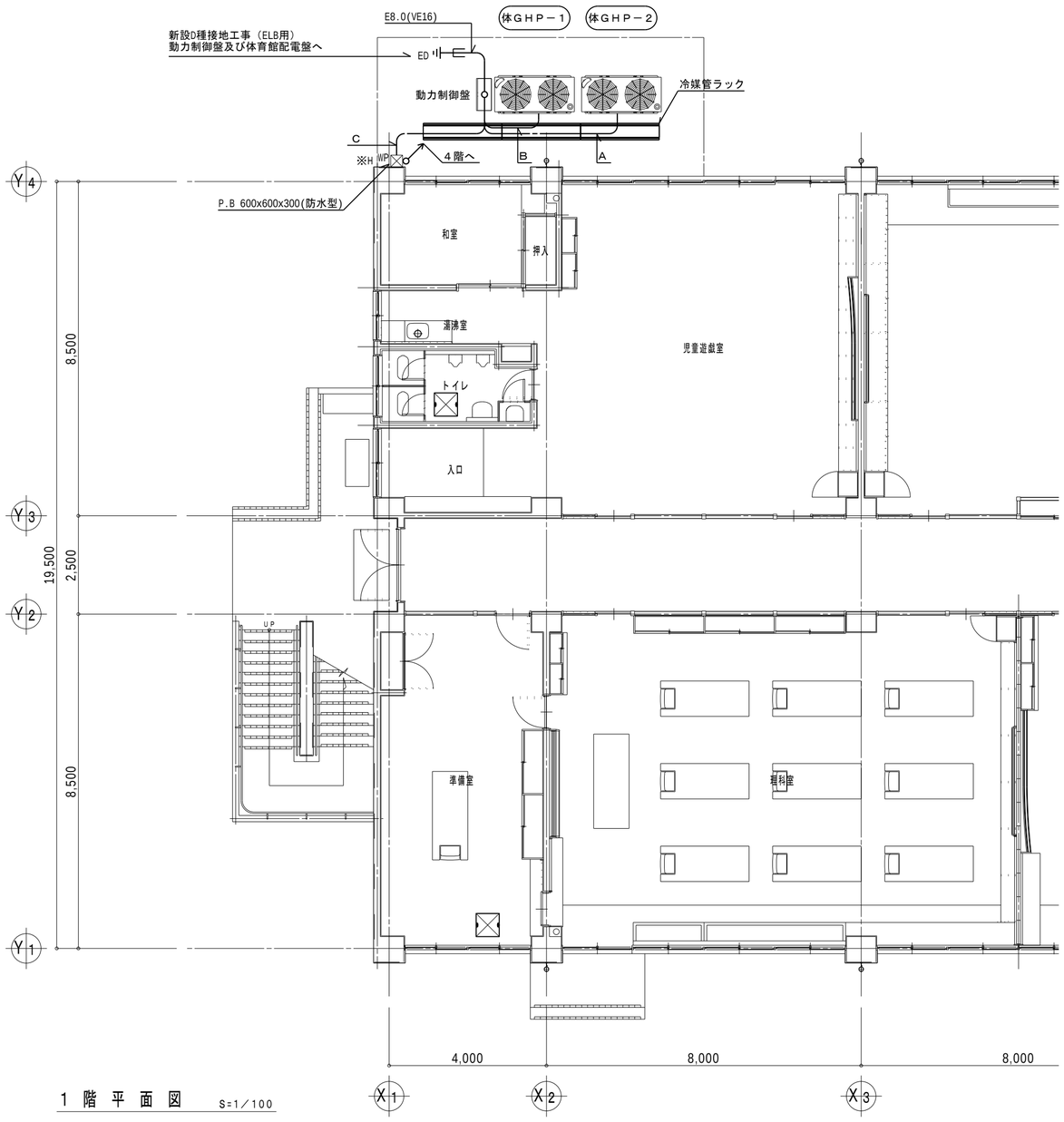
検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	黛	R 7. 1. 30	川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事	EU-01
		変更年月日	図面名称 (上戸小学校) 空調制御仕様書	Scale N/S

	注　記
1.	プルボックスサイズ仕様は下記とし、WPは防水型とする
2.	※Ａ：150×150×150　錆止め塗装E端子付
	※Ｂ：200×200×200　錆止め塗装E端子付
	※Ｃ：300×300×300　錆止め塗装E端子付
	※Ｄ：600×600×300　錆止め塗装E端子付
	※Ｅ：600×600×600　錆止め塗装E端子付
	※Ｆ：150×150×150（防水型）SUS　E端子付
	※Ｇ：300×300×300（防水型）SUS　E端子付
	※Ｈ：600×600×600（防水型）SUS　E端子付
3.	室内機電源、搬送ファン電源についてはEM-EEF2.0-3C(1CE)x2を
	冷媒配管に共巻きとして見込むものとする。
4.	躯体コア抜きに際し事前にアスベスト含有調査報告を行うこと。
5.	P1からP4は屋内機や搬送ファンの組み合わせを示す。

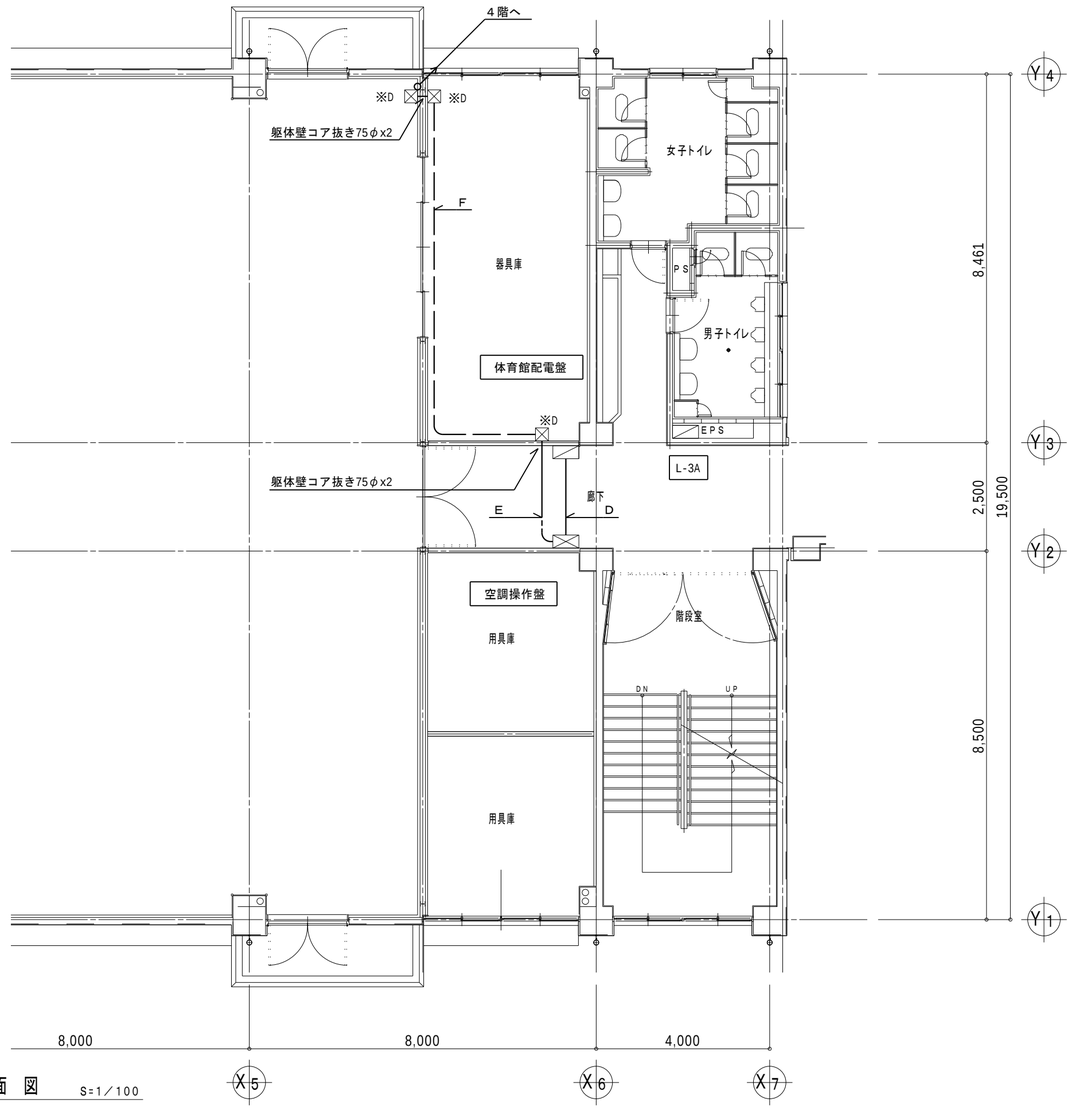
	注　記
1.	室外機廻り配線については、選定した空調機器
	メーカーの配線要領によるため、参考図とする
2.	GHP屋外機及び動力制御盤はGL+1000基礎上
	に設置となるため立上を見込むこと。

記号	配管配線内訳		種別
A	EM-CE5.5˚-3C(1CE)	FEP50～ 冷媒管ラック～ F2-24防水	GHP屋外機電源
B	EM-CE5.5˚-3C(1CE)	FEP50～ 冷媒管ラック～ F2-24防水	GHP屋外機電源
	EM-CE8˚-2C	FEP50～ 冷媒管ラック～ F2-24防水	自立出力
C	EM-CE60˚-2C+E8˚	FEP50～冷媒管ラック～GZ54	屋外機用入力電源
	EM-CE8˚-2C	FEP50～ 冷媒管ラック～ GZ54	照明負荷（非常）
	EM-CE22˚-2C		コンセント負荷（非常）
	EM-EEF2.0-3C(1CE)x2	FEP50～ 冷媒管ラック～ 冷媒管共巻	GHP屋内機電源
	EM-EEF2.0-3C(1CE)x2		搬送ﾌｧﾝ電源

記号	配管配線内訳		種別
D	EM-EEF2.0-3C(1CE)	天井内	空調操作盤制御電源
E	EM-EEF2.0-2Cx4	天井内	搬送ファンスイッチ
	EM-CE60˚-2C+E8˚		屋外機用入力電源
	EM-CE8˚-2C		照明負荷（非常）
	EM-CE22˚-2C		コンセント負荷（非常）
F	EM-EEF2.0-2Cx4	(E51)	搬送ファンスイッチ
	EM-CE60˚-2C+E8˚	(E63)	屋外機用入力電源
	EM-CE8˚-2C	(E63)	照明負荷（非常）
	EM-CE22˚-2C		コンセント負荷（非常）



1 階 平 面 図　S=1／100



3 階 平 面 図　S=1／100

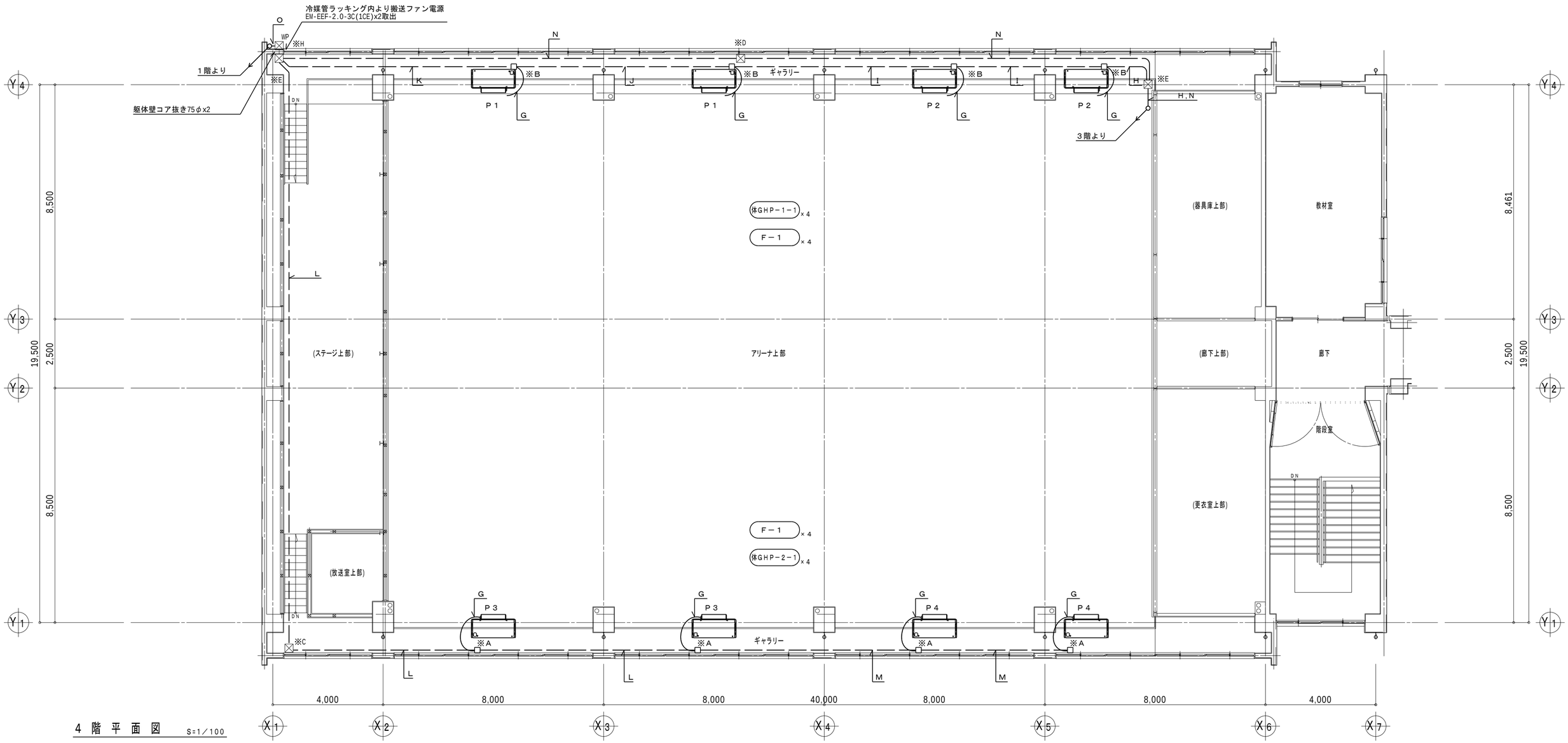
特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 7．1．30	川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事	EU-02
		変更年月日	(上戸小学校)	
			図面名称 電気設備１・３階平面図	Scale 1／100

	注　記
1.	プルボックスサイズ仕様は下記とし、WPは防水型とする
2.	※A：150×150×150　錆止め塗装E端子付
	※B：200×200×200　錆止め塗装E端子付
	※C：300×300×300　錆止め塗装E端子付
	※D：600×600×300　錆止め塗装E端子付
	※E：600×600×600　錆止め塗装E端子付
	※F：150×150×150（防水型）SUS　E端子付
	※G：300×300×300（防水型）SUS　E端子付
	※H：600×600×600（防水型）SUS　E端子付
3.	室内機電源、搬送ファン電源についてはEM-EEF2.0-3C(1CE)x2を
	冷媒配管に共巻きとして見込むものとする。
4.	躯体コア抜きに際し事前にアスベスト含有調査報告を行うこと。
5.	P1からP4は屋内機や搬送ファンの組み合わせを示す。

記号	配管配線内訳		種別
G	EM-EEF2.0-3C(1CE)	(PF22)	搬送ファン電源
H	EM-EEF2.0-2Cx4	(E51)	搬送ファンスイッチ
I	EM-EEF2.0-3C(1CE)	(E39)	搬送ファン電源
	EM-EEF2.0-2Cx3		搬送ファンスイッチ
J	EM-EEF2.0-3C(1CE)x2	(E39)	搬送ファン電源
	EM-EEF2.0-2Cx2		搬送ファンスイッチ
K	EM-EEF2.0-3C(1CE)	(E39)	搬送ファン電源
	EM-EEF2.0-2Cx2		搬送ファンスイッチ
L	EM-EEF2.0-3C(1CE)x2	(E31)	搬送ファン電源
M	EM-EEF2.0-3C(1CE)	(E25)	搬送ファン電源
N	EM-CE60°-2C+E8°	(E63)	屋外機用入力電源
	EM-CE8°-2C	(E63)	照明負荷（非常）
	EM-CE22°-2C		コンセント負荷（非常）
O	EM-CE60°-2C+E8°	(GZ54)	屋外機用入力電源
	EM-CE8°-2C	(GZ54)	照明負荷（非常）
	EM-CE22°-2C		コンセント負荷（非常）



4 階 平 面 図　S=1／100

特記事項

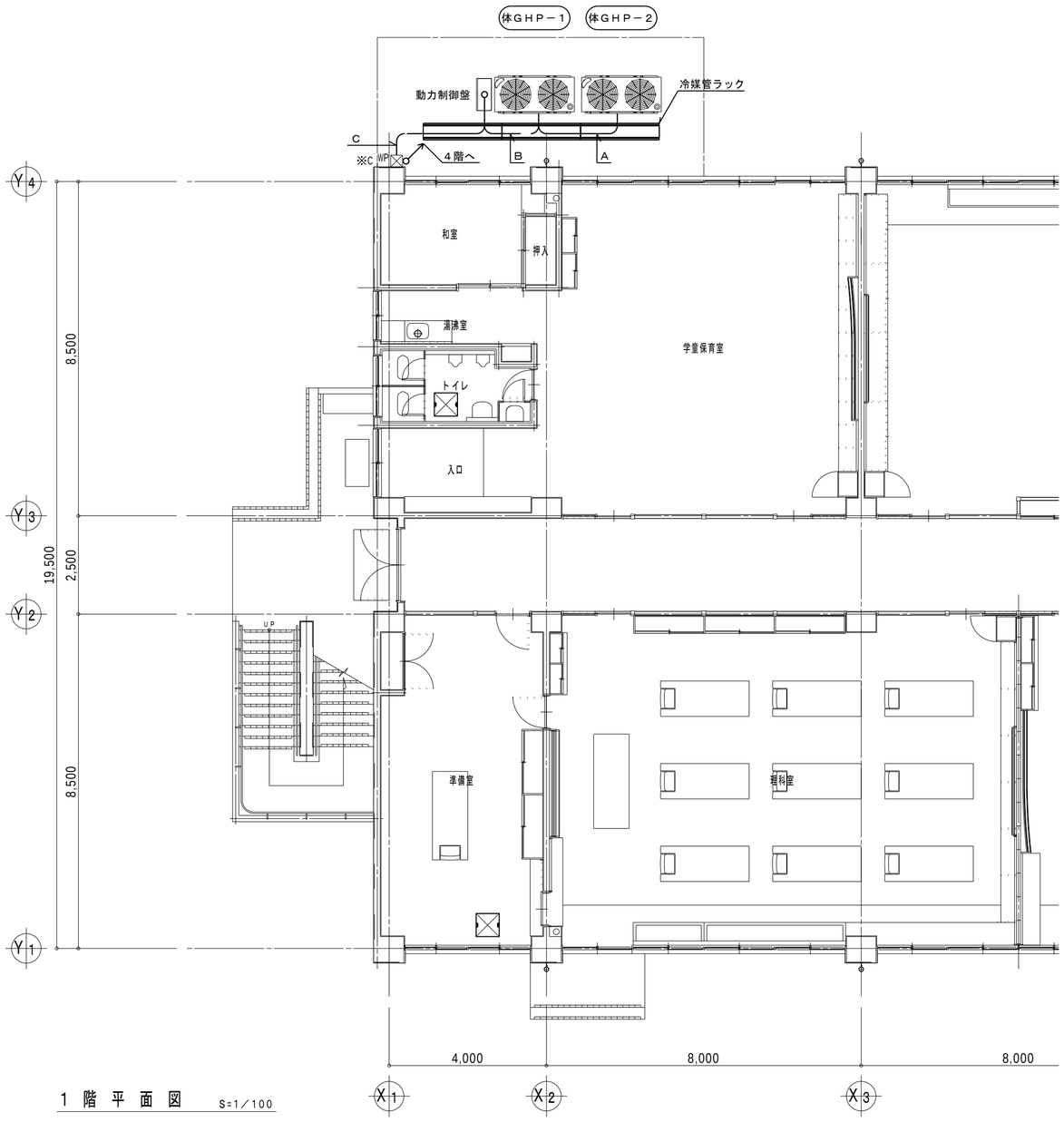
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	黒	R 7. 1. 30	川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事	EU-03
		変更年月日	図面名称 (上戸小学校) 電気設備4階平面図	Scale 1/100

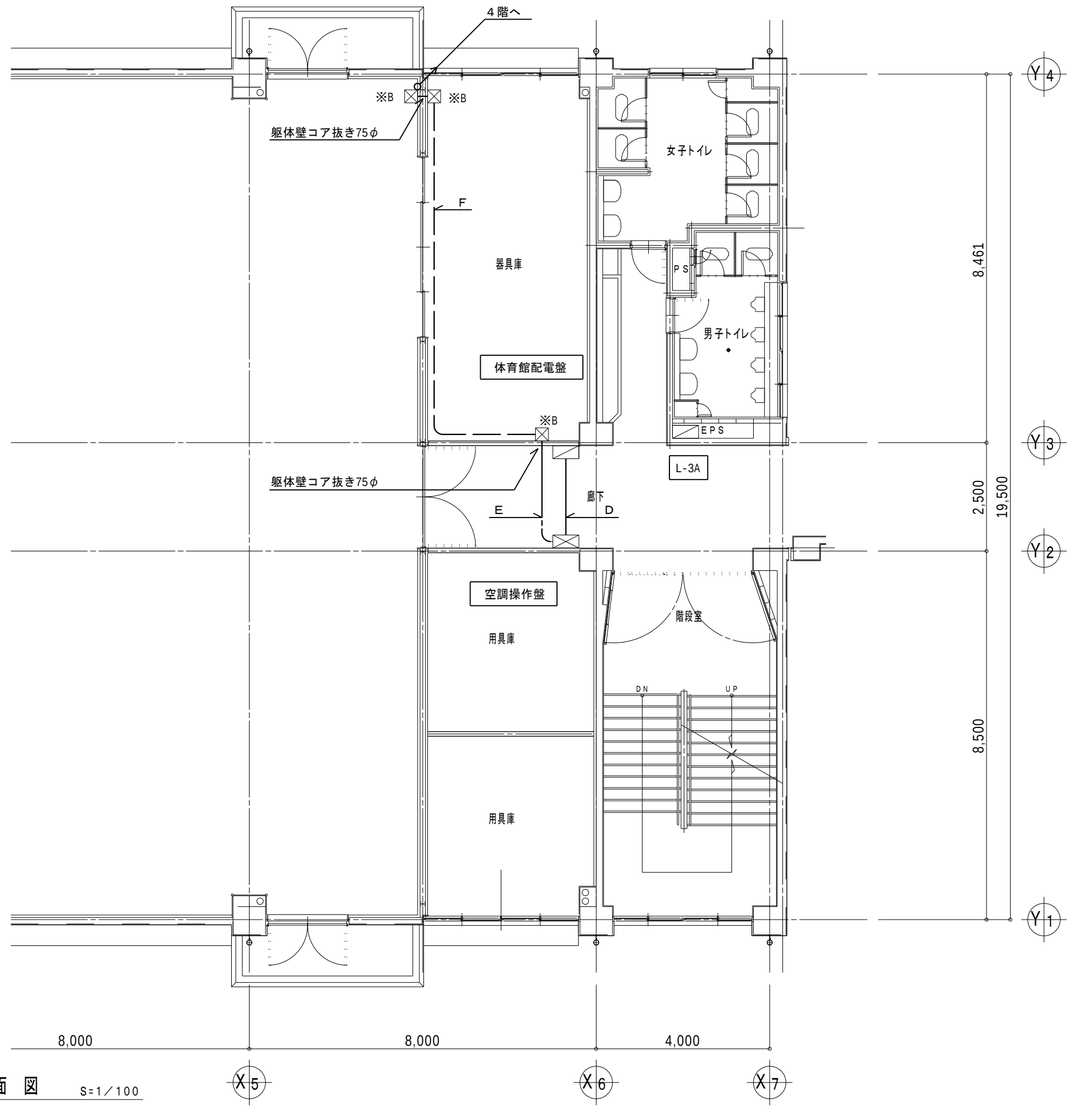
	注　記
1.	プルボックスサイズ仕様は下記とし、WPは防水型とする
2.	※A：150×150×150　錆止め塗装
	※B：200×200×200　錆止め塗装
	※C：200×200×200（防水型）SUS
3.	室内機制御配線渡り配線についてはEM-CEES1.25°-2C
	を冷媒配管共巻きとして見込むものとする。
4.	躯体コア抜きに際し事前にアスベスト含有調査報告を行うこと。
5.	P1からP4は屋内機や搬送ファンの組み合わせを示す。

記号	配管配線内訳		種別
A	EM-CEES1.25°-2C	F2-38 防水～冷媒管ラック～F2-38 防水	屋外機渡り線
	EM-CEES1.25°-2C		同期信号線
	EM-CEES1.25°-2C		インバーター間通信線
B	EM-CEES1.25°-2C	FEP30(復電信号線・自立負荷リレー線のみ）～冷媒管ラック～F2-63防水	復電信号線
	EM-CEES1.25°-2C		自立負荷接続リレー線
	EM-CEE1.25°-2Cx3		自立SW,ランプ線
C	EM-CEE1.25°-2Cx3	冷媒管ラック～F2-38防水～GZ36	自立SW,ランプ線

記号	配管配線内訳		種別
D	EM-CE2°-2C	天井内	照明制御線
E	EM-CEES1.25°-2Cx4	天井内	個別リモコン線
	EM-CEES1.25°-2C		空調制御線
	EM-CEE1.25°-2Cx3		自立SW,ランプ線
F	EM-CEES1.25°-2Cx4	(E63)	個別リモコン線
	EM-CEES1.25°-2C		空調制御線
	EM-CEE1.25°-2Cx3		自立SW,ランプ線



1 階 平 面 図　S=1／100



3 階 平 面 図　S=1／100

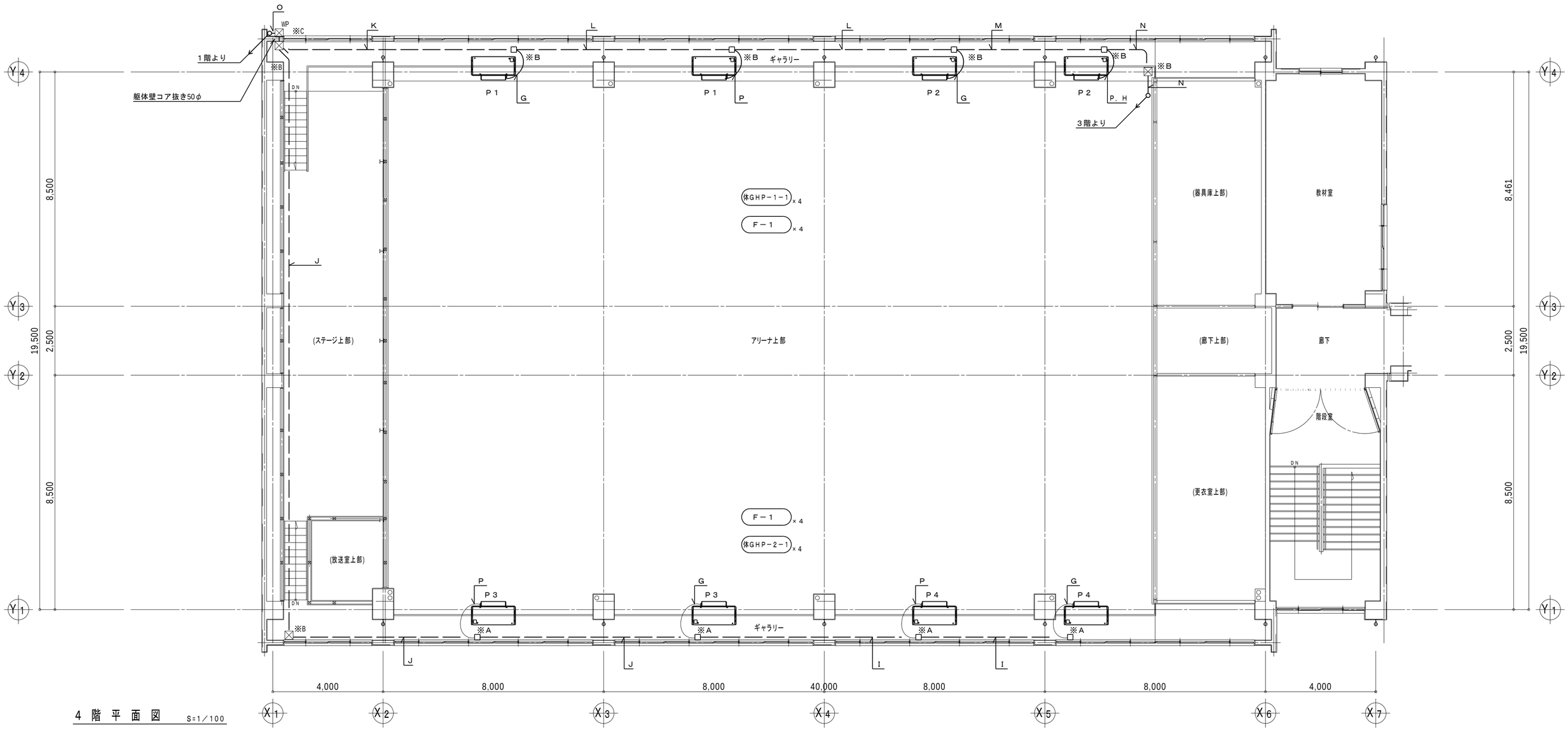
特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 7．1．30	川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事	EU-04
		変更年月日	(上戸小学校)	
			図面名称 自動制御設備1・3階平面図	Scale 1／100

注　記
1.　プルボックスサイズ仕様は下記とし、WPは防水型とする
2.　※A：150×150×150　錆止め塗装
※B：200×200×200　錆止め塗装
※C：200×200×200（防水型）SUS
3.　室内機制御配線渡り配線についてはEM-CEES1.25°-2C
を冷媒配管共巻きとして見込むものとする。
4.　躯体コア抜きに際し事前にアスベスト含有調査報告を行うこと。
5.　P1からP4は屋内機や搬送ファンの組み合わせを示す。

記号	配管配線内訳		種別
G	EM-CEES1.25°-2C	(PF14)	個別リモコン線
H	EM-CEES1.25°-2C	(PF14)	空調制御線
I	EM-CEES1.25°-2C	(E19)	個別リモコン線
J	EM-CEES1.25°-2Cx2	(E31)	個別リモコン線
K	EM-CEES1.25°-2Cx2	(E51)	個別リモコン線
	EM-CEE1.25°-2Cx3		自立SW,ランプ線
L	EM-CEES1.25°-2Cx3	(E51)	個別リモコン線
	EM-CEE1.25°-2Cx3		自立SW,ランプ線
M	EM-CEES1.25°-2Cx4	(E51)	個別リモコン線
	EM-CEE1.25°-2Cx3		自立SW,ランプ線
N	EM-CEES1.25°-2Cx4	(E63)	個別リモコン線
	EM-CEES1.25°-2C		空調制御線
	EM-CEE1.25°-2Cx3		自立SW,ランプ線
O	EM-CEE1.25°-2Cx3	(GZ36)	自立SW,ランプ線
P	EM-CEE1.25°-2Cx2	(PF14)	個別リモコン線



4 階 平 面 図　S=1/100

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	黒	R 7. 1. 30	川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事	EU-05
		変更年月日	図面名称 (上戸小学校) 自動制御設備4階平面図	Scale 1/100

■ 建築工事仕様

（1）質問回答書、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。

（2）本特記仕様書の表記
1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
3）[　．　]内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示し、（　．　）内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。

1 鉄筋工事

1 鉄筋

鉄筋の種類 [8.2.1]

種類の記号	呼び径（mm）	備考
○SD295	※D16以下	架台
・SD345	※D19以上	

2 溶接金網

形状等 [8.2.2]

種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
○溶接金網	JIS G3551	150角 6Φ	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装
・鉄筋格子			

3 鉄筋の継手

鉄筋の継手方法等 [8.3.4][8.4.2～3]

部位	継手方法	呼び径（mm）
柱、梁の主筋	・ガス圧接・機械式継手 ・溶接継手	※D19以上
耐力壁の鉄筋	・重ね継手 ・	
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	○重ね継手 ・ガス圧接	
その他の鉄筋（　　）	○重ね継手 ・	

継手位置
・図示による
（構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1）

4 鉄筋の定着

鉄筋の定着長さ (5.3.4)
・図示による（ 40d ）

5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）

最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う） (5.3.5)
※図示による（構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1）
・図示による（　　） ・

6 各部配筋

※図示による (5.3.7)

2 コンクリート工事

1 コンクリートの種類等

類別 [8.1.3、4][8.2.5]
※Ⅰ類（JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308 に適合したコンクリート）

普通コンクリート ※図示による

呼び強度（N/mm2）	気乾単位容積質量（t/m３）	スランプ	適用箇所
○24	2.3程度	・15又は18○18	基礎部
○18	2.3程度	○5又は18・18	捨てコン

2 セメント

種類 [8.2.5]
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントＡ種、
シリカセメントＡ種又はフライアッシュセメントＡ種
適用箇所（※下記以外全て ・ ）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。

3 骨材

アルカリシリカ反応性による区分 [8.2.5]
※A・B(コンクリート中のアルカリ総量が3.0 kg/m３ 以下)

4 混和材料

・混和剤 [8.2.5]
混和剤の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(b)による ・

5 ｺﾝｸﾘｰﾄの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [8.1.4][8.2.7]

種別	適用箇所
・Ａ種	※図示による（　　）
○Ｂ種	※図示による（　　）
・Ｃ種	※図示による（　　）

6 型枠

せき板の材料及び厚さ (6.8.2)[8.2.7]
○合板（※12mm ・ G

存置期間及び取外し (6.8.4)
※標準仕様書6.8.4による
・普通エコセメントの場合
（※図示による（　　） ・　　）

3 鉄骨工事

1 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5]
建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」により評価を受け、国土交通大臣から認定を受けた工場、又は同等以上の
評価の区分 ※（Ｒ）グレード ・指定しない
能力のある工場

2 施工管理技術者

配置する [8.1.6]

3 鋼材

種類等 [8.2.8]

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格
SN400B	Ｈ形鋼	○JIS規格による ・
SN400B	普通鋼板	○JIS規格による ・

溶融亜鉛めっき工法の適用箇所
○屋外架台

4 高力ボルト

ボルトの種類 [8.2.9]
・トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト
○溶融亜鉛めっき高力ボルト ・ワンサイドボルト

ボルトのねじの呼び ○図示による（　　） [8.13.2]

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による
○構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びボルト間隔

摩擦面の処理方法等 [8.14.2][8.20.5]
溶融亜鉛めっき以外
※標準仕様書7.4.2(1)による ・
溶融亜鉛めっき面
○リン酸処理
・ブラスト処理（表面粗度50μm Rz以上）
・ブラスト処理以外の特別な処理方法
・ボルト穴廻りメッキ時養生
○鉄骨組立後に溶融亜鉛メッキの欠陥部分の補修
（表 14・2・4）を行う。

5 ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ

○構造用アンカーボルト（JIS B 1220） (7.2.4)(7.10.3)
種類 ○ABR400 ・ABR490 ・

6 溶接材料

溶接材料 [8.2.10]
○8.2.10](1)、(2)による
・[8.2.10](1)、(2)以外の溶接材料
材料及び使用箇所 ・図示による（　　）

7 溶接部の試験

H12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 [8.15.12]
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による
・抜き取り検査①
※抜き取り検査②

JASS 6 付則6［鉄骨精度検査基準］の付表3「溶接」に関する確認方法等
・JASS 6 10.4［受入検査］e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験（第三者機関）
・工場溶接の場合
※全数 ・
・工事現場溶接の場合
※全数 ・

8 溶融亜鉛めっき

種別等 [8.20.4][表8.20.1]

亜鉛めっきの種別	材料	適用部位
・A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板	鉄骨架台
・B種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	
・C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	

外観検査 ※行う ・行わない

■アスベスト含有調査結果表 (体育館)

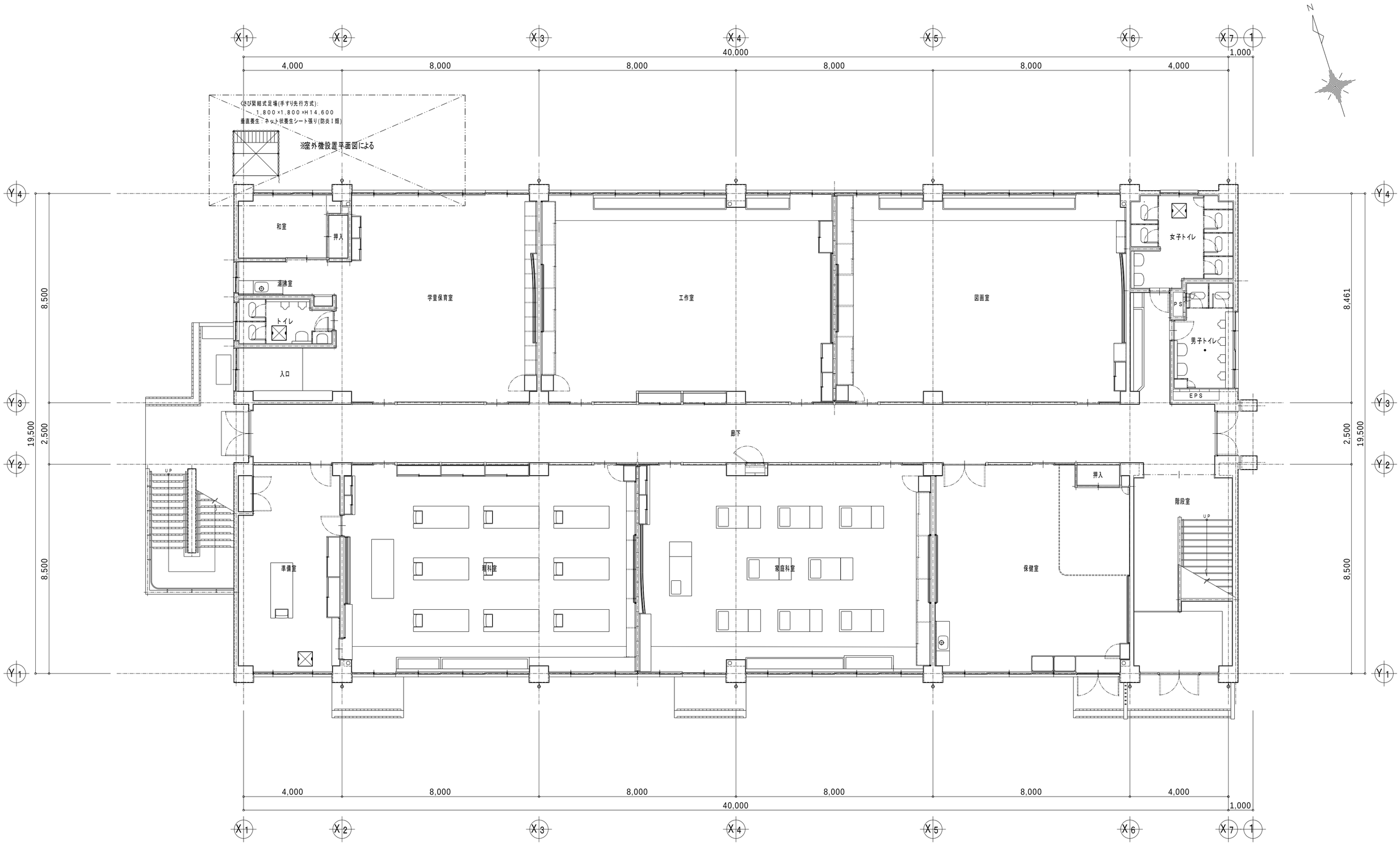
階	部位	材料名	アスベスト含有	施工年度	調査年度
	外壁	リシン吹付	○有り ・無し ・未調査	昭和52年	平成29年
3	廊下天井	石膏ボード	・有り ○無し ・未調査	平成25年	令和6年
	器具庫天井	石膏ボード	・有り ○無し ・未調査	平成25年	令和6年
	器具庫2天井	石膏ボード	・有り ○無し ・未調査	平成25年	令和6年
	放送室天井	ロックウール吸音板	・有り ○無し ・未調査	平成25年	令和6年
	男子トイレ天井	フレキシブルボード	○有り ・無し ・未調査	昭和52年	令和6年
	廊下壁	有孔合板	・有り ○無し ・未調査	昭和52年	令和6年
4	ギャラリー 天井	リシン吹付	・有り ○無し ・未調査	平成25年	令和6年
			・有り ・無し ・未調査		
			・有り ・無し ・未調査		
			・有り ・無し ・未調査		

※未調査箇所については、本工事にて、アスベスト検体分析調査(定性分析)を行い、調査結果を監督員へ報告すること。
※採取箇所は、コーキング等で補修のこと。

特記事項

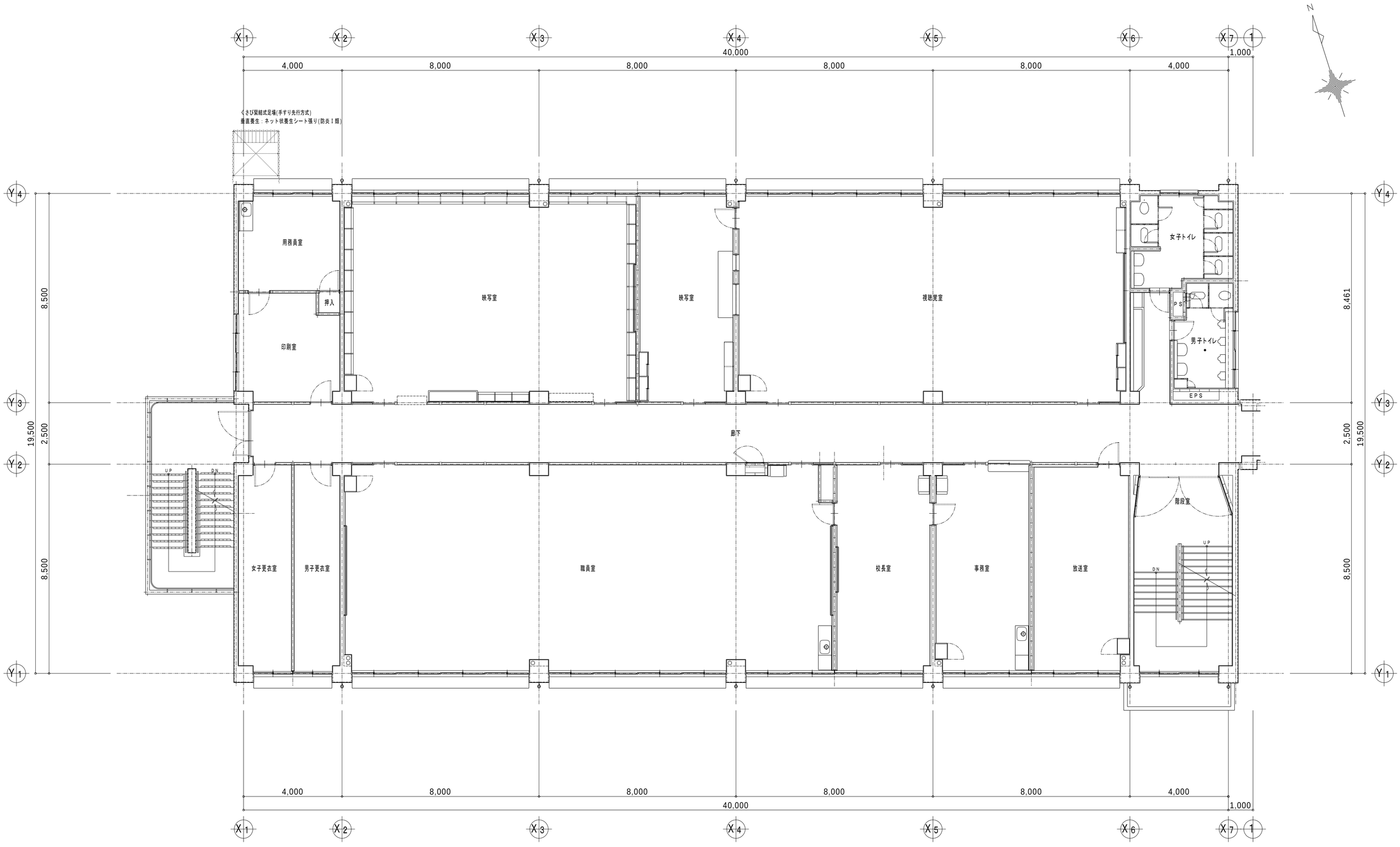
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 7．1．30	川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事	AU-01
		変更年月日 R 6．00．00	図面名称 (上戸小学校) 建築工事特記仕様書 Scale	



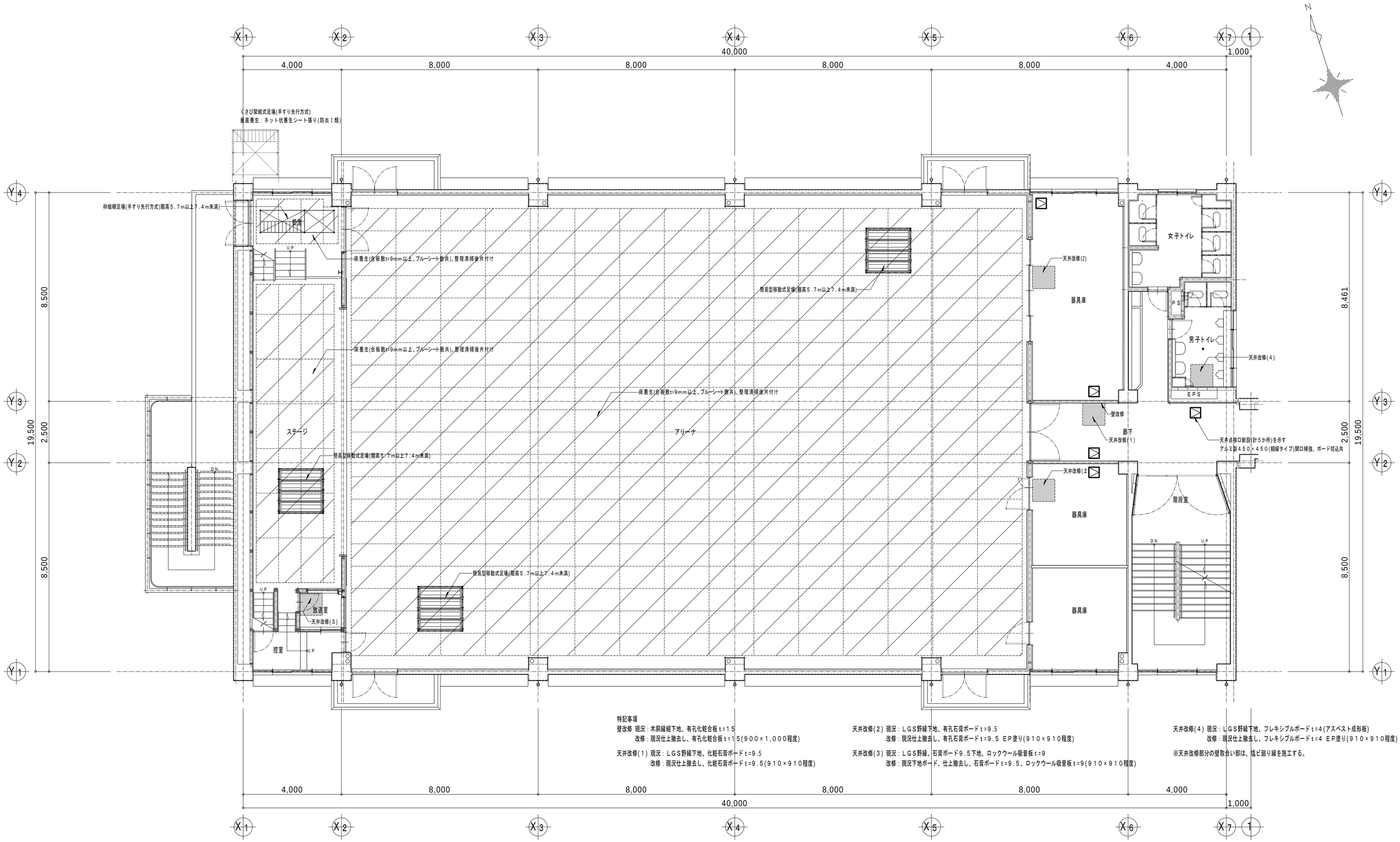
1 階 平 面 図　S=1／100

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検印	設計	設計年月日 R 7．1．30 変更年月日 R 7.00.00	工事名称 川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事 (上戸小学校) 図面名称 1階平面図 Scale 1／100	No. AU-02



2 階 平 面 図　S=1／100

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検印	設計	設計年月日 R 7. 1.30 変更年月日 R 7.00.00	工事名称 川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事 図面名称 (上戸小学校) 2階平面図	Scale 1／100	No. AU-03



特記事項

壁改修 現況：木胴縁組下地、有孔化粧合板ｔ＝１５
改修：現況仕上撤去し、有孔化粧合板ｔ＝１５(９００×１,０００程度)

天井改修(１) 現況：ＬＧＳ野縁下地、化粧石膏ボードｔ＝９.５
改修：現況仕上撤去し、化粧石膏ボードｔ＝９.５(９１０×９１０程度)

天井改修(２) 現況：ＬＧＳ野縁下地、有孔石膏ボードｔ＝９.５
改修：現況仕上撤去し、有孔石膏ボードｔ＝９.５ ＥＰ塗り(９１０×９１０程度)

天井改修(３) 現況：ＬＧＳ野縁、石膏ボード９.５下地、ロックウール吸音板ｔ＝９
改修：現況下地ボード、仕上撤去し、石膏ボードｔ＝９.５、ロックウール吸音板ｔ＝９(９１０×９１０程度)

天井改修(４) 現況：ＬＧＳ野縁下地、フレキシブルボードｔ＝４(アスベスト成形板)
改修：現況仕上撤去し、フレキシブルボードｔ＝４ ＥＰ塗り(９１０×９１０程度)

※天井改修部分の壁取合い部は、塩ビ廻り縁を施工する。

※仮設の図示なき天井改修、配管、配線及び器具取付部分は脚立足場を設置するものとする。

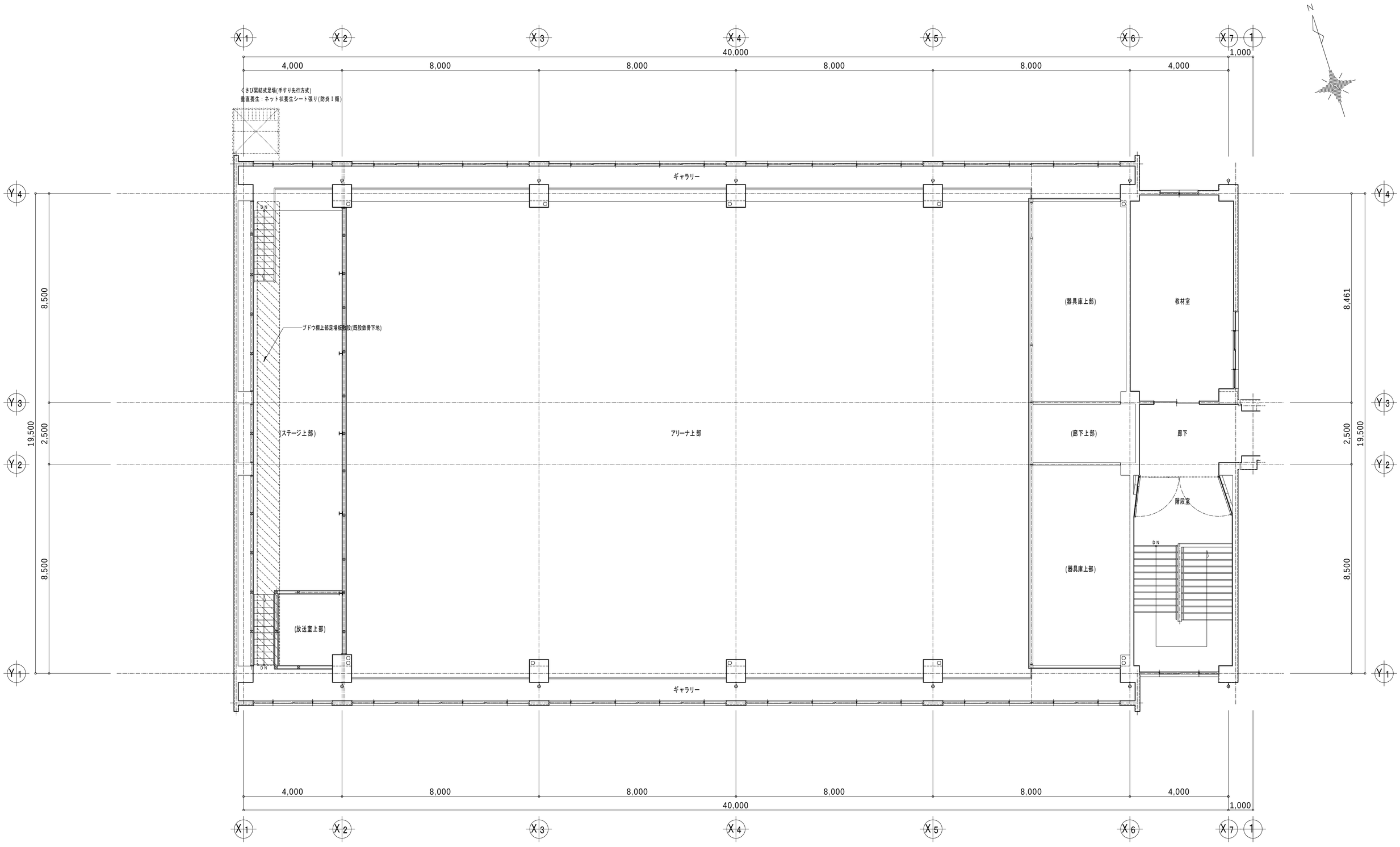
３ 階 平 面 図　S=1／100

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	変更年月日
齋藤出	齋藤出	Ｒ７．１．３０	Ｒ７．００．００

工事名称：川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事
図面名称：(上戸小学校) ３階平面図
Scale：１／１００
No.：AU-04

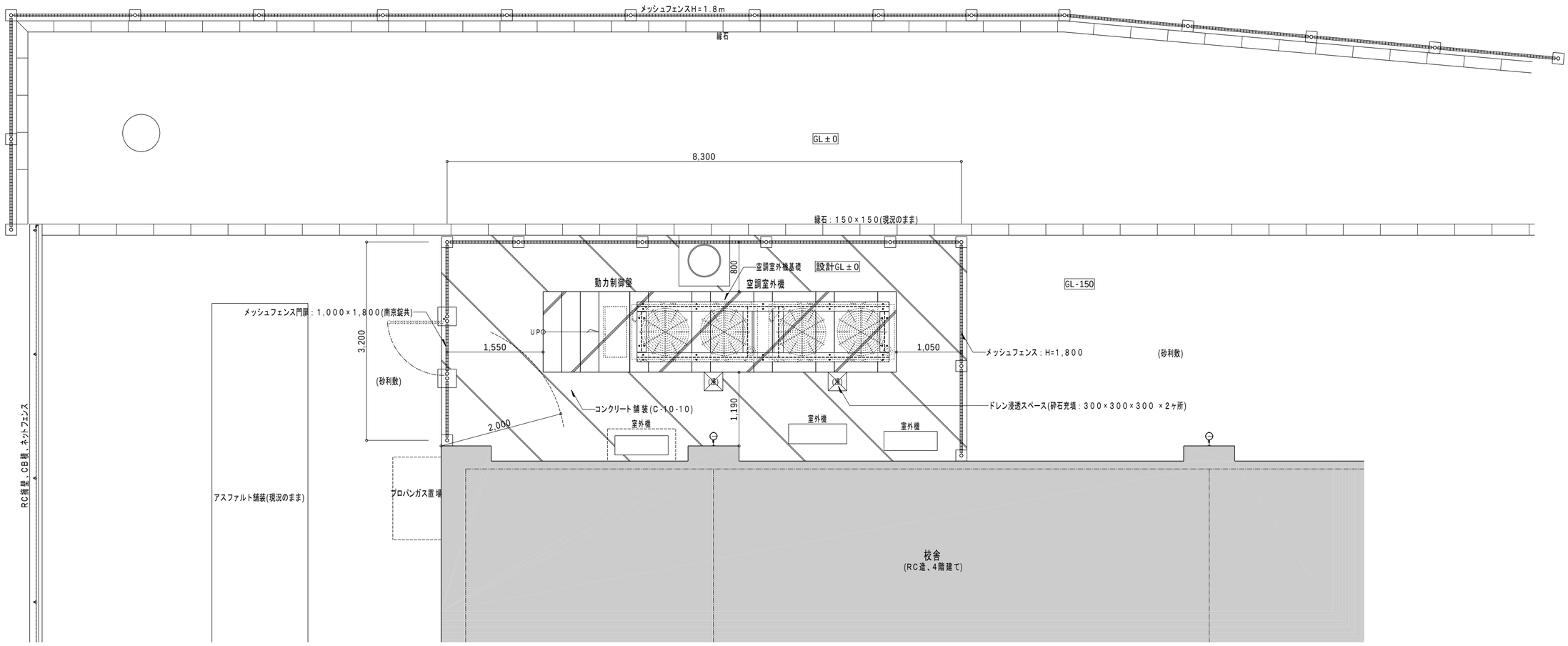


4 階 平 面 図　S=1／100

※仮設の図示なき天井改修、配管、配線及び器具取付部分は脚立足場を設置するものとする。

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検印	設計	設計年月日 R 7．1．30 変更年月日 R 7.00.00	工事名称 川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事 図面名称 (上戸小学校) 4階平面図 Scale 1／100	No.	AU-05

改修



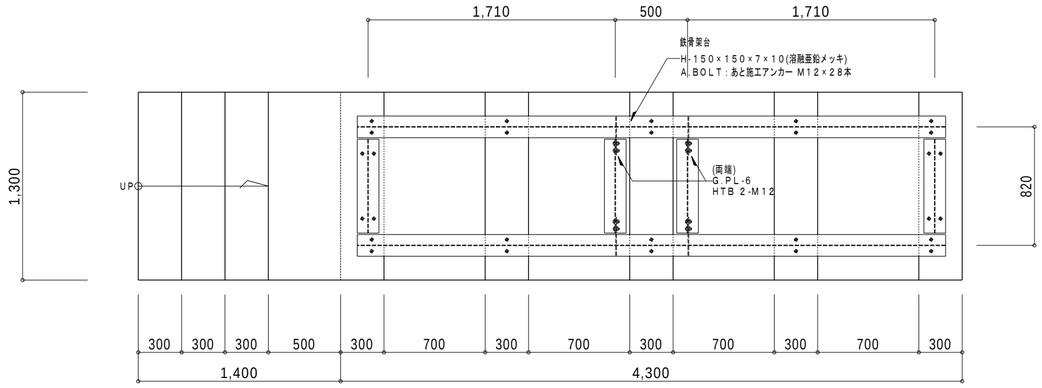
特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

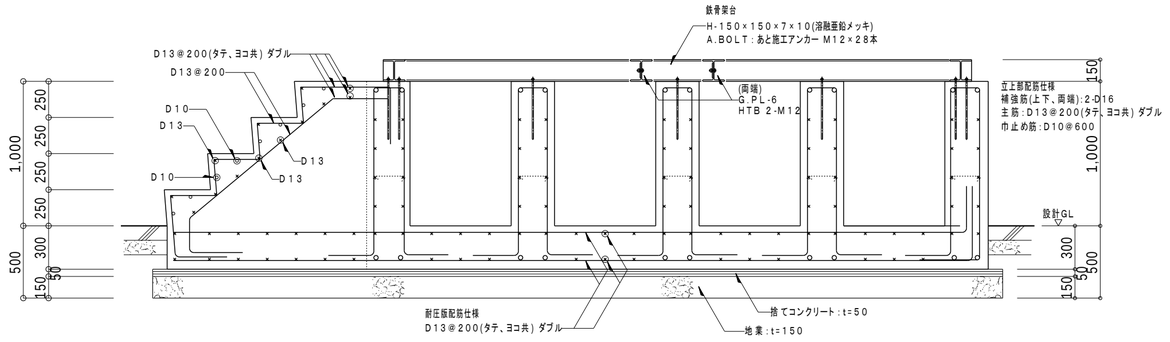
検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 7. 1.30	川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事	AU-06
		変更年月日	図面名称	Scale
		R 7.00.00	(上戸小学校) 改修 室外機設置平面図	1/100

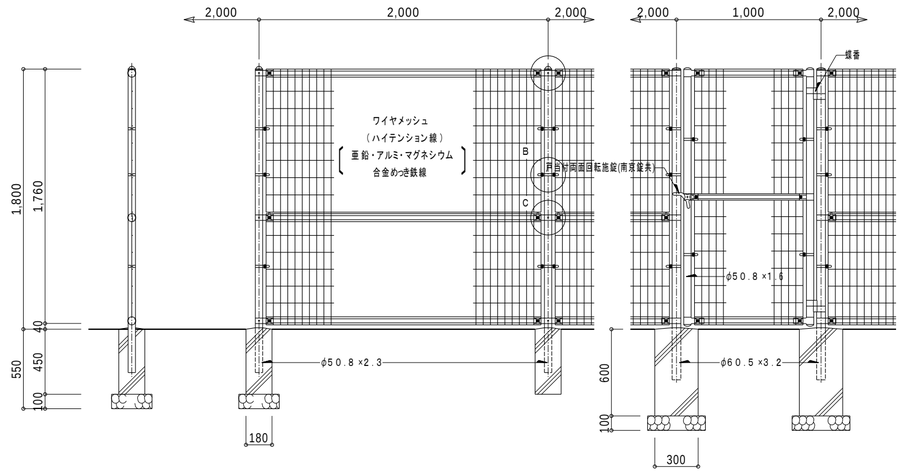
特記事項(室外機基礎、バルクタンク基礎共通)

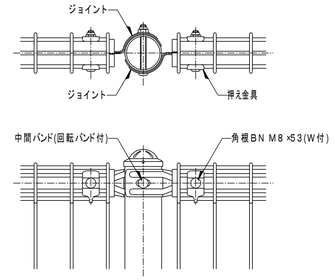
地業：再生クラッシュラン t=150
鉄筋：SD295、SD345 (重ね継手40d)
捨てコンクリート：呼び強度18、S15又は18
基礎コンクリート：呼び強度24、S18
型枠：打放型枠(B種)
鉄骨：SN400B 溶融亜鉛メッキ
あと施工アンカー：接着系 M12
※指示なき部分はC5面取りとする。
※仕上はコンクリート直金ごて押えとする。
※あと施工アンカーは、耐震設計書の引き抜き試験値にて種類ごとに引張試験を行い耐震上問題ないことを確認すること。
※(　)寸法は参考とし、選定機種等の設置条件により決定の事こと。



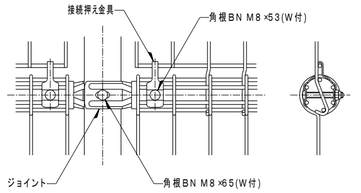
空調室外機・動力制御盤基礎詳細図 S=1／30





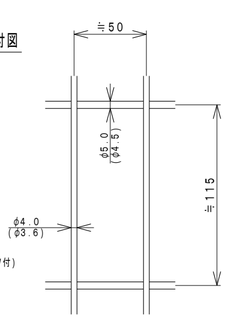


A部取付図

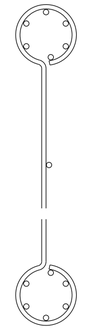


B部取付図

C部取付図



ワイヤメッシュ図



パネル断面図

メッシュフェンス・扉詳細図 S=1／30

設計条件
設計荷重…昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力による
基礎条件…長期許容地耐力　98kN／㎡(10t／㎡)

外装について
・主柱、ジョイント
　押え金具
　ワイヤメッシュ　--- 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・上部パネルバンド　--- 亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・下部パネルバンド　--- 溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・U 型 金 具　--- 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・ボルト、ナット　--- 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理
・戸当り付両面回転施錠　--- 溶融亜鉛めっきのみ

特記事項

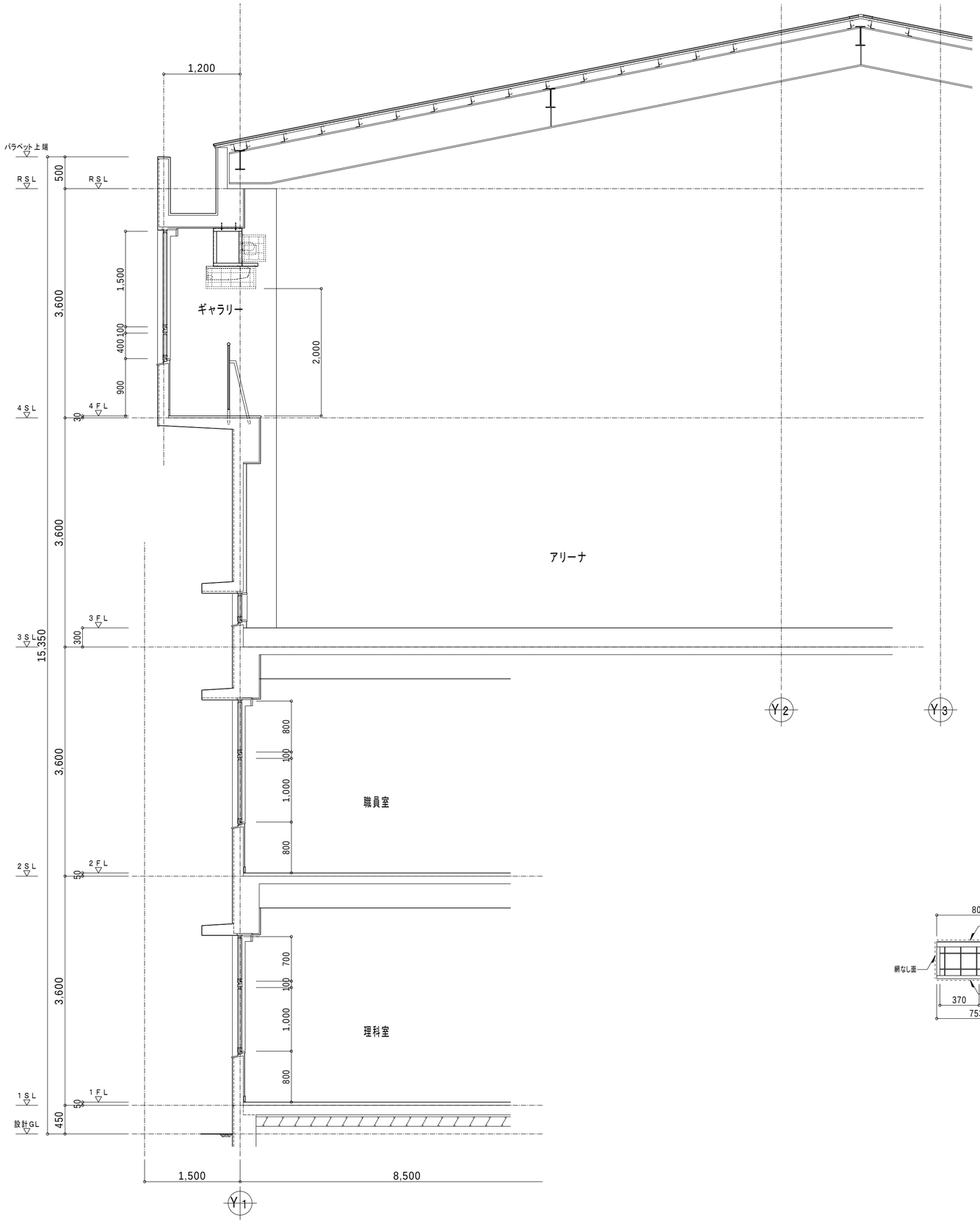
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

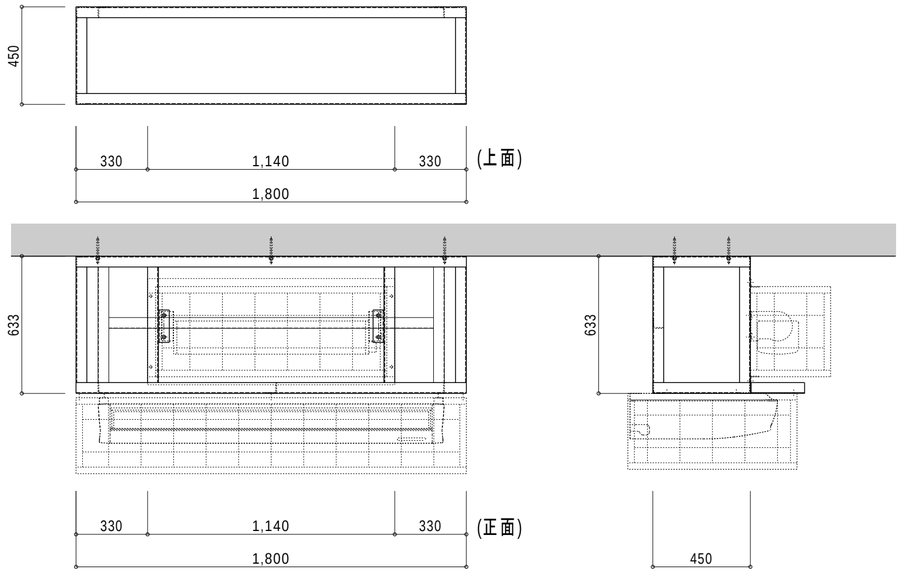
検印 齋藤出　設計 齋藤出

設計年月日 R 7．1．30
変更年月日 R 7.00.00

工事名称 川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事
図面名称 (上戸小学校) 各部詳細図
Scale 1／100

No. AU-07

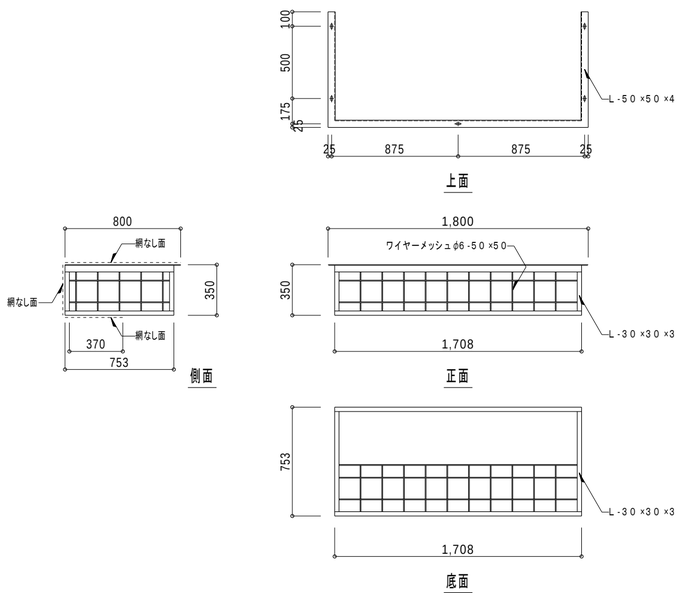




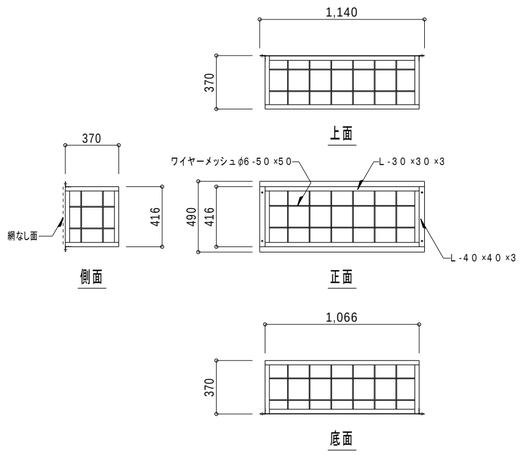
フレーム：L-50×50×4(溶接組立) 溶融亜鉛メッキ処理
あと施エアンカー(金属拡張式)：M10×6本(1架台当)

取付架台詳細図 S=1／20

※各寸法は参考とし選定機種等の条件により決定のこと



防球ガード(下面)参考図



防球ガード(側面)参考図

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R7.1.30 / 変更年月日 R7.00.00	工事名称 川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事 / 図面名称 (上戸小学校) 矩計図・取付架台詳細図・防球ガード参考図	No. AU-08

特記仕様書

Ⅰ.工事概要

１．工事名称

川越市上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事

２．工事場所

川越市大字上戸３９０番地１ほか１箇所

３．工事内容

本工事は、川越市立広谷小学校の体育館に空調設備等を整備するものである。

４．主任技術者又は監理技術者の専任期間(建設業法により必要になった場合)

（１）専任期間の始期

請負契約締結の日から、現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事が開始されるまで）の期間については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

（２）専任期間の終期

工事完了後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

（３）専任期間の中断

自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

５．工事範囲　　図示のとおり

Ⅱ.一般事項

１．設計図書の順位

(1) 質問回答書　(2) 特記仕様書　(3) 設計図

(4) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）、（建築工事編）（最新版）、（電気設備工事編）（最新版）

公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）、（建築工事編）（最新版）、（電気設備工事編）（最新版）

公共設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）、（電気設備工事編）（最新版）

機械設備工事監理指針（最新版）、建築工事監理指針（最新版）、電気設備工事監理指針（最新版）

２．疑義に対する協議等

設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取り合い等の関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督員と協議し、指示を受けること。

３．特記仕様書のうち選択する項目は、○印の付いたものを適用する。適用しない項目等は斜線または、無印とする。

４．発生材の処理等

本工事における撤去発生材については、受注者の責任で構外に搬出し、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令に遵守し適切に処理する。

５．建設副産物実態報告について

受注時・完了時において建築副産物情報交換システムに情報を入力し、以下の書類を監督員に提出すること。

受注時：再生資源利用計画書、同促進計画書、工事登録証明書

完了時：再生資源利用実施書、同促進実施書、工事登録証明書

また、「再生資源利用〔促進〕計画」を工事現場の公衆の見えやすい場所に掲げること。

６．施工計画書

工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画および工種別に機器、材料、工法などを具体的にまとめた施工計画書を作成し監督員に提出する。ただし、施工計画書の作成を要しない簡易な工事については、あらかじめ監督員の承諾を受け、省略することができる。

７．実施工程表

工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。ただし、実施工程表の作成を要しない簡易な工事については、あらかじめ監督員の承諾を受け、省略することができる。

８．施工体制台帳・施工体系図

工事の一部を下請施工させる場合は、下請負人に関する事項を記載した施工体制台帳および施工体系図を作成し、監督員に提出すること。また、施工体系図は工事看板とともに掲示すること。

９．工事の保険等

(1)工事目的物、工事材料等について、建設保険、火災保険、組立保険等に加入し、その写しを監督員に提出する。

(2)期間は工事完成期日後１４日を含むこと。

１０．法定外労災保険等

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

１１．工事実績情報の登録

受注者は、受注時、変更時、完成時、訂正時の各時点における請負代金額が５００万円以上の工事については、工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、工事実績情報システム（コリンズ）に登録するとともに、一般財団法人日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書（登録データの一覧表を含む。）」の写しを速やかに監督員に提出しなければならない。

１２．工事写真

施工前、施工工程および完成後確認困難な箇所等を撮影し、整理のうえ、１部提出すること。

１３．中間検査

原則１回とする。

１４．完成図書

(1) 完成図：施工完成図・機器完成図および取扱説明書、保証書等をとりまとめ、２部提出すること。

(2) 完成図データ：完成図を電子データ（ｄｗｇ、ｄｘｆ、ｊｗｗなど）にて１部提出すること。

(3) 完成写真：本工事主要部分の完成写真を撮影し、アルバム整理のうえ、１部提出すること。

(4) 冷媒漏えい点検記録簿：電子データにて提出すること。

Ⅲ.環境配慮改修工事

１．一般事項

大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、建設リサイクル法その他関係法令を遵守する。

その他の一般事項は、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9.1.2 による。

２．石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について、有資格者による調査を実施し、関係省庁及び監督員に報告すること。

また、事前調査結果と届出事項、石綿ばく露防止対策等の実施内容の掲示をすること。

調査範囲（　改修範囲　）

貸与資料（ ・ あり　　⊙ なし　　）

３．石綿含有建材の事前調査により石綿含有ありと判明した場合、または図示により石綿の除去等措置が必要な場合は下記による。

（１）石綿含有成形板の除去

石綿含有成形板の除去（レベル３）

石綿含有成形板等の除去は、石綿則に基づき、原形のまま、手ばらしで行う。

ただし、やむを得ず原形のまま取り外すことが技術上著しく困難な場合は、監督員と協議のうえ、湿潤化した状態で作業を行う。

（２）石綿含有仕上塗材部の改修

アンカー打設などの穿孔作業には、集塵機能付ドリルを使用し、粉塵を回収する。

コア抜き作業には、湿式ダイヤモンドコアドリルを使用し作業を行う。

（３）石綿含有建材の処分

石綿含有建材の処分（石綿含有産業廃棄物）

（イ）石綿含有せっこうボード

埋立処分（管理型最終処分場）

（ロ）石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板および石綿含有仕上塗材

埋立処分（安定型最終処分場）

中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

（ハ）石綿含有仕上塗材部等の改修により発生した粉塵や屑ならびに濁水

埋立処分（管理型最終処分場）

４．参考図書

（１）建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル　（厚生労働省、環境省監修　令和３年３月）

（２）石綿含有廃棄物等処理マニュアル　第３版　（環境省監修　令和３年３月）

Ⅳ. 施工条件

１．施工日及び施工時間は、次による。

（１）行政機関の休日に関する法律に定める行政機関の休日は、施工しない。

ただし、監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。

（２）学校内の施工時間は８：３０～１７：００。変更する必要がある場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。

（３）夜間に施工する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。

２．１．以外の施工条件は、別図ＧＨ-02による。

Ⅴ. 工事仕様

１．耐震計算に用いる設計用水平震度は、室外機設置場所が１階の場合はＫＨ＝１．０とする。

２．室外機据付のあと施工アンカーは、種類ごとに１箇所引抜試験を行うこと。

３．試験項目は以下のとおりとする。

冷媒管気密試験（試験数値は選定メーカー要領による）、現地試運転試験（吸込・吹出温度測定、風量測定、ドレン通水試験）、絶縁抵抗試験、接地抵抗試験、ガス配管気密試験

４．１系統のガス消費量が７０ｋW以上の場合、消防法の「火気使用設備等の設置届」が必要となるため、消火器設置を見込むこと。

５．冷媒配管：断熱材被覆銅管（国土交通省標準仕様適合品とする。）（断熱厚さ：液管10mm以上、ガス管20mm以上）

６．ドレン管：保温機能付空調用ドレン管（屋内）、耐候性向上仕様硬質ポリ塩化ビニル管（カラーＶＰ）（屋外・色は監督員と協議のこと）

７．冷媒管外装：カラーガルバリウム製ラッキング又は冷媒ラック（屋外）※色は監督員と協議のこと、合成樹脂製カバー（屋内）

８．連絡線：CEE-Sケーブル（原則冷媒管共巻とする）

９．リモコン線：CEE-Sケーブル

１０．電源線：CEケーブル、CETケーブル、EEFケーブル（室内機用電源線は冷媒管共巻とし、連絡線より50mm以上離隔をとること）

１１．屋外に使用する支持材は原則としてステンレス製とする。（施工状況によっては溶融亜鉛めっきも可とする）

１２．ガス設備は次による。

（１)配管材料　・　都市ガス　ガス事業者の供給規定による。埋設はPE管を原則とする。

⊙ 液化石油ガス　一般配管：　⊙合成樹脂被覆銅管　・SGP(白)、地中埋設：　・PE管

（２）ガス漏れ警報遮断装置　　漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。

（３）液化石油ガスの供給権　　ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。

１３．屋内にある既存の支持金物は原則再使用とするが、詳細は協議により決定する。

１４．建設発生土の処理は次のとおりとする。

⊙ 本工事により発生する建設発生土については、下記に示す土質改良プラントへの搬出を想定しているが、別施設を選定する場合には、事前に監督員と協議すること。

・受入側名称（土質改良プラント）：川越市大字下赤坂１８００-３、(株)ホートー川越リサイクルプラント

・土質及び処分量：２４.７m３

・搬出時期：令和７年１２月～令和８年１月（予定）

・　監督員が指示する構内の場所に敷きならす。（　・敷きならし　　・たい積　）

Ⅵ. 注記事項

１．施工工程の詳細については監督員その他関係者と充分協議し、当該施設の運営等に支障をきたさないよう留意すること。

２．施工中の安全管理には充分留意し、必要に応じて標識、仮囲いなどの安全処置を施すこと。

３．本工事において、既存建物などに損傷等を与えた場合は、受注者の責任において修復すること。

４．機器等に不具合等を発見した場合は、速やかに監督員に報告すること。

５．工事目的物引渡しまでに、施設運営上やむをえず工事対象物を使用する場合は、約款に基づく部分使用に係る手続きを行う。

６．毎作業終了時には、後片付け及び清掃を行い、作業現場の美化等に努めること。

７．請負契約金額が５００万円以上の場合は、ワンデーレスポンスの対象工事とする。

８．既設の家具・什器等の移動については、原則受注者の責任により行うこととする。

９．工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行うこと。

１０．RC造の躯体のコア抜きする際は、各所レントゲン撮影等の調査を行うこと。

１１．本工事の仮設などで使用する電力やガスは、子メーターを設置するなど、使用量が分かるようにすること。

（関連工事の電気設備改修工事分も含む）

１２．工事の着手に先立ち、工事用打合せ図面（A3二つ折り製本）を２部提出すること。

１３．工事名及び工事内容を記した工事看板（内容及び設置場所について監督員と協議したもの）を設置すること。

１４．その他関連工事　⊙ 有り（川越市立上戸小学校ほか１校電気設備改修工事）　　・ 無し

Ⅶ. 改修一般事項（付加事項）

１．本工事で単独に必要となる足場は下記により設ける。⊙本工事　・別契約の関係請負者が定着したものは無償で使用できる)

（１）内部足場　⊙ 脚立足場　・ くさび緊結式足場（手すり先行方式）　⊙ローリングタワー

（２）外部足場　・ Ａ種　⊙ Ｂ種（くさび緊結式足場（手すり先行方式））　・Ｃ種　・ Ｄ種　・ Ｅ種　・ Ｆ種

なお、本工事で設置した足場作業構台の類は、無償で別契約の関係受注者等に使用させること。

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印　齋藤出　　設計　齋藤出

設計年月日　Ｒ７．１．３０
変更年月日　Ｒ６．００．００

工事名称　川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事
図面名称　(広谷小学校) 特記仕様書　　Ｓｃａｌｅ

No.　GH-01

施工条件等(広谷小学校)

※（　）は、小学校は「児童」、中学校は「生徒」と読み替える。

■本工事は、工事施工の箇所を施設運営中に体育館利用を休止して施工するため、以下の点につき配慮し、作業及び工程管理を行うこと。

- 施設運用中の作業では、騒音等に十分配慮するとともに、※（児童又は生徒）や教職員、一般利用者などへの十分な安全対策を施すこと。
- 現場作業により備品等の破損が無いよう細心の注意を払い作業を行うこと。
- 工事期間中、施工部屋以外の※（児童又は生徒）や教職員、一般利用者などへの動線を確保すること。
- 施設の運用に支障をきたさぬよう作業実施日や養生についての施設管理者側の要望に対し柔軟に対応すること。
- 休校日または、運営時間外に実施しなければならない作業の際は、監督員や施設管理者等の許可を得て作業を行うこと。
- 現調や準備作業等を行う際は、監督員や施設管理者と日程や場所の調整を行うこと。

■屋内施工については、原則として下記の○印期間に施工すること。なお、詳細な作業実施時期ついては契約後、受注者、監督員及び施設管理者と協議により決定とする。

① 令和７年８月下旬から１０月上旬のうち、概ね１ヶ月程度

2. 令和７年１２月上旬から令和８年１月下旬のうち、概ね１ヶ月程度（年末年始の閉庁日を除く）

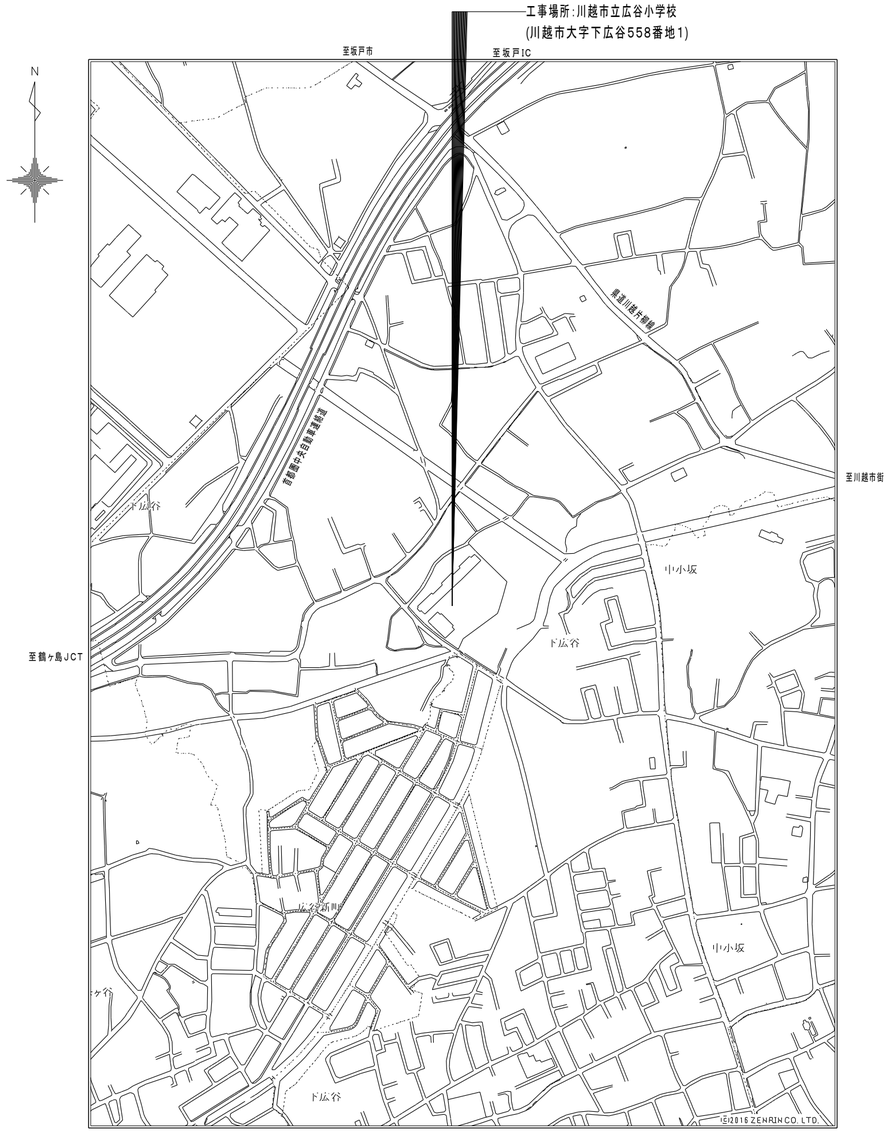
凡　例

- 工事建物を示す
- 工事車両搬出入口を示す(予定)
- 工事車両通行経路を示す(予定)
- 仮囲い(ガードフェンス　H＝1.8m)を示す
- キャスターゲート（W3.6m ×H2.0m）を示す
- 交通誘導員を示す(搬出入時、外構撤去時等)
- 建物搬出入口を示す(予定)

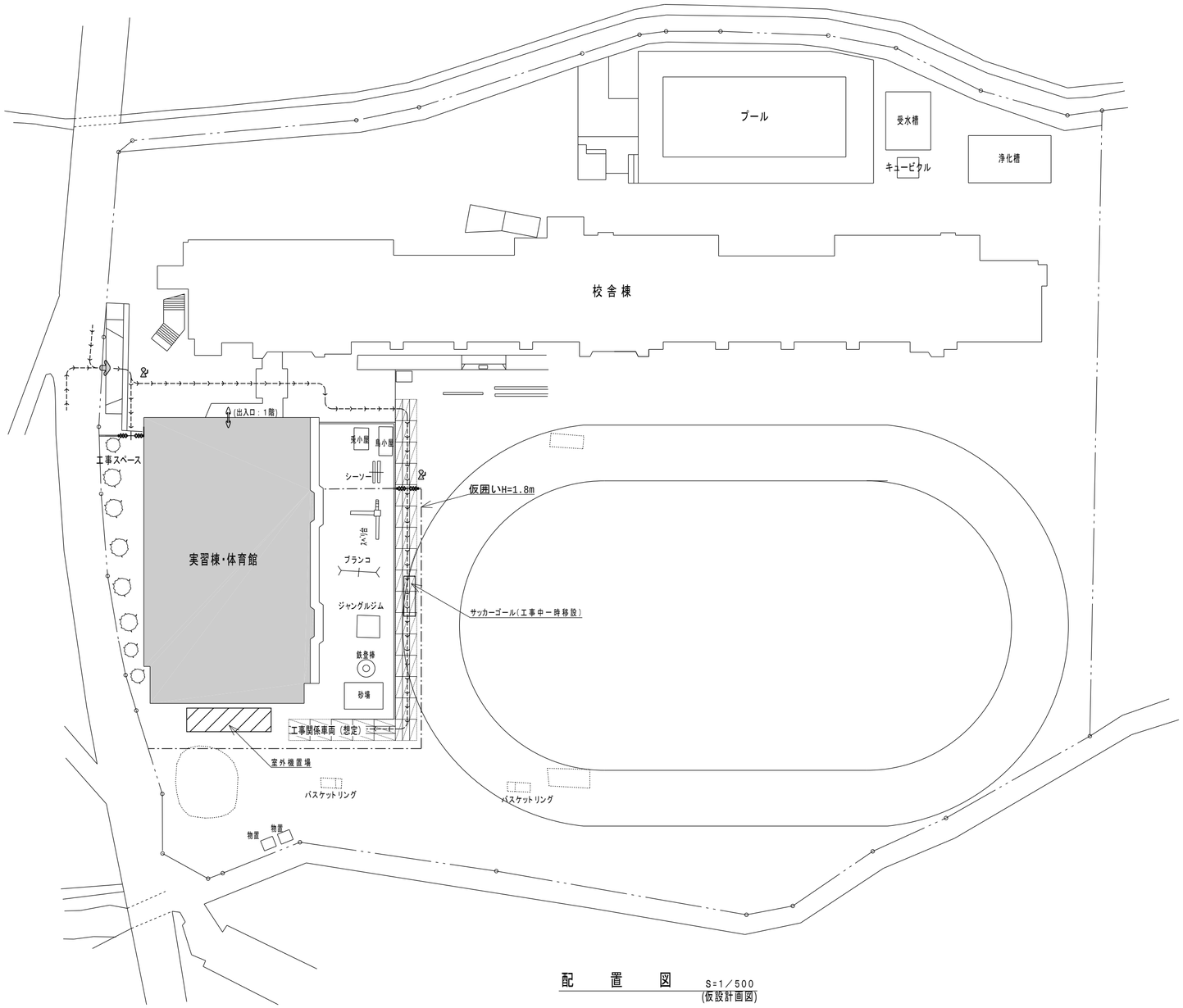
※仮設計画は周囲の状況を調査し、仮設計画図を作成の上、監督員の承認をうける事。

※工事用駐車場は施設と協議の上、決定すること

※仮囲い範囲外の工事はカラーコーン等で随時区画し安全に配慮すること。



案　内　図



配　置　図　S=1／500
(仮設計画図)

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 7. 1. 30	川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事	GH-02
		変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 (広谷小学校) 施工条件・案内図・配置図	Scale 1／500

機器表

記号	機器名称	台数	機器仕様	相（φ）	電圧（V）	冷房消費電力（KW）	暖房消費電力（KW）	設置場所 階	設置場所 室名
＜冷暖房設備＞									
ＧＨＰ－１	ガスヒートポンプエアコン	１組	屋外機型式：　停電時自立運転対応型ビル用マルチエアコン、	1	200	1.33	1.19	１階	屋外機置場
（親機）	マルチ屋外機		プロパンガス仕様、相当馬力：20馬力		発電時	0.13	0.13		
			冷房能力：　56.0 kW　暖房能力：　63.0 kW						
			ガス消費量(非発電時)　冷房：46.1kW、暖房：42.7kW						
			ガス消費量(発電時)　冷房：49.2kW、暖房：45.6kW						
			発電機容量：4.5kVA						
			公共建築工事標準仕様、防振架台、臭化低減機能						
			分岐配管セット、ドレンホースキット、動力制御盤(電源切替盤)、自立運転スイッチ						
			他付属品一式						
			機器重量：　870 kg						
			外形寸法：　2026Wx880(+80)Dx2228H						
ＧＨＰ－１－１	ガスヒートポンプエアコン	4 台	屋内機型式：　天井吊形、相当馬力：5馬力	1	200	84W	84W	２階	体育館
	屋内機		冷房能力：　14.0 kW　暖房能力：　16.0 kW						
			ロングライフフィルター、防球ガード、防振吊具、ドレンアップキット、他付属品一式共						
			機器重量：　33 kg						
			外形寸法：　1595Wx680Dx210H						
ＧＨＰ－２	ガスヒートポンプエアコン	１組	屋外機型式：　停電時自立運転対応型ビル用マルチエアコン、	1	200	1.33	1.19	１階	屋外機置場
（子機）	マルチ屋外機		プロパンガス仕様、相当馬力：20馬力		発電時	0.13	0.13		
			冷房能力：　56.0 kW　暖房能力：　63.0 kW						
			ガス消費量(非発電時)　冷房：46.1kW、暖房：42.7kW						
			ガス消費量(発電時)　冷房：49.2kW、暖房：45.6kW						
			発電機容量：4.5kVA						
			公共建築工事標準仕様、防振架台、臭化低減機能						
			分岐配管セット、ドレンホースキット、他付属品一式						
			機器重量：　820 kg						
			外形寸法：　2026Wx880(+80)Dx2228H						
ＧＨＰ－２－１	ガスヒートポンプエアコン	4 台	屋内機型式：　天井吊形、相当馬力：5馬力	1	200	84W	84W	２階	体育館
	屋内機		冷房能力：　14.0 kW　暖房能力：　16.0 kW						
			ロングライフフィルター、防球ガード、防振吊具、ドレンアップキット、他付属品一式共						
			機器重量：　33 kg						
			外形寸法：　1595Wx680Dx210H						

記号	機器名称	台数	機器仕様	相（φ）	電圧（V）	冷房消費電力（KW）	暖房消費電力（KW）	設置場所 階	設置場所 室名
＜冷暖房設備＞									
ＧＨＰ－３	ガスヒートポンプエアコン	１組	屋外機型式：　停電時自立運転対応型ビル用マルチエアコン、	1	200	1.33	1.19	１階	屋外機置場
（子機）	マルチ屋外機		プロパンガス仕様、相当馬力：20馬力		発電時	0.13	0.13		
			冷房能力：　56.0 kW　暖房能力：　63.0 kW						
			ガス消費量(非発電時)　冷房：46.1kW、暖房：42.7kW						
			ガス消費量(発電時)　冷房：49.2kW、暖房：45.6kW						
			発電機容量：4.5kVA						
			公共建築工事標準仕様、防振架台、臭化低減機能						
			分岐配管セット、ドレンホースキット、動力制御盤(電源切替盤)						
			他付属品一式						
			機器重量：　870 kg						
			外形寸法：　2026Wx880(+80)Dx2228H						
ＧＨＰ－３－１	ガスヒートポンプエアコン	2 台	屋内機型式：　天井吊形、相当馬力：5馬力	1	200	84W	84W	２階	体育館
	屋内機		冷房能力：　14.0 kW　暖房能力：　16.0 kW						
			ロングライフフィルター、防振吊具、ドレンアップキット、他付属品一式共						
			機器重量：　33 kg						
			外形寸法：　1595Wx680Dx210H						
ＧＨＰ－３－２	ガスヒートポンプエアコン	3 台	屋内機型式：　4方向カセット形、相当馬力：3.2馬力	1	200	85W	80W	２階	体育館
	屋内機		冷房能力：　9.0 kW　暖房能力：　10.0 kW						
			ロングライフフィルター、防振吊具、他付属品一式共						
			機器重量：　27 kg						
			外形寸法：　840Wx840Dx290H						

注記

1．選定機器する機器は公共建築工事標準仕様とする。

2．機器表に記載のガス消費量及び消費電力は参考値とする。また、機器重量及び外形寸法についても参考値とする。

3．消防法令に基づいて届出（火を使用する設備等の届出）対象の屋外機については、消防と協議の上、屋外機置場に消火器（消火器ボックス含む）を設置すること。

4．選定する機器の能力は、仕様に記載された数値以上とする。

5．GHP停電自立運転は下記について留意すること。

・停電時において、内蔵されている蓄電池装置にて自立運転が可能であること。

・自立運転時において、室内機、搬送機、コンセントおよび照明器具等に電源を供給する。

・空調操作盤は空調リモコンを実装し、課金装置に対応すること。

・上記要件を満たす空調機器等を選定すること。

なお、機器表や平面図記載の機器構成や配線仕様などは参考とし、詳細な仕様については、選定メーカーの指定する仕様に限り、別途監督員と協議し決定するものとする。

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印　設計

設計年月日　R 7. 1. 30
変更年月日

工事名称　川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事
（広谷小学校）
図面名称　冷暖房設備　機器表・凡例（1）
Scale　N/S

No.　MH-01

機器表

電源周波数：50Hz

記号	機　器　名　称	台数	機　　器　　仕　　様	相	電圧	消費電力	設置場所	
				（φ）	（V）	(KW)	階	室　名
ＲＣ－１	ワイヤードリモコン	6 台	型式：　　ワイヤードリモコン	-	-	-	１階	体育館
			液晶画面付、運転ランプ、操作スイッチ、他付属品一式					（空調操作盤内）
Ｆ－１	搬送ファン	10 台	型式：　　エアー搬送ファン　　標準タイプ	1	200	73W	２階	体育館
			風量：　　1365 m3/ｈ					
			吊金具共、ON/OFFスイッチ、他附属品一式					
ＬＰＧ－１	バルクタンク	1 台	型式：　　地上設置竪型　（災害対応型）	1	100		１階	屋外機置場
			有効容量：　　980 Kg					
			災害用ガス栓ボックス、調整器、ガス栓ヘッダー、					
			マイコンガスメーター(貸与品)、他付属品一式					
			外形寸法：　　1900Wx2000Dx2449H					

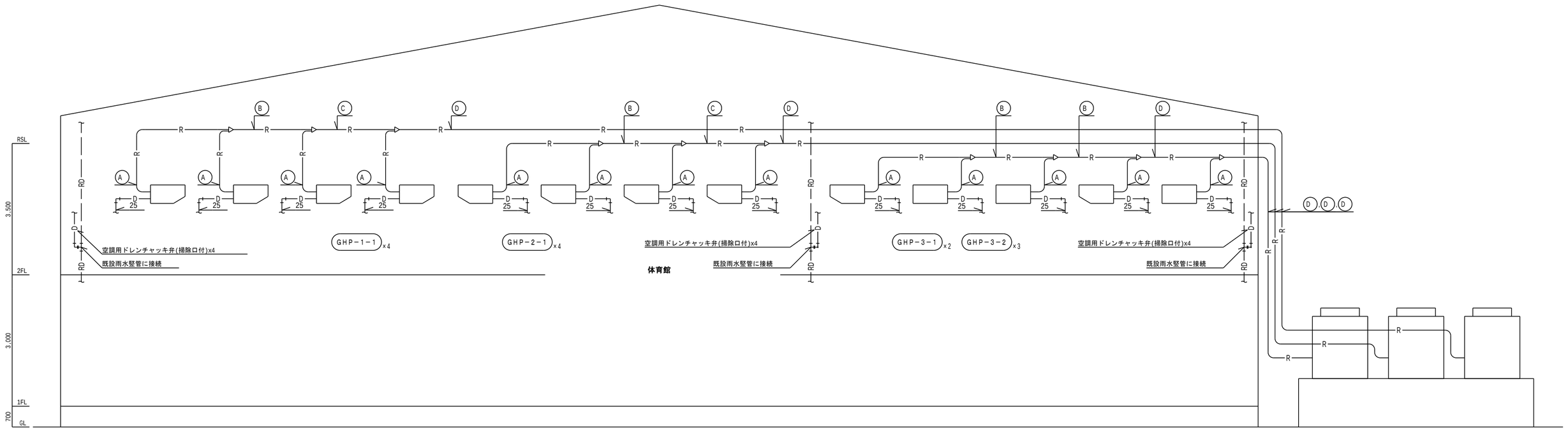
凡例（新設）

記　　号	名　　称	仕　　様
――― R ―――	冷媒管	断熱材被覆銅管
		断熱材の厚さ：液管は10.0mm以上　　ガス管は20.0mm以上とする。
		屋外露出部はカラーガルバリウム鋼板カバーに納める。
		屋内露出部は合成樹脂製カバーに納める。
		冷媒管の自重負荷及び熱膨張負荷軽減のため、冷媒管の竪管へ１箇所竪バンドを
		設けること。
		図中の冷媒管サイズが選定メーカーの仕様と異なる場合は、メーカー仕様を優先する。
――― D ―――	ドレン管	屋外：耐候性向上仕様硬質ポリ塩化ビニル管(カラーVP)
		屋内：保温機能付空調用ドレン管(ACD)
		室外機接続部：ドレンホース
		屋内保温仕様（異種管接続部）
		保温筒（ＧＷ20mm厚）＋粘着テープ巻き
		注）室内機がドレンアップ仕様の場合は、ドレンアップ部を保温する。
――― PG ―――	ガス管	屋外露出：カラー鋼管　　※ガス供給会社の規定による
		土中埋設：ＰＥ管　　※ガス供給会社の規定による
		GC～室外機：強化ガスホース　　※ガス供給会社の規定による
――― Ⓣ ―――	空調用ドレンチャッキ弁	掃除口付
連絡線	屋外機～屋内機	EM-CEES1.25sq-2C（冷媒管併設）
リモコン線	室内機～	EM-MEES1.25sq-2C（露出部はメタルモール(B型)にて保護）
	リモコンスイッチ	

特記事項

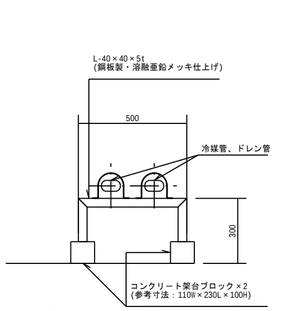
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	佐藤	R 7. 1. 30	川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事	MH-02
		変更年月日	図面名称 (広谷小学校) 冷暖房設備　機器表・凡例（2）	Scale N/S



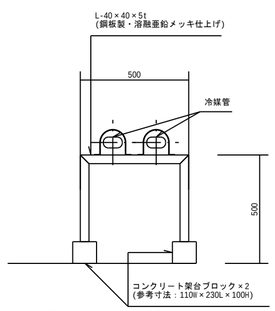
GHP−3　GHP−2　GHP−1

記号	冷媒サイズ
A	9.5φ×15.9φ
B	9.5φ×22.2φ
C	12.7φ×28.6φ
D	15.9φ×28.6φ



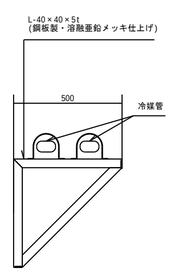
※記載値は参考値であり、現場施工状況に合わせ調整のこと。

配管支持架台c　参考図 S=1:20



※記載値は参考値であり、現場施工状況に合わせ調整のこと。

配管支持架台d　参考図 S=1:20



壁ブラケット架台

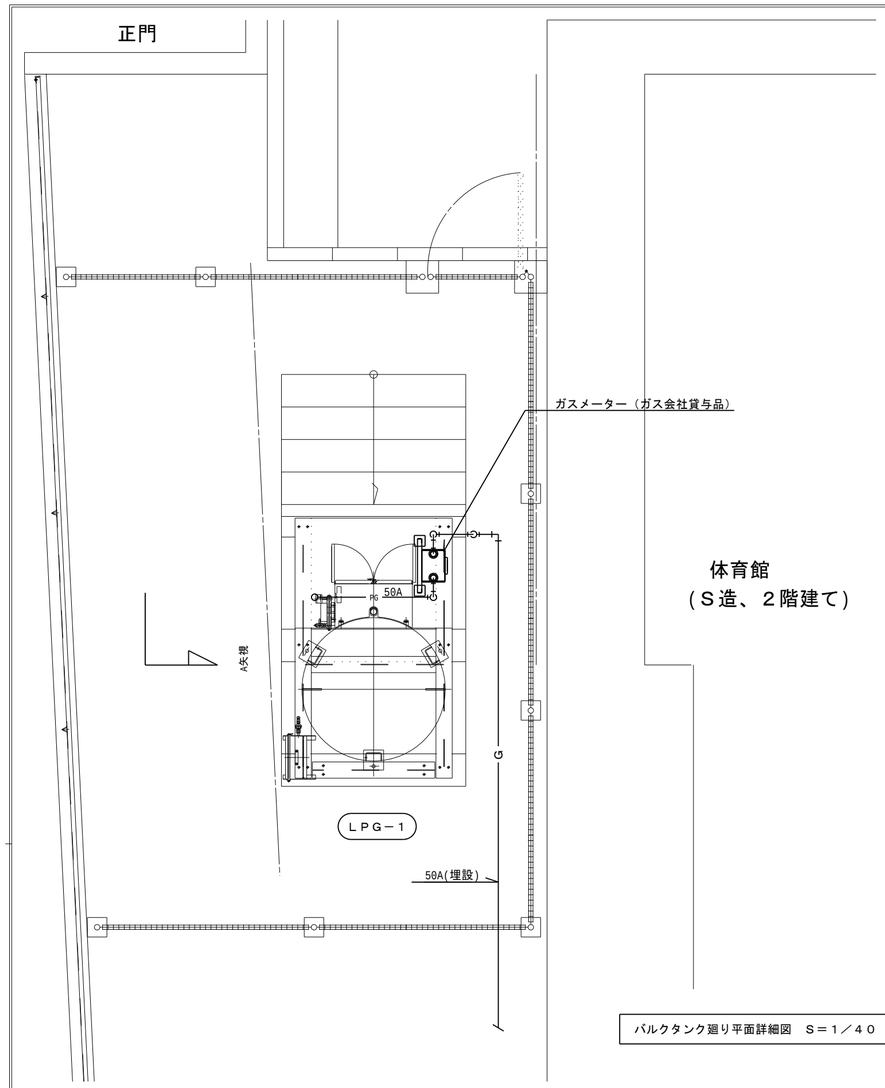
※記載値は参考値であり、現場施工状況に合わせ調整のこと。

配管支持架台e　参考図 S=1:20

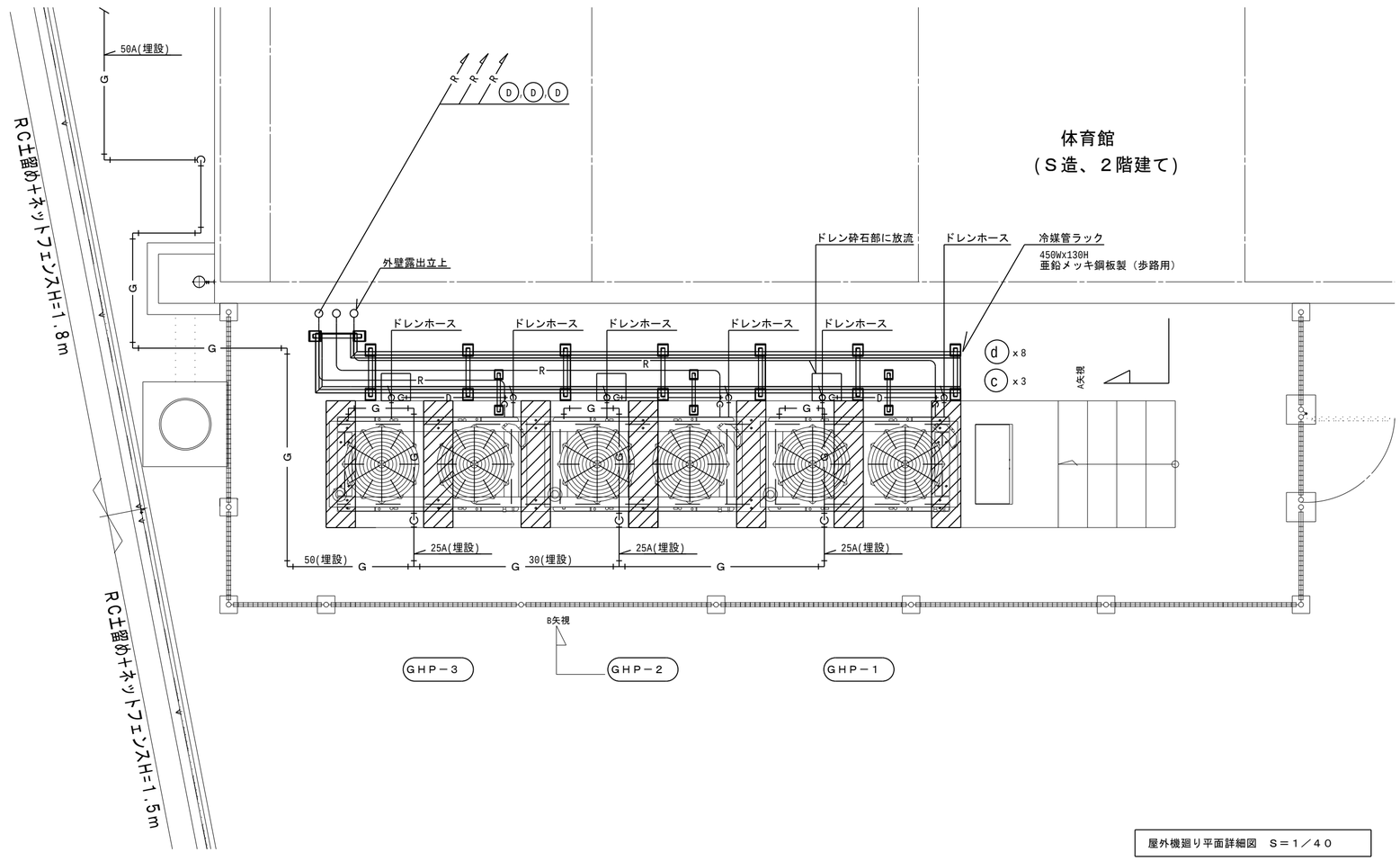
特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

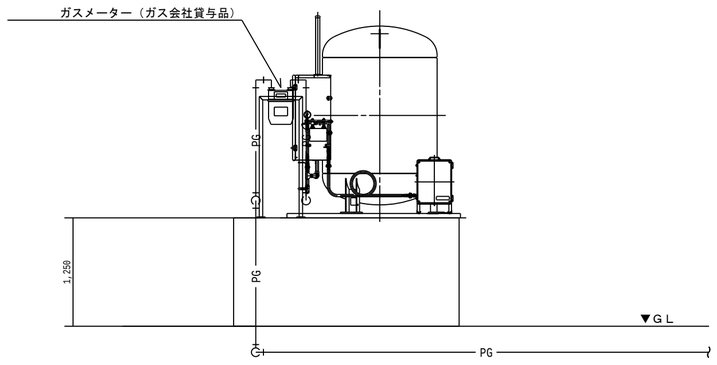
検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	佐藤	R 7. 1. 30	川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事	MH-03
		変更年月日	図面名称 (広谷小学校) 冷暖房設備 系統図	Scale N/S



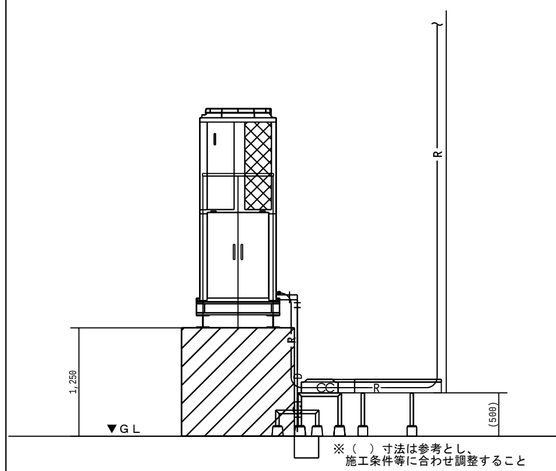
バルクタンク廻り平面詳細図　S＝1／40



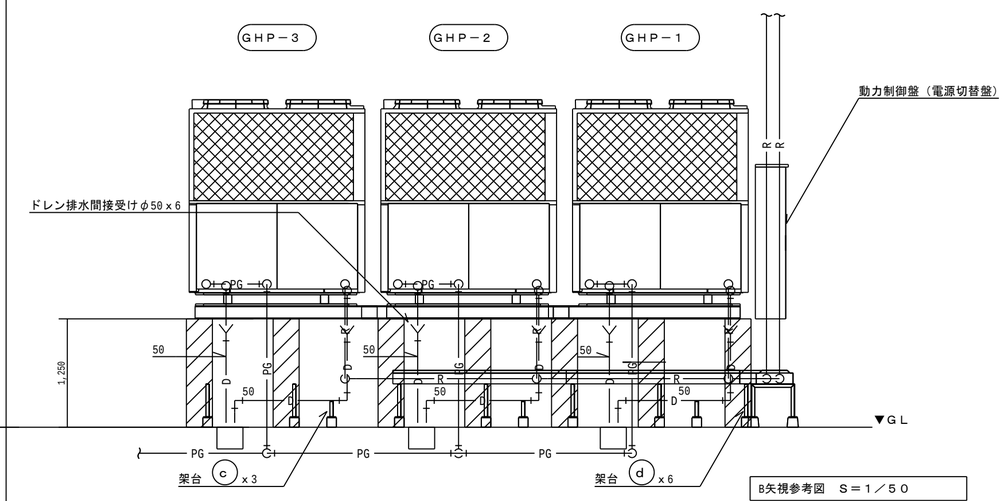
屋外機廻り平面詳細図　S＝1／40



A矢視参考図　S＝1／50



A矢視参考図　S＝1／50

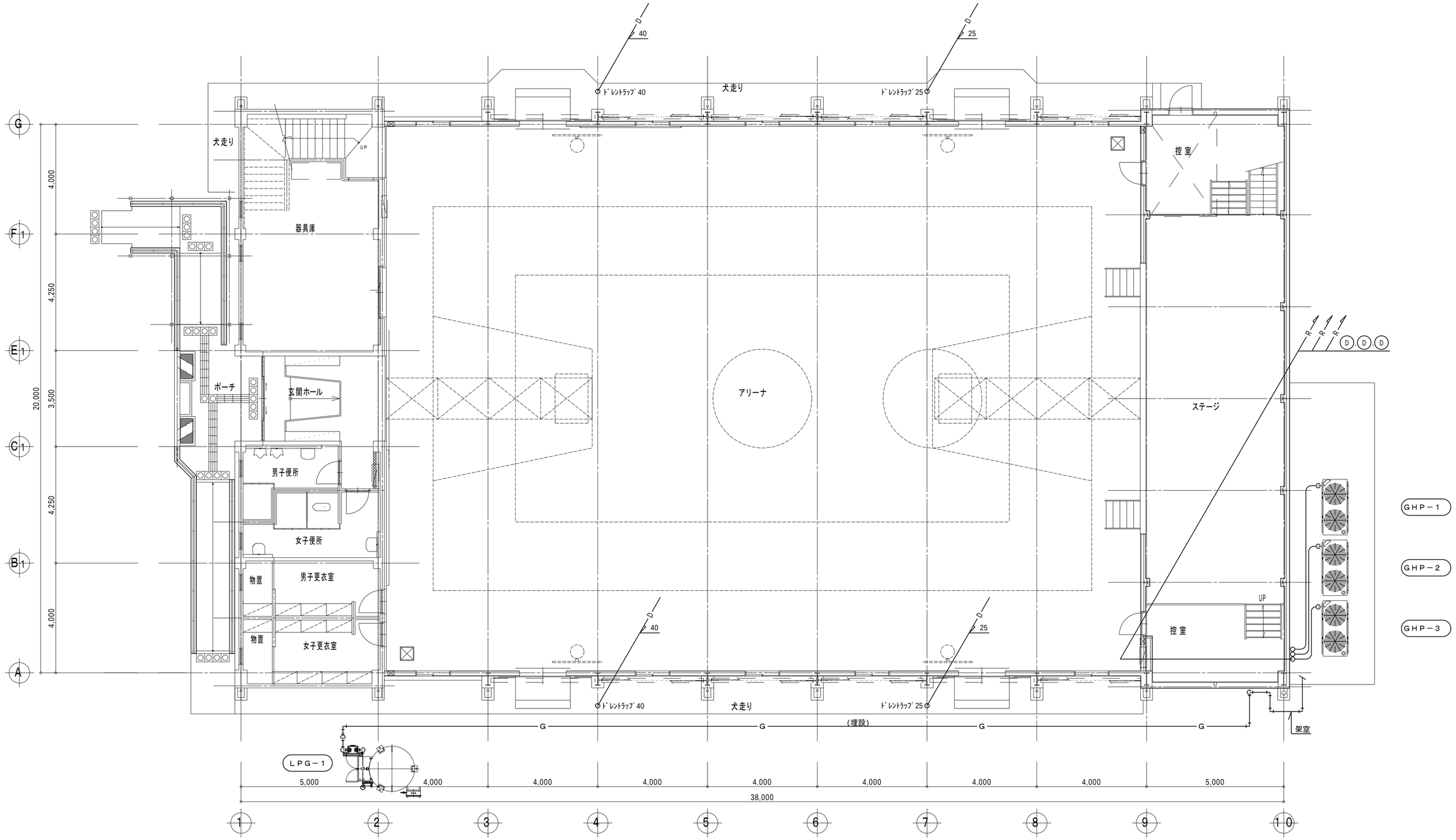


B矢視参考図　S＝1／50

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	佐藤	R 7. 1. 30	川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事	MH-04
		変更年月日	図面名称 (広谷小学校) 1階配管平面詳細図	Scale S=1/40、50



記号	冷媒サイズ
A	9.5φ×15.9φ
B	9.5φ×22.2φ
C	12.7φ×28.6φ
D	15.9φ×28.6φ

注　記	
1.	冷媒管の口径は左表による。
2.	冷媒管外装について屋外はカラーガルバリウム製ラッキング仕上
	屋内露出部は合成樹脂製カバー仕上げとする。
3.	室内機電源については冷媒配管共巻きとし、EM-EEF2.0-3C
	を見込むものとする。
4.	屋内機ドレン配管立下部に空調用ドレンチャッキ弁(掃除口付)を
	見込むものとする。
5.	機器設置においては新設機器架台により機器吊り込みを行い
	後打ちアンカーボルトにて梁下面に固定を行う。
6.	配管の敷設位置及びレベルについては既設開口部の開閉及び
	カーテンの開閉に支障の無いよう現場状況に応じて施工を
	行うものとする。
7.	外壁コア抜きに際し事前にアスベスト含有調査報告を行うこと。

1 階 平 面 図　S=1／100

特記事項

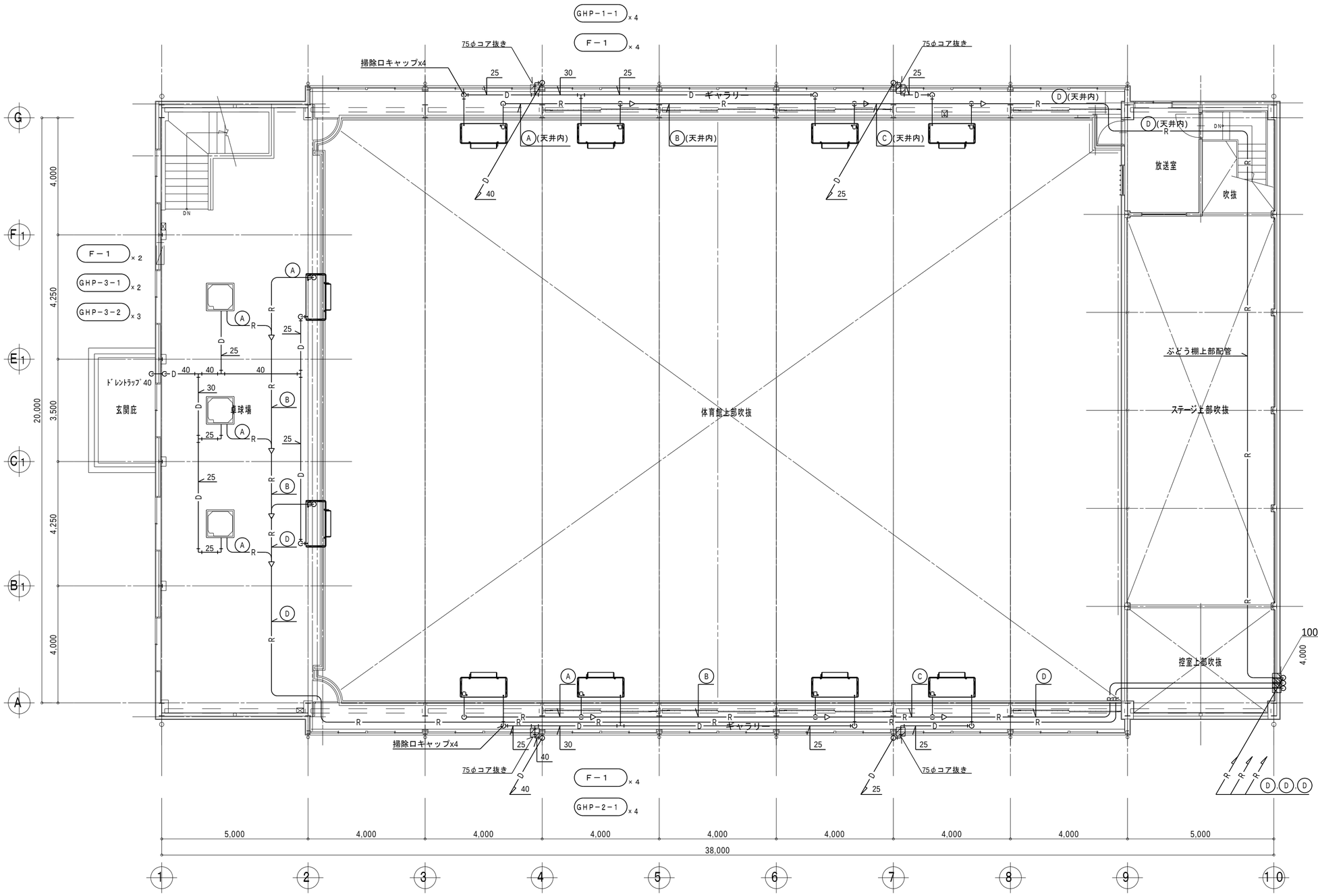
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

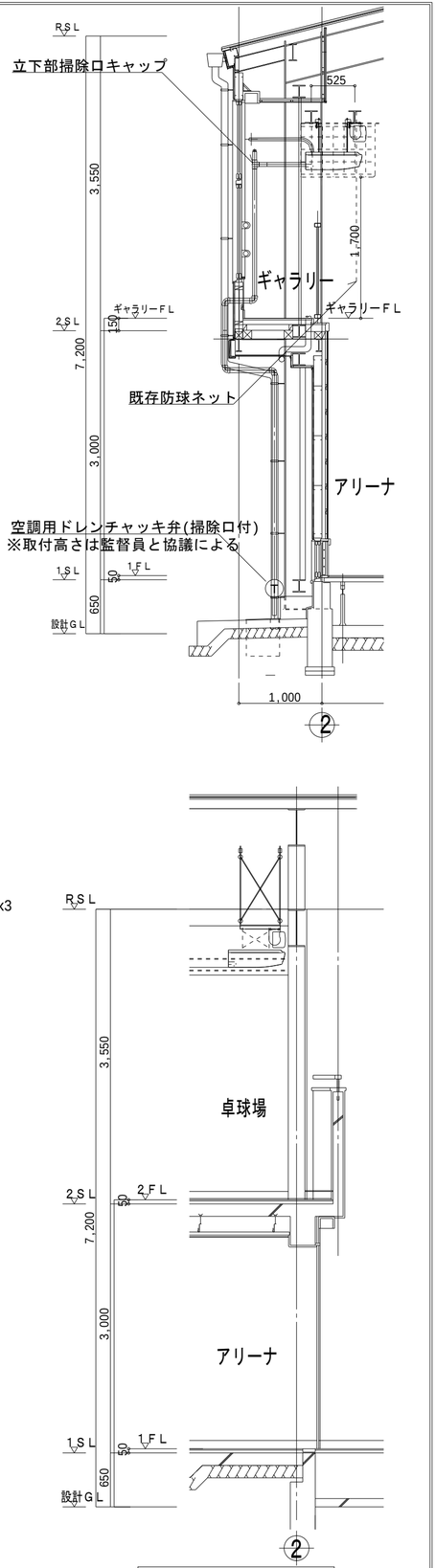
検印 齋藤出　設計 佐藤

設計年月日 R 7．1．30
変更年月日

工事名称 川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事
図面名称 (広谷小学校) 1階配管平面図
Scale S=1／100

No. MH-05





断面参考図　S＝1／50

記号	冷媒サイズ
A	9.5φ×15.9φ
B	9.5φ×22.2φ
C	12.7φ×28.6φ
D	15.9φ×28.6φ

注　記

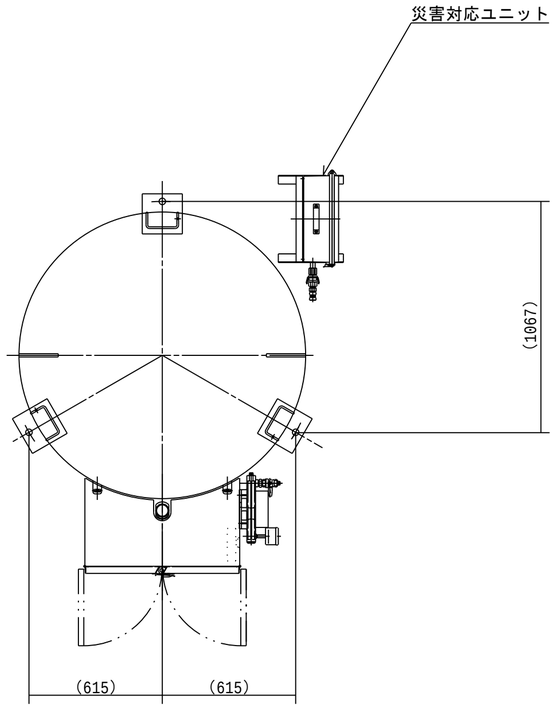
1. 冷媒管の口径は左表による。
2. 冷媒管外装について屋外はカラーガルバリウム製ラッキング仕上
   屋内露出部は合成樹脂製カバー仕上げとする。
3. 室内機電源については冷媒配管共巻きとし、EM-EEF2.0-3C
   を見込むものとする。
4. 屋内機ドレン配管立下部に空調用ドレンチャッキ弁(掃除口付)を
   見込むものとする。
5. 機器設置においては新設機器架台により機器吊り込みを行い
   後打ちアンカーボルトにて梁下面に固定を行う。
6. 配管の敷設位置及びレベルについては既設開口部の開閉及び
   カーテンの開閉に支障の無いよう現場状況に応じて施工を
   行うものとする。
7. 外壁コア抜きに際し事前にアスベスト含有調査報告を行うこと。

2 階 平 面 図　S=1／100

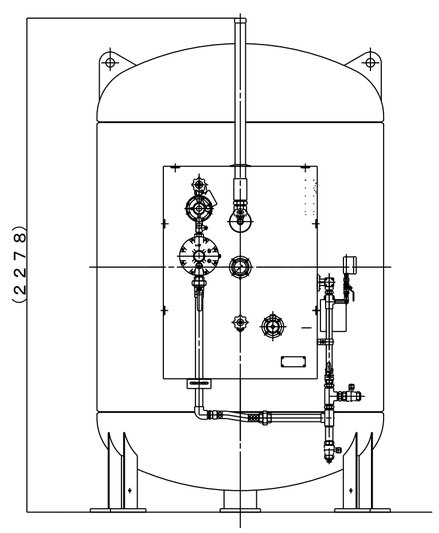
特記事項

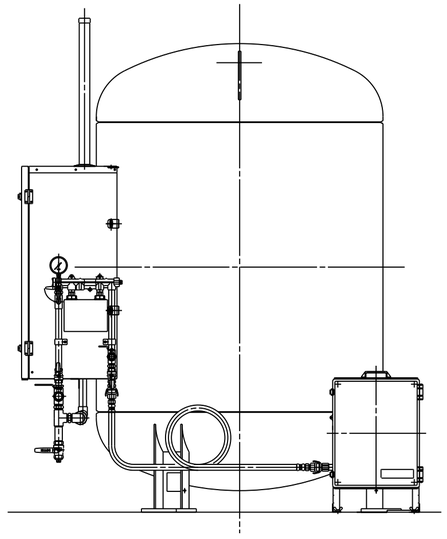
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	佐藤	R 7. 1. 30	川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事	MH-06
		変更年月日	図面名称 (広谷小学校) 2階配管平面図・断面図	Scale S=1/50、100



※（　）　寸法は参考値
※据付時のボルト孔位置（３ヶ所）については
　現物をよく確認の上墨出しを行うこと





特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	佐藤	R 7. 1.30	川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事	MH-07
		変更年月日	図面名称 (広谷小学校) バルクタンク詳細図（参考図） Scale S=1/20	

操作条件

①学校使用時：キースイッチを「学校」側にし、個別リモコンから操作

②貸出使用時：キースイッチを「貸出」側にし、カードを入れた後、個別リモコンから操作

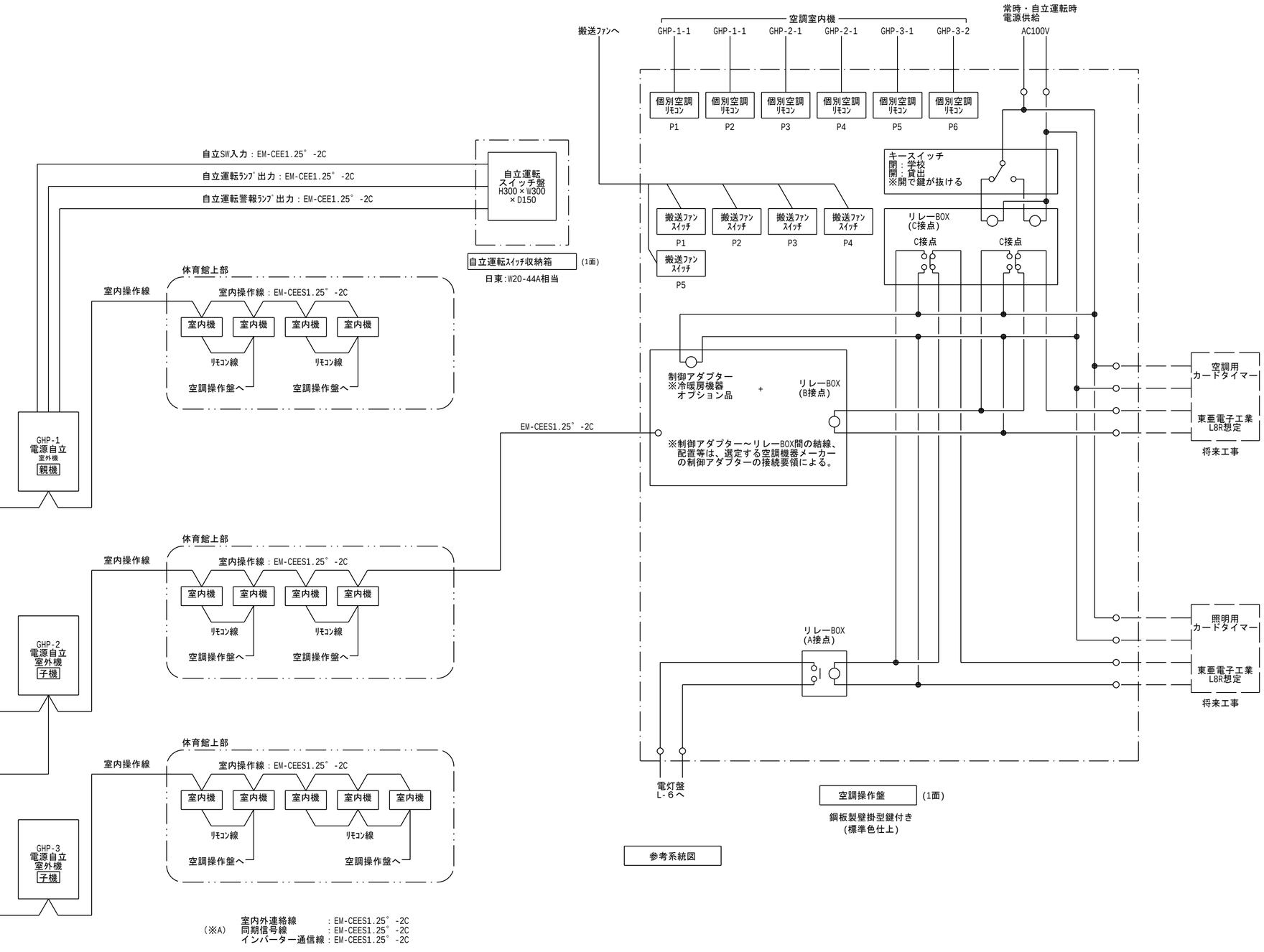
③停電使用時：自立運転スイッチにて自立運転開始後、キースイッチを「学校」側にし、個別リモコンから操作

・カード挿入時に手元解除となり個別リモコンから操作可能となる。

・時間経過しタイマー切れたタイミングで手元禁止がかかり個別リモコンからの操作は不可に、空調も一括停止となる。

・上記要件を満足すること。

・下記系統図は参考であり、操作条件を満たすための機器等は本工事に含む。



(※A)　室内外連絡線　：EM-CEES1.25°-2C
同期信号線　：EM-CEES1.25°-2C
インバーター通信線：EM-CEES1.25°-2C

(鋼板製屋内壁掛形・標準色仕上)

・空調用個別ﾘﾓｺﾝ　×6

・搬送ファン用ﾘﾓｺﾝ　×5

・ｷｰｽｲｯﾁ(ﾀｷﾋｹﾞﾝS-430-90-B-1)　×1　※キー8本

特記事項

斉藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋藤出

検印　設計

設計年月日　R 7. 1.30

変更年月日

工事名称　川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事

図面名称　(広谷小学校)
空調制御仕様書

Scale N/S

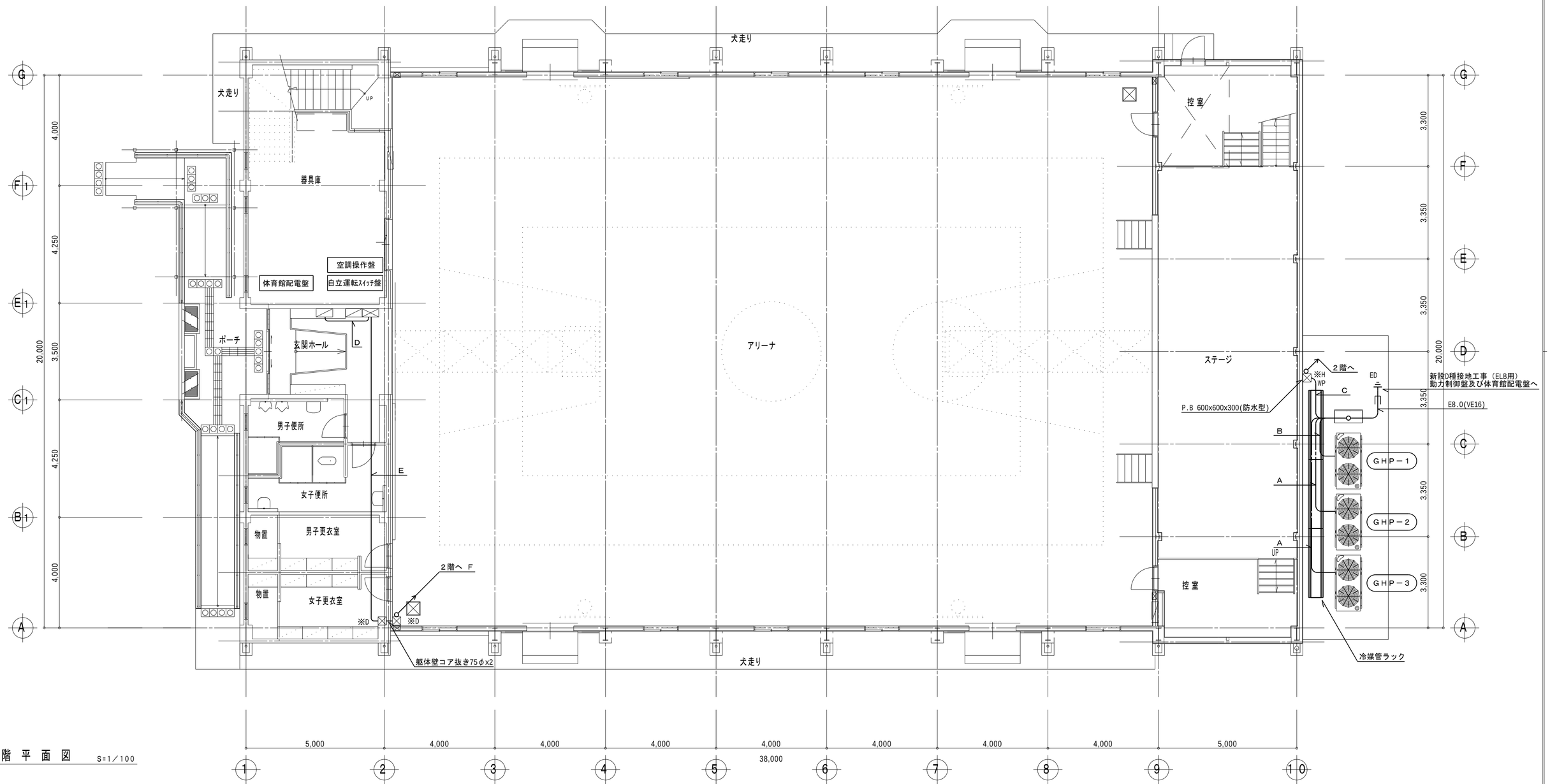
No.　EH-01

	注　記
1.	プルボックスサイズ仕様は下記とし、WPは防水型とする
2.	※A：150×150×150　錆止め塗装E端子付
	※B：200×200×200　錆止め塗装E端子付
	※C：300×300×300　錆止め塗装E端子付
	※D：600×600×300　錆止め塗装E端子付
	※E：600×600×600　錆止め塗装E端子付
	※F：150×150×150（防水型）SUS　E端子付
	※G：300×300×300（防水型）SUS　E端子付
	※H：600×600×600（防水型）SUS　E端子付
3.	室内機電源、搬送ファン電源についてはEM-EEF2.0-3C(1CE)x2を
	冷媒配管に共巻きとして見込むものとする。
4.	躯体コア抜きに際し事前にアスベスト含有調査報告を行うこと。
5.	P1からP4は屋内機や搬送ファンの組み合わせを示す。

	注　記
1.	室外機廻り配線については、選定した空調機器
	メーカーの配線要領によるため、参考図とする
2.	GHP屋外機及び動力制御盤はGL+1000基礎上
	に設置となるため立上を見込むこと。

記号	配管配線内訳		種別
A	EM-CE5.5° -3C(1CE)	FEP50～ 冷媒管ラック～ F2-24防水	GHP屋外機電源
B	EM-CE5.5° -3C(1CE)	FEP50～ 冷媒管ラック～ F2-24防水	GHP屋外機電源
	EM-CE8° -2C	FEP50～ 冷媒管ラック～ F2-24防水	自立出力
C	EM-CE60° -2C+E8°	FEP50～冷媒管ラック～GZ54	屋外機用入力電源
	EM-CE8° -2C	FEP50～ 冷媒管ラック～ GZ54	照明負荷（非常）
	EM-CE22° -2C		コンセント負荷（非常）
	EM-EEF2.0-3C(1CE)x3	FEP50～ 冷媒管ラック～ 冷媒管共巻	GHP屋内機電源
	EM-EEF2.0-3C(1CE)x3		搬送ﾌｧﾝ電源

記号	配管配線内訳		種別
D	EM-EEF2.0-3C(1CE)	天井内	空調操作盤制御電源
E	EM-EEF2.0-2Cx5	天井内	搬送ファンスイッチ
	EM-CE60° -2C+E8°		屋外機用入力電源
	EM-CE8° -2C		照明負荷（非常）
	EM-CE22° -2C		コンセント負荷（非常）
F	EM-EEF2.0-2Cx5	(E51)	搬送ファンスイッチ
	EM-CE60° -2C+E8°	(E63)	屋外機用入力電源
	EM-CE8° -2C	(E63)	照明負荷（非常）
	EM-CE22° -2C		コンセント負荷（非常）



1 階 平 面 図　S=1／100

特記事項

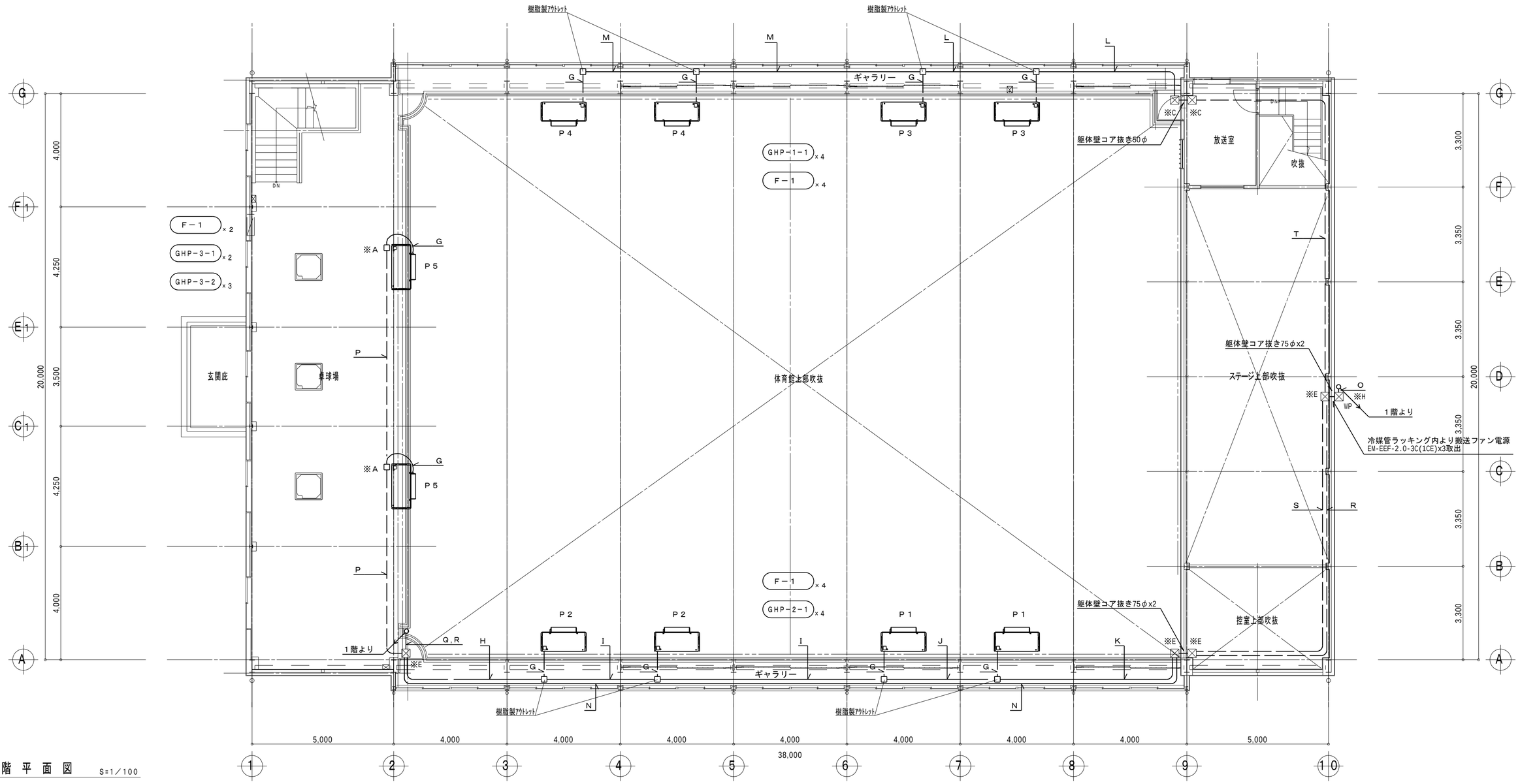
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤	R 7．1．30	川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事	EH-02
		変更年月日	図面名称 (広谷小学校) 電気設備1階平面図	Scale 1／100

	注　記
1.	プルボックスサイズ仕様は下記とし、WPは防水型とする
2.	※A：150×150×150　錆止め塗装E端子付
	※B：200×200×200　錆止め塗装E端子付
	※C：300×300×300　錆止め塗装E端子付
	※D：600×600×300　錆止め塗装E端子付
	※E：600×600×600　錆止め塗装E端子付
	※F：150×150×150（防水型）SUS　E端子付
	※G：300×300×300（防水型）SUS　E端子付
	※H：600×600×600（防水型）SUS　E端子付
3.	室内機電源、搬送ファン電源についてはEM-EEF2.0-3C(1CE)x2を
	冷媒配管に共巻きとして見込むものとする。
4.	躯体コア抜きに際し事前にアスベスト含有調査報告を行うこと。
5.	P1からP4は屋内機や搬送ファンの組み合わせを示す。

記号	配管配線内訳		種別
G	EM-EEF2.0-3C(1CE)	(PF22)	搬送ファン電源
H	EM-EEF2.0-3C(1CE)	天井内	搬送ファン電源
	EM-EEF2.0-2Cx4		搬送ファンスイッチ
I	EM-EEF2.0-3C(1CE)X3	天井内	搬送ファン電源
	EM-EEF2.0-2Cx3		搬送ファンスイッチ
J	EM-EEF2.0-3C(1CE)x3	天井内	搬送ファン電源
	EM-EEF2.0-2Cx2		搬送ファンスイッチ
K	EM-EEF2.0-3C(1CE)x2	天井内	搬送ファン電源
	EM-EEF2.0-2Cx2		搬送ファンスイッチ
L	EM-EEF2.0-3C(1CE)x2	天井内	搬送ファン電源
M	EM-EEF2.0-3C(1CE)	天井内	搬送ファン電源
N	EM-CE60˝-2C+E8˝	天井内	屋外機用入力電源
	EM-CE8˝-2C		照明負荷（非常）
	EM-CE22˝-2C		コンセント負荷（非常）

記号	配管配線内訳		種別
O	EM-CE60˝-2C+E8˝	(GZ54)	屋外機用入力電源
	EM-CE8˝-2C	(GZ54)	照明負荷（非常）
	EM-CE22˝-2C		コンセント負荷（非常）
P	EM-EEF2.0-3C(1CE)	(E31)	搬送ファン電源
Q	EM-EEF2.0-2Cx5	(E51)	搬送ファンスイッチ
R	EM-CE60˝-2C+E8˝	(E63)	屋外機用入力電源
	EM-CE8˝-2C	(E63)	照明負荷（非常）
	EM-CE22˝-2C		コンセント負荷（非常）
S	EM-EEF2.0-3C(1CE)x2	(E39)	搬送ファン電源
	EM-EEF2.0-2Cx2		搬送ファンスイッチ
T	EM-EEF2.0-3C(1CE)x2	(E31)	搬送ファン電源



2 階 平 面 図　S=1／100

特記事項

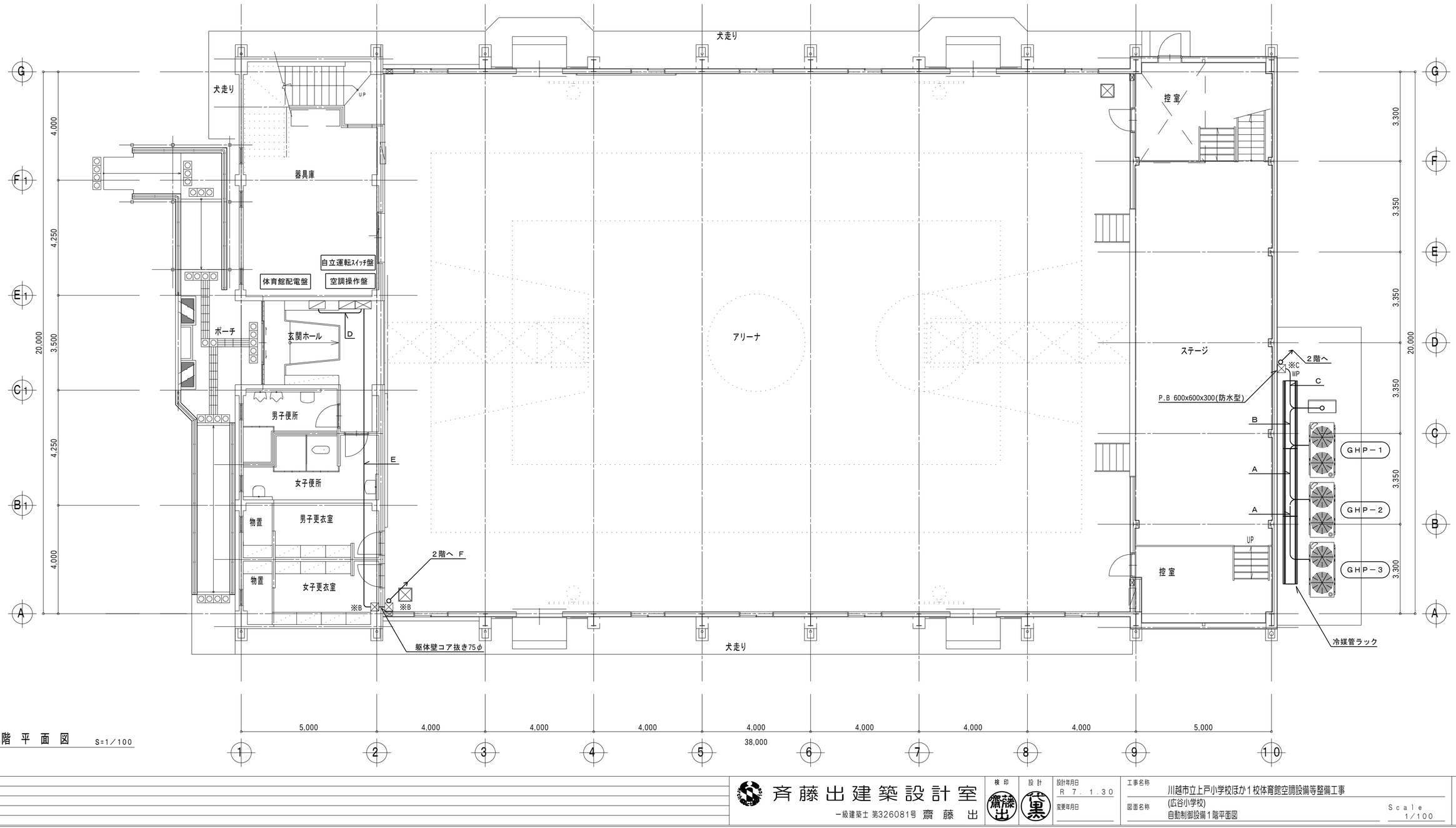
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 7．1．30	川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事	EH-03
		変更年月日	(広谷小学校)	
			図面名称 電気設備2階平面図	Scale 1／100

注　記
1.　プルボックスサイズ仕様は下記とし、WPは防水型とする
2.　※A：150×150×150　錆止め塗装
※B：200×200×200　錆止め塗装
※C：200×200×200（防水型）SUS
3.　室内機制御配線渡り配線についてはEM-CEES1.25˚-2C
を冷媒配管共巻きとして見込むものとする。
4.　躯体コア抜きに際し事前にアスベスト含有調査報告を行うこと。
5.　P1からP5は屋内機や搬送ファンの組み合わせを示す。

記号	配管配線内訳		種別
A	EM-CEES1.25˚-2C	F2-38 防水～ 冷媒管ラック～ F2-38 防水	屋外機渡り線
	EM-CEES1.25˚-2C		同期信号線
	EM-CEES1.25˚-2C		インバーター間通信線
B	EM-CEES1.25˚-2C	FEP30(復電信号線 ・自立負荷リレー線 のみ）～冷媒管ラッ ク～F2-63防水	復電信号線
	EM-CEES1.25˚-2C		自立負荷接続リレー線
	EM-CEE1.25˚-2Cx3		自立SW,ランプ線
C	EM-CEE1.25˚-2Cx3	冷媒管ラック～ F2-38防水～ GZ36	自立SW,ランプ線

記号	配管配線内訳		種別
D	EM-CE2˚-2C	天井内	照明制御線
E	EM-CEES1.25˚-2Cx6	天井内	個別リモコン線
	EM-CEES1.25˚-2C		空調制御線
	EM-CEE1.25˚-2Cx3		自立SW,ランプ線
F	EM-CEES1.25˚-2Cx6	(E63)	個別リモコン線
	EM-CEES1.25˚-2C		空調制御線
	EM-CEE1.25˚-2Cx3		自立SW,ランプ線



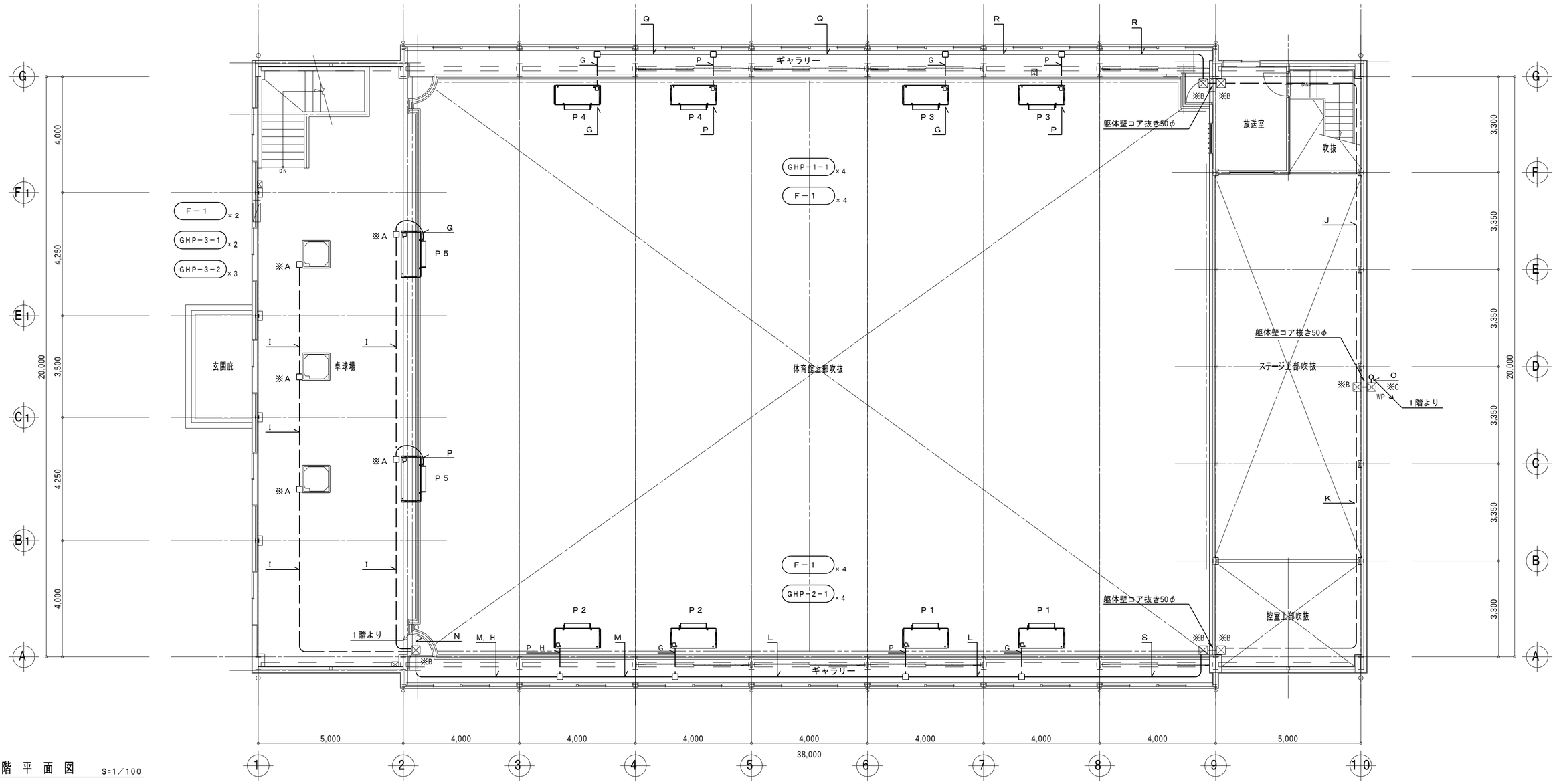
1 階 平 面 図　S=1／100

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検印	設計	設計年月日 R 7．1．30 変更年月日	工事名称 川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事 (広谷小学校) 図面名称 自動制御設備1階平面図 Scale 1／100	No. EH-04

	注　記
1.	プルボックスサイズ仕様は下記とし、WPは防水型とする
2.	※Ａ：150×150×150　錆止め塗装
	※Ｂ：200×200×200　錆止め塗装
	※Ｃ：200×200×200（防水型）SUS
3.	室内機制御配線渡り配線についてはEM-CEES1.25°-2C
	を冷媒配管共巻きとして見込むものとする。
4.	躯体コア抜きに際し事前にアスベスト含有調査報告を行うこと。
5.	P1からP5は屋内機や搬送ファンの組み合わせを示す。

記号	配管配線内訳		種別
G	EM-CEES1.25°-2C	(PF14)	個別リモコン線
H	EM-CEES1.25°-2C	(PF14)	空調制御線
I	EM-CEES1.25°-2C	(E19)	個別リモコン線
J	EM-CEES1.25°-2Cx2	(E31)	個別リモコン線
K	EM-CEES1.25°-2Cx2	(E51)	個別リモコン線
	EM-CEE1.25°-2Cx3		自立SW,ランプ線
L	EM-CEES1.25°-2Cx3	天井内	個別リモコン線
	EM-CEE1.25°-2Cx3		自立SW,ランプ線
M	EM-CEES1.25°-2Cx4	天井内	個別リモコン線
	EM-CEE1.25°-2Cx3		自立SW,ランプ線
N	EM-CEES1.25°-2Cx6	(E63)	個別リモコン線
	EM-CEES1.25°-2C		空調制御線
	EM-CEE1.25°-2Cx3		自立SW,ランプ線
O	EM-CEE1.25°-2Cx3	(GZ36)	自立SW,ランプ線

記号	配管配線内訳		種別
P	EM-CEES1.25°-2Cx2	(PF14)	個別リモコン線
Q	EM-CEES1.25°-2C	天井内	個別リモコン線
R	EM-CEES1.25°-2Cx2	天井内	個別リモコン線
S	EM-CEES1.25°-2Cx2	天井内	個別リモコン線
	EM-CEES1.25°-2Cx3		自立SW,ランプ線



2 階 平 面 図　S=1／100

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 7．1．30 / 変更年月日	工事名称 川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事 (広谷小学校) / 図面名称 自動制御設備２階平面図 / Scale 1／100	No. EH-05

■ 建築工事仕様

（1）質問回答書、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。

（2）本特記仕様書の表記
1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、Bl の付いたものを適用する。Bl の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
3）[　.　.]内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示し、(　.　.)内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。

章	項目	特記事項
① 鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類 [8.2.1] 種類の記号 / 呼び径(mm) / 備考 ○D295 / ※D16以下 / 架台 ・SD345 / ※D19以上 /
	② 溶接金網	形状等 [8.2.2] 種類 / 種類の記号 / 網目の形状、寸法、鉄線の径(mm) / 使用部位 ○溶接金網 / JIS G3551 / 150角 6Φ / ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装 ・鉄筋格子
	③ 鉄筋の継手	鉄筋の継手方法等 [8.3.4][8.4.2～3] 部位 / 継手方法 / 呼び径(mm) 柱、梁の主筋 / ・ガス圧接・機械式継手 ・溶接継手 / ※D19以上 耐力壁の鉄筋 / ・重ね継手 ・ / 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 / ○重ね継手 ・ガス圧接 / その他の鉄筋(　) / ○重ね継手 ・ /
		継手位置 ・図示による （構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1）
	④ 鉄筋の定着	鉄筋の定着長さ (5.3.4) ・図示による（ 40d ）
	⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5.3.5) ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1) ・図示による(　) ・
	⑥ 帯筋配筋	※図示による (5.3.7)
② コンクリート工事	① コンクリートの種類等	類別 [8.1.3、4][8.2.5] ※Ⅰ類（JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート） ・Ⅱ類（JIS A 5308 に適合したコンクリート） 普通コンクリート ※図示による
		呼び強度(N/mm2) / 気乾単位容積質量(t/m3) / スランプ / 適用箇所 ○24 / 2.3程度 / ・15又は18 ○18 / 基礎部 ○18 / 2.3程度 / ○5又は18 ・18 / 捨てコン
	② セメント	種類 [8.2.5] ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所（※下記以外全て ・ ） 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。
	③ 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 [8.2.5] ※A・B(コンクリート中のアルカリ総量が3.0 kg/m3 以下)
	④ 混和材料	・混和剤 [8.2.5] 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・ ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による ・
	⑤ ｺﾝｸﾘｰﾄの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [8.1.4][8.2.7] 種別 / 適用箇所 ・A種 / ※図示による(　) ○B種 / ※図示による(　) ・C種 / ※図示による(　)
	⑥ 型枠	せき板の材料及び厚さ (6.8.2)[8.2.7] ○合板（※12mm ・ G 存置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合 （※図示による(　) ・ ）
③ 鉄骨工事	① 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5] 建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」により評価を受け、国土交通大臣から認定を受けた工場、又は同等以上の 評価の区分 ※(R)グレード ・指定しない 能力のある工場
	② 施工管理技術者	配置する [8.1.6]
	③ 鋼材	種類等 [8.2.8] 種類の記号 / 適用箇所(主要な部分) / 規格 SN400B / H形鋼 / ○JIS規格による ・ SN400B / 普通鋼板 / ○JIS規格による ・
		溶融亜鉛めっき工法の適用箇所 ○室内機取付支持材及び屋外架台
	④ 高力ボルト	ボルトの種類 [8.2.9] ・トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ○溶融亜鉛めっき高力ボルト ・ワンサイドボルト
		ボルトのねじの呼び ○図示による( ) [8.13.2]
		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ○図示による ・構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びボルト間隔
		摩擦面の処理方法等 [8.14.2][8.20.5] 溶融亜鉛めっき以外 ※標準仕様書7.4.2(1)による ・ 溶融亜鉛めっき面 ○リン酸処理 ・ブラスト処理（表面粗度50μm Rz以上） ・ブラスト処理以外の特別な処理方法 ・ボルト穴廻りメッキ時養生 ○鉄骨組立後に溶融亜鉛メッキの欠陥部分の補修 （表 14・2・4)を行う。
	⑤ ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	○構造用アンカーボルト（JIS B 1220） (7.2.4)(7.10.3) 種類 ○ABR400 ・ABR490 ・
	⑥ 溶接材料	溶接材料 [8.2.10] ○8.2.10](1)、(2)による ・[8.2.10](1)、(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・図示による( )
	⑦ 溶接部の試験	H12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 [8.15.12] ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査②
		JASS 6 付則6[鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する確認方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。
		完全溶込み溶接部の超音波探傷試験（第三者機関） ・工場溶接の場合 ※全数 ・ ・工事現場溶接の場合 ※全数 ・
	⑧ 溶融亜鉛めっき	種別等 [8.20.4][表8.20.1] 亜鉛めっきの種別 / 材料 / 適用部位 ・A種 / 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板 / 鉄骨架台 ・B種 / 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 / ・C種 / 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 /
		外観検査 ※行う ・行わない

■アスベスト含有調査結果表 (体育館)

階	部位	材料名	アスベスト含有	施工年度	調査年度
	外壁	防火サイディング、吹付タイル	・有り ⊙無し ・未調査	平成23年	平成18年以降建材調査不要
	軒裏	ケイカル板	・有り ⊙無し ・未調査	平成23年	平成18年以降建材調査不要
1	玄関ホール天井	化粧石膏ボード	・有り ⊙無し ・未調査	平成23年	平成18年以降建材調査不要
	玄関ホール壁	吹付タイル	○有り ・無し ・未調査	昭和52年	令和6年
	女子便所天井	ケイカル板	・有り ⊙無し ・未調査	平成23年	平成18年以降建材調査不要
	更衣室天井	化粧石膏ボード	・有り ⊙無し ・未調査	平成23年	平成18年以降建材調査不要
	器具庫天井	吹付タイル	・有り ⊙無し ・未調査	平成23年	平成18年以降建材調査不要
	更衣室天井	化粧石膏ボード	・有り ⊙無し ・未調査	平成23年	平成18年以降建材調査不要
	競技場壁	シナ合板	・有り ⊙無し ・未調査	平成23年	平成18年以降建材調査不要
2	ギャラリー天井	化粧石膏ボード	・有り ⊙無し ・未調査	平成23年	平成18年以降建材調査不要
	ギャラリー壁	EP-G塗	・有り ⊙無し ・未調査	平成23年	平成18年以降建材調査不要
	放送室天井	化粧石膏ボード	・有り ⊙無し ・未調査	平成23年	平成18年以降建材調査不要
	卓球場壁	EP-G塗	・有り ⊙無し ・未調査	平成23年	平成18年以降建材調査不要

※未調査箇所については、本工事にて、アスベスト検体分析調査(定性分析)を行い、調査結果を監督員へ報告すること。
※採取箇所は、コーキング等で補修のこと。

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印 齋藤出 / 設計 齋藤出

設計年月日 R 7．1．30
変更年月日 R 6．00．00

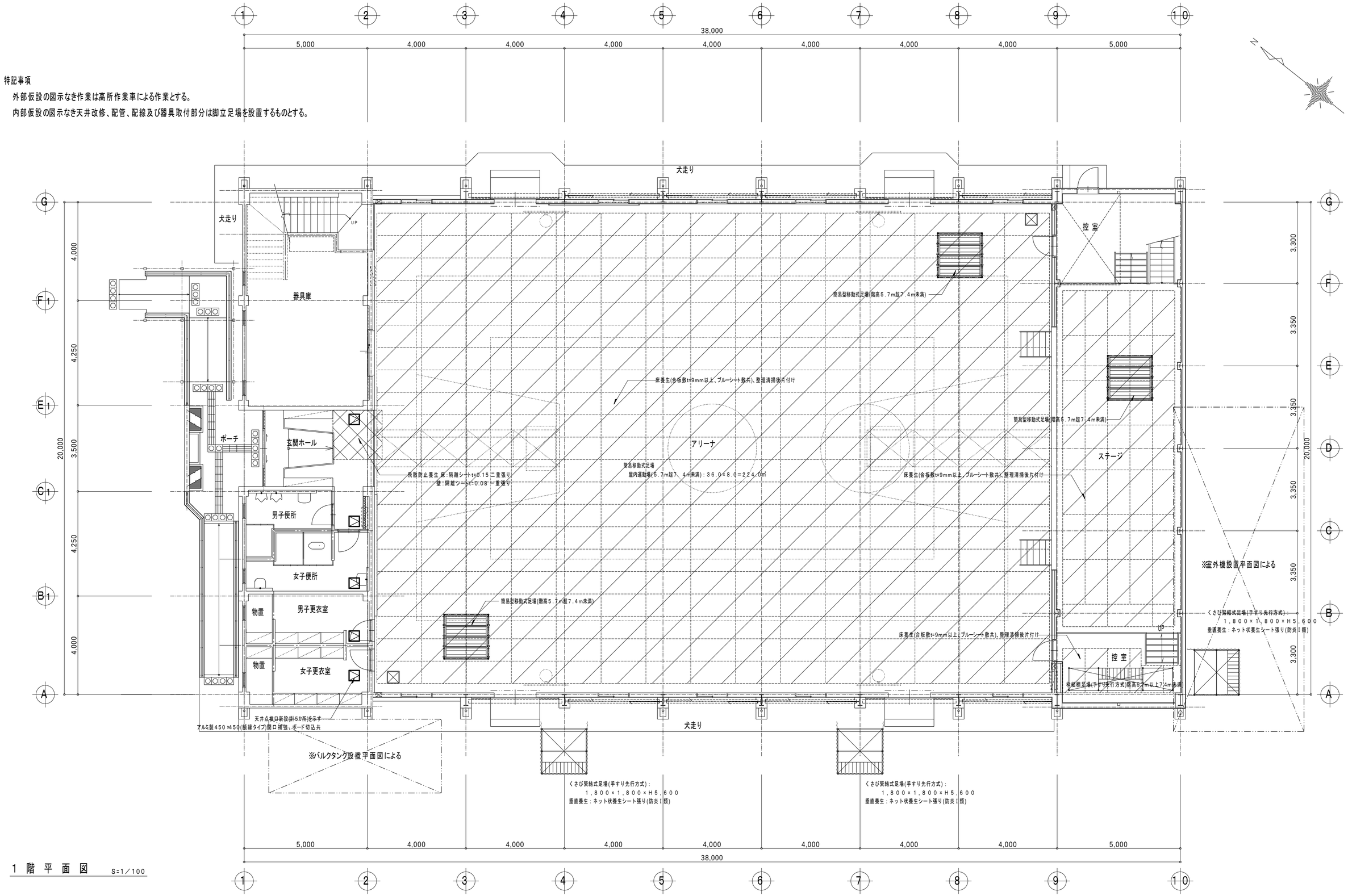
工事名称 川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事
図面名称 (広谷小学校) 建築工事特記仕様書
Scale

No. AH-01

特記事項

外部仮設の図示なき作業は高所作業車による作業とする。

内部仮設の図示なき天井改修、配管、配線及び器具取付部分は脚立足場を設置するものとする。



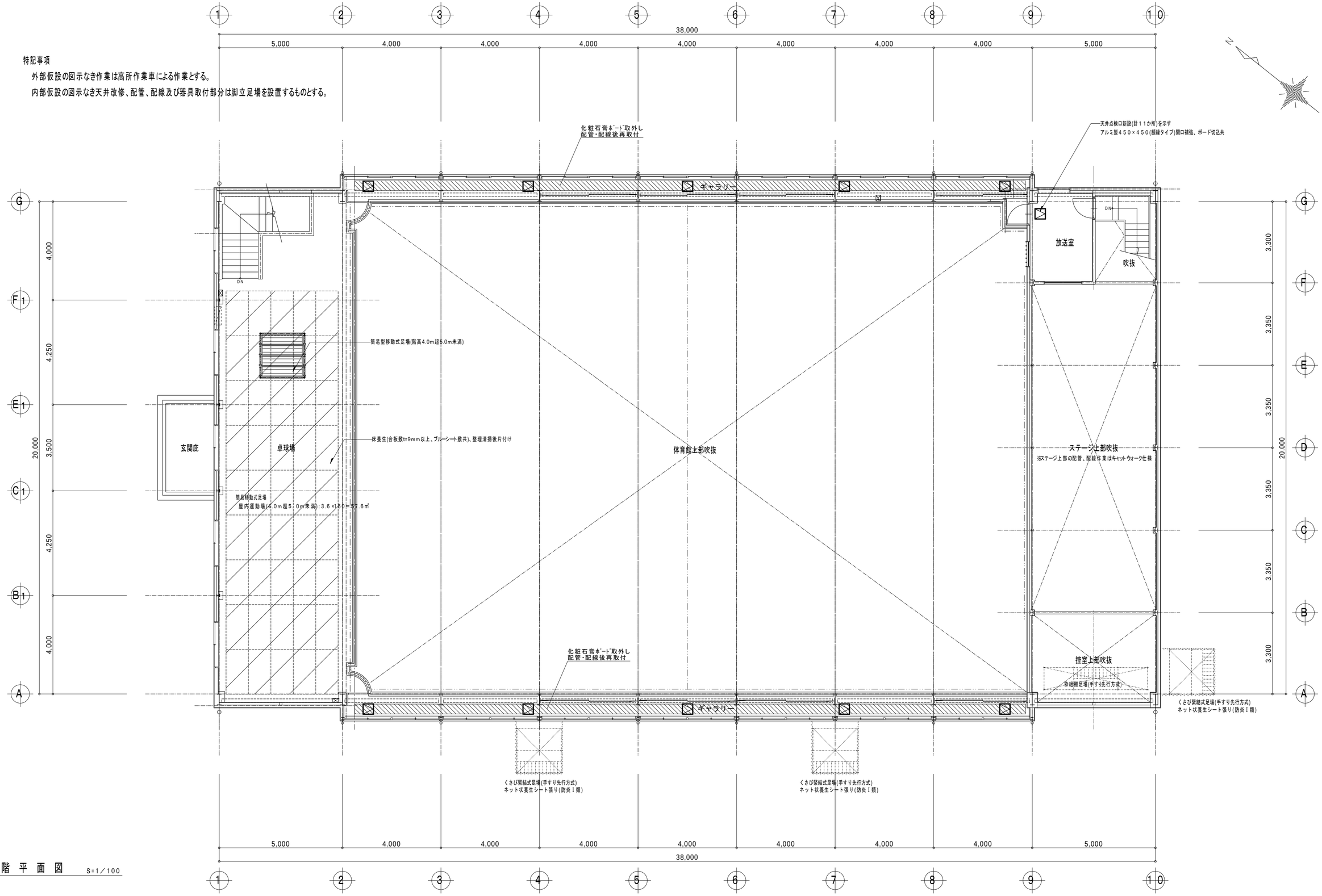
1 階 平 面 図　S=1／100

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R 7. 1. 30	工事名称 川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事	No.
				変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 (広谷小学校) 1階平面図	Scale 1／100
						AH-02

特記事項

外部仮設の図示なき作業は高所作業車による作業とする。

内部仮設の図示なき天井改修、配管、配線及び器具取付部分は脚立足場を設置するものとする。



2 階 平 面 図　S=1／100

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R 7. 1. 30 / 変更年月日 R 7.00.00	工事名称 川越市立上戸小学校ほか１校体育館空調設備等整備工事	No.	
		齋藤出	齋藤出		図面名称 (広谷小学校) 2階平面図	Scale 1／100	AH-03

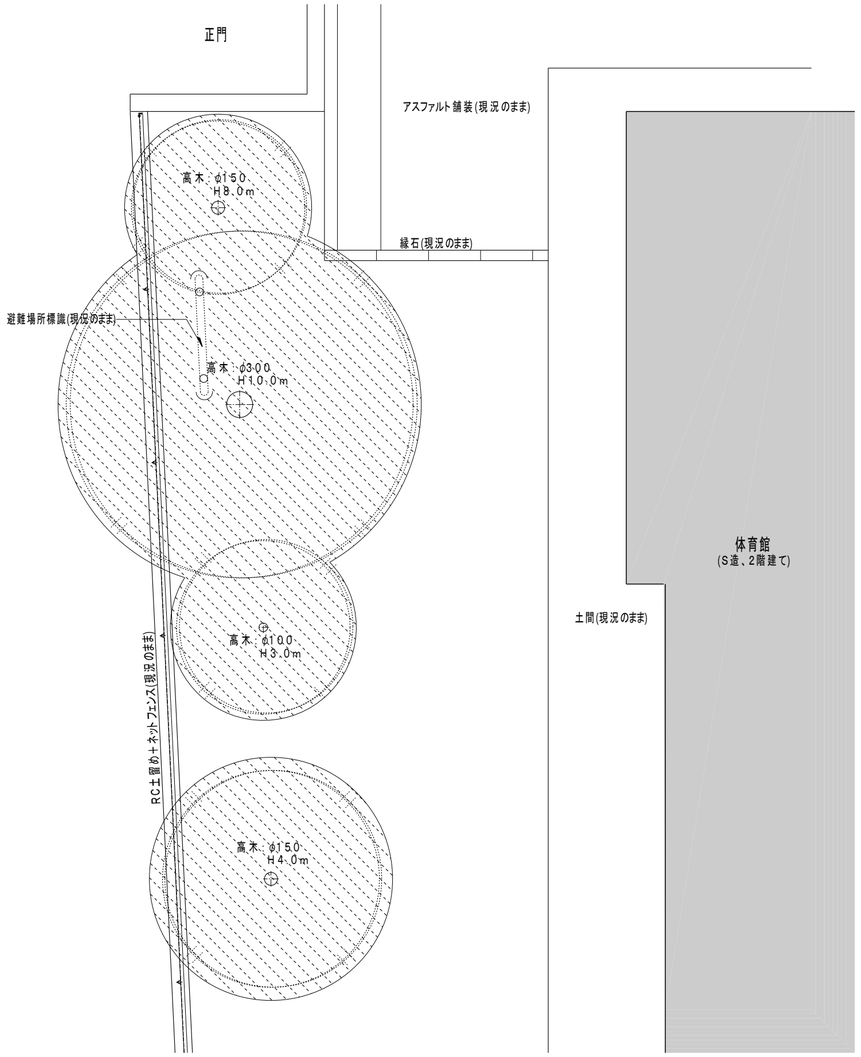
現況

凡 例

撤去範囲を示す

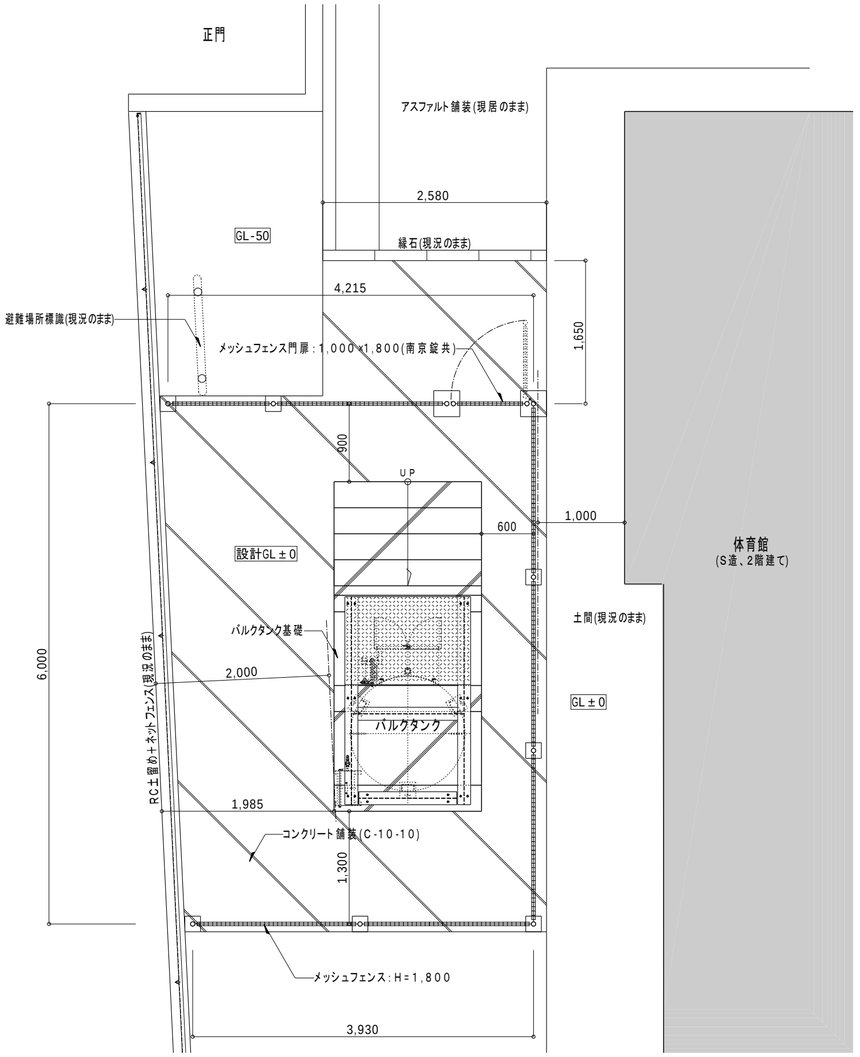
※範囲内の樹木、切株は全て撤去(伐採、伐根)とする。

※その他は図示による。



バルクタンク設置平面図 S=1／50

改修



バルクタンク設置平面図 S=1／50

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検図	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 7. 1. 30	川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事	AH-04
		変更年月日	図面名称	Scale
		R 7. 00. 00	(広谷小学校) 現況・改修 バルクタンク設置平面図	1／50

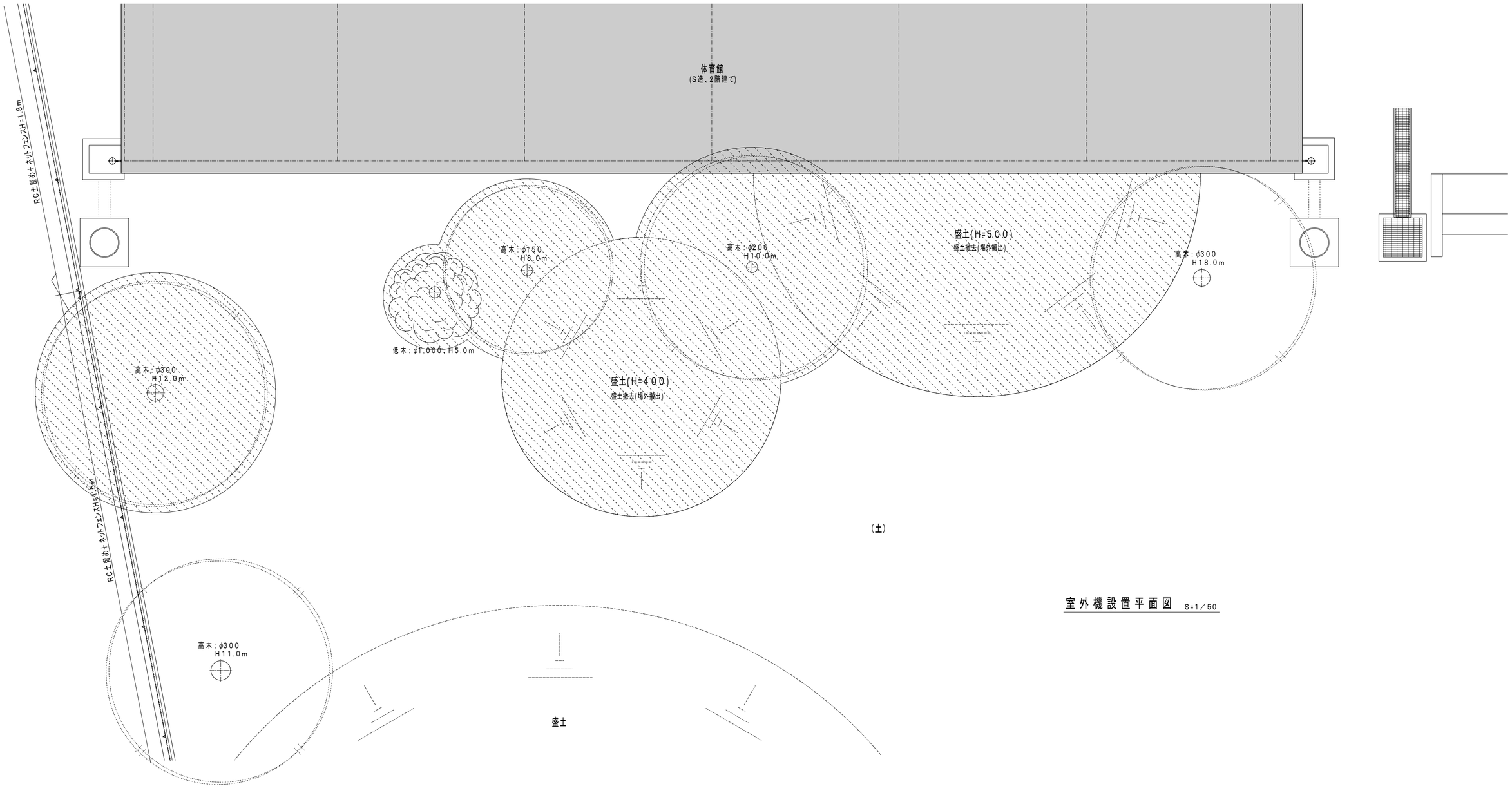
現況

凡 例

撤去範囲を示す

※範囲内の樹木、切株は全て撤去(伐採、伐根)とする。

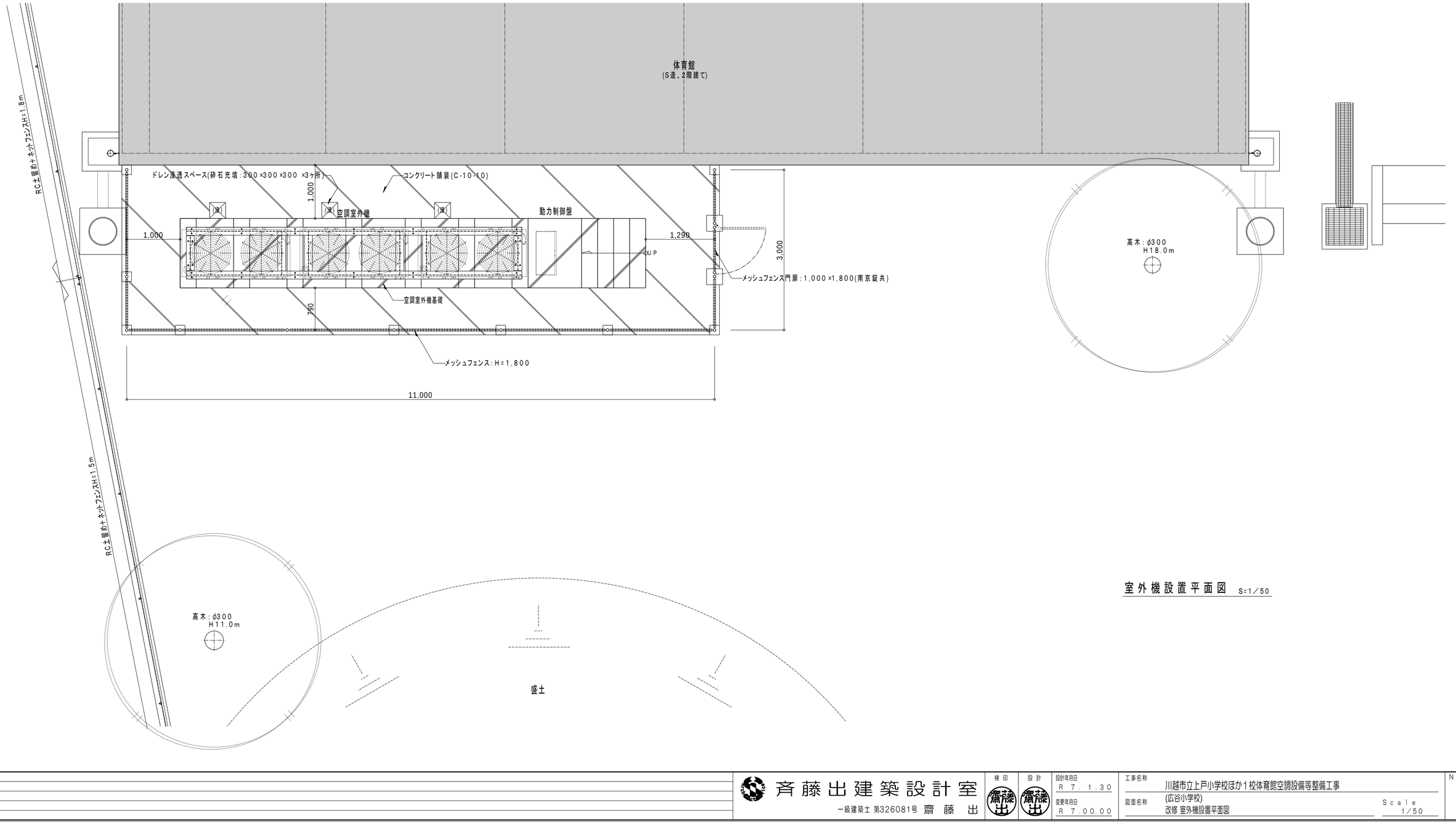
※その他は図示による。



室外機設置平面図 S=1/50

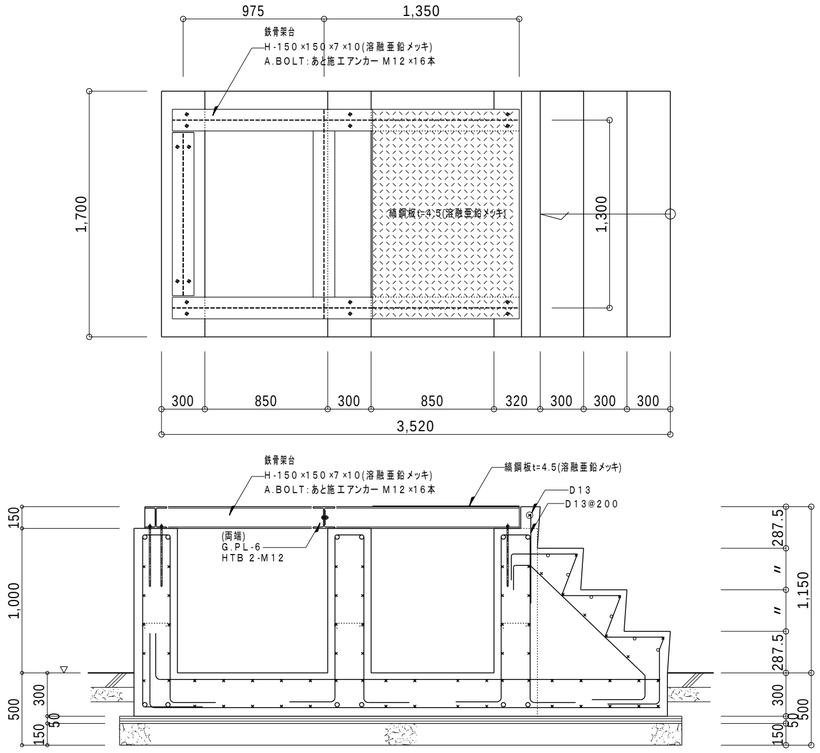
特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R 7. 1. 30	工事名称	川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事	No.
				変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称	(広谷小学校) 現況 室外機設置平面図	Scale 1/50
							AH-05

改修



室外機設置平面図 S=1/50

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検印	設計	設計年月日 R 7. 1. 30 変更年月日 R 7. 00. 00	工事名称 川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事 図面名称 (広谷小学校) 改修 室外機設置平面図	Scale 1/50	No. AH-06

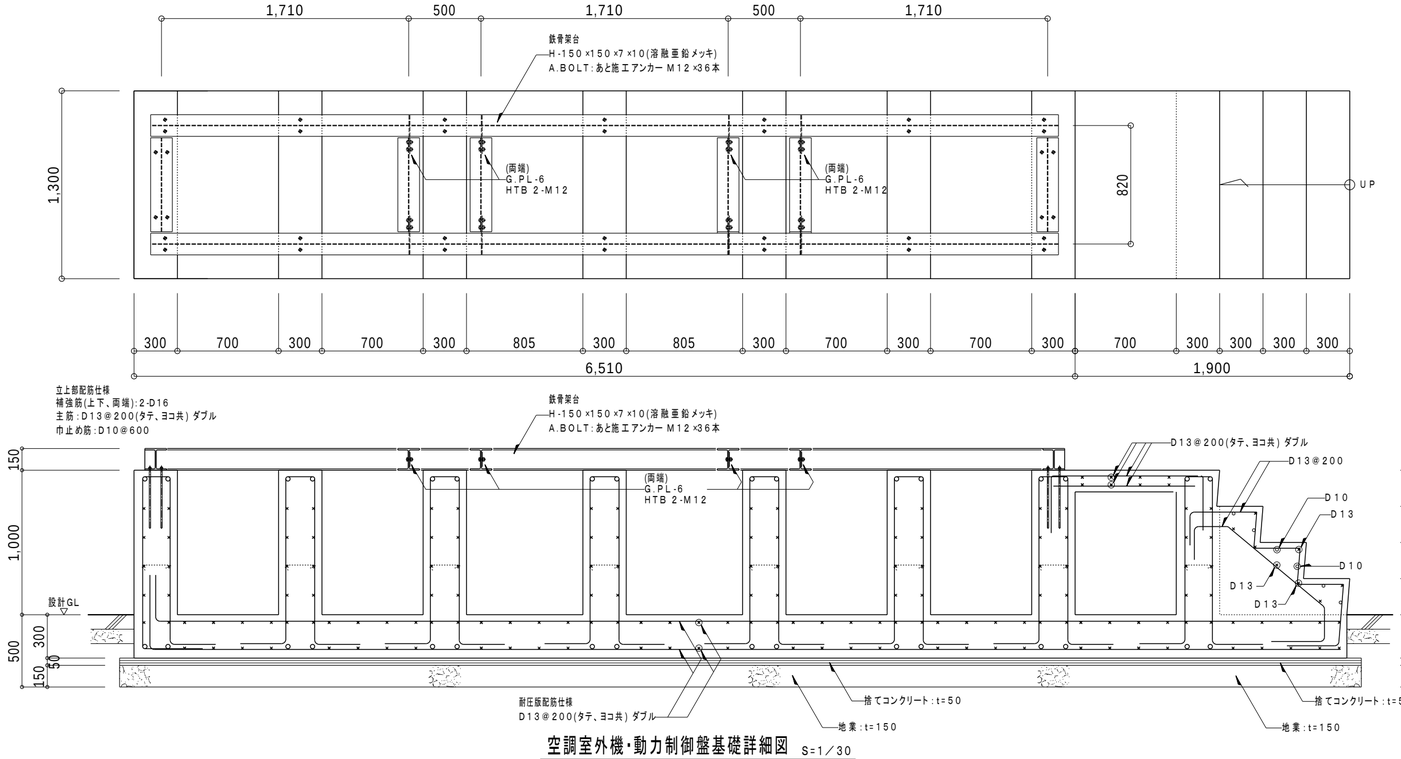


バルクタンク基礎詳細図 S=1／30

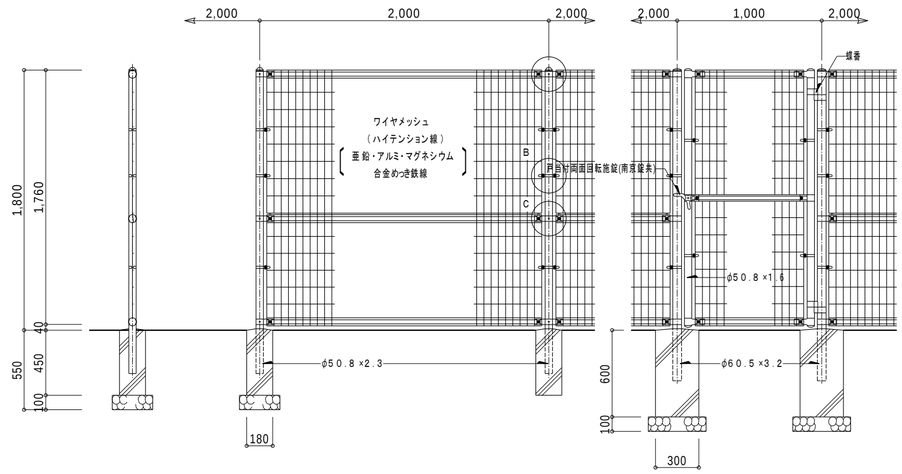
※立上部、耐圧版、階段の配筋は空調室外機・動力制御盤基礎と同じ
※階段側面はひび割れ防止筋として、D10@200を配筋する。

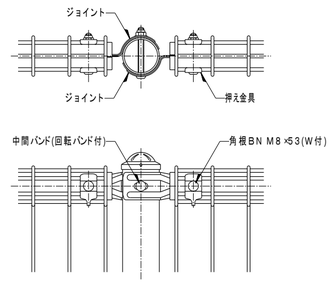
特記事項(室外機基礎、バルクタンク基礎共通)

地業:再生クラッシュランt=150
鉄筋:SD295、SD345(重ね継手40d)
捨てコンクリート:呼び強度18、S15又は18
基礎コンクリート:呼び強度24、S18
型枠:打放型枠(B種)
鉄骨:SN400B溶融亜鉛メッキ
あと施エアンカー:接着系 M12
※指示なき部分はC5面取りとする。
※仕上はコンクリート直金ごて押えとする。
※あと施エアンカーは、耐震設計書の引き抜き試験値にて種類ごとに引張試験を行い耐震上問題ないことを確認すること。
※( )寸法は参考とし、選定機種等の設置条件により決定の事こと。

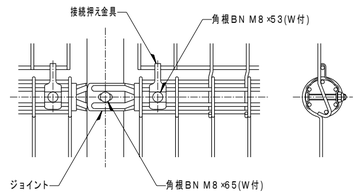


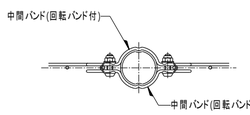
空調室外機・動力制御盤基礎詳細図 S=1／30

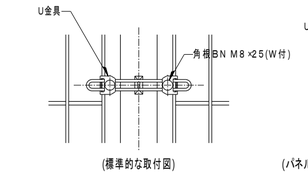




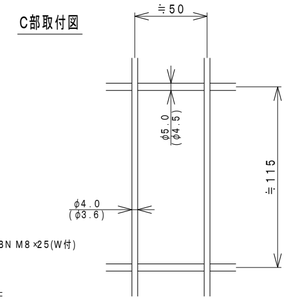
A部取付図



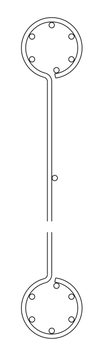




B部取付図



ワイヤメッシュ図



パネル断面図

C部取付図

メッシュフェンス・扉詳細図 S=1／30

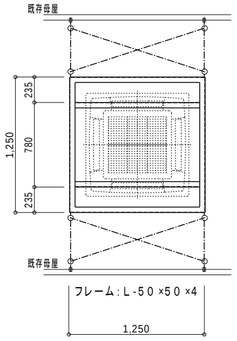
設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力による
基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN／㎡(10t／㎡)
外装について
・主柱、ジョイント
押え金具
ワイヤメッシュ --- 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・上部パネルバンド --- 亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・下部パネルバンド --- 溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・U 型 金 具 --- 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・ボルト、ナット --- 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理
・戸当り付両面回転施錠 --- 溶融亜鉛めっきのみ

特記事項

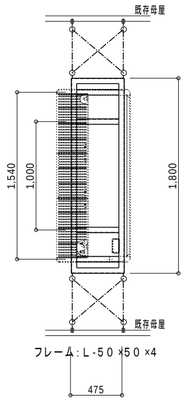
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 7. 1. 30	川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事	AH-07
		変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 (広谷小学校) 各部詳細図	Scale 1/50

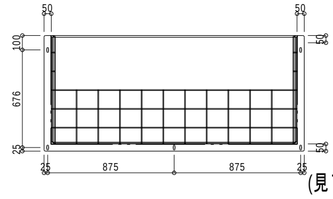
特記事項
・吊ボルト長さが1ｍを超える場合はブレース(斜め材)を入れること。
・吊ボルト、アングル材の選定は公共建築設備標準図による。



4方向カセット形室内機支持参考図



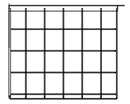
天井吊形室内機(卓球場)支持参考図



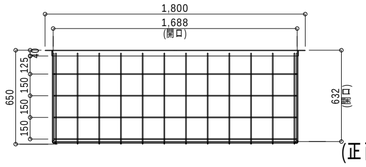
(見下げ)

防球ガード仕様
材質：SS400 t=3.2mm
t=2.3mm
t=6.0mm
φ6丸棒(一部φ12丸棒)
重量：本体約18.5kg
仕上：2.5Y9/1半艶焼付塗装
室内機参考寸法：1,590×690×235(幅×奥行×高さ)(mm)
送風機参考寸法：1,016×197×222(幅×奥行×高さ)(mm)

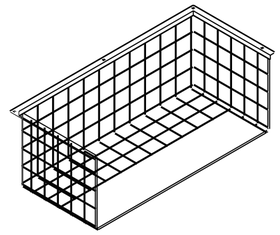
※吊り下げアンカーボルトは1／4又はM6ボルト以上のボルト5本で固定してください。
※取付は監督員と打合せの事。

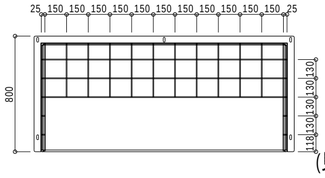


(側面)



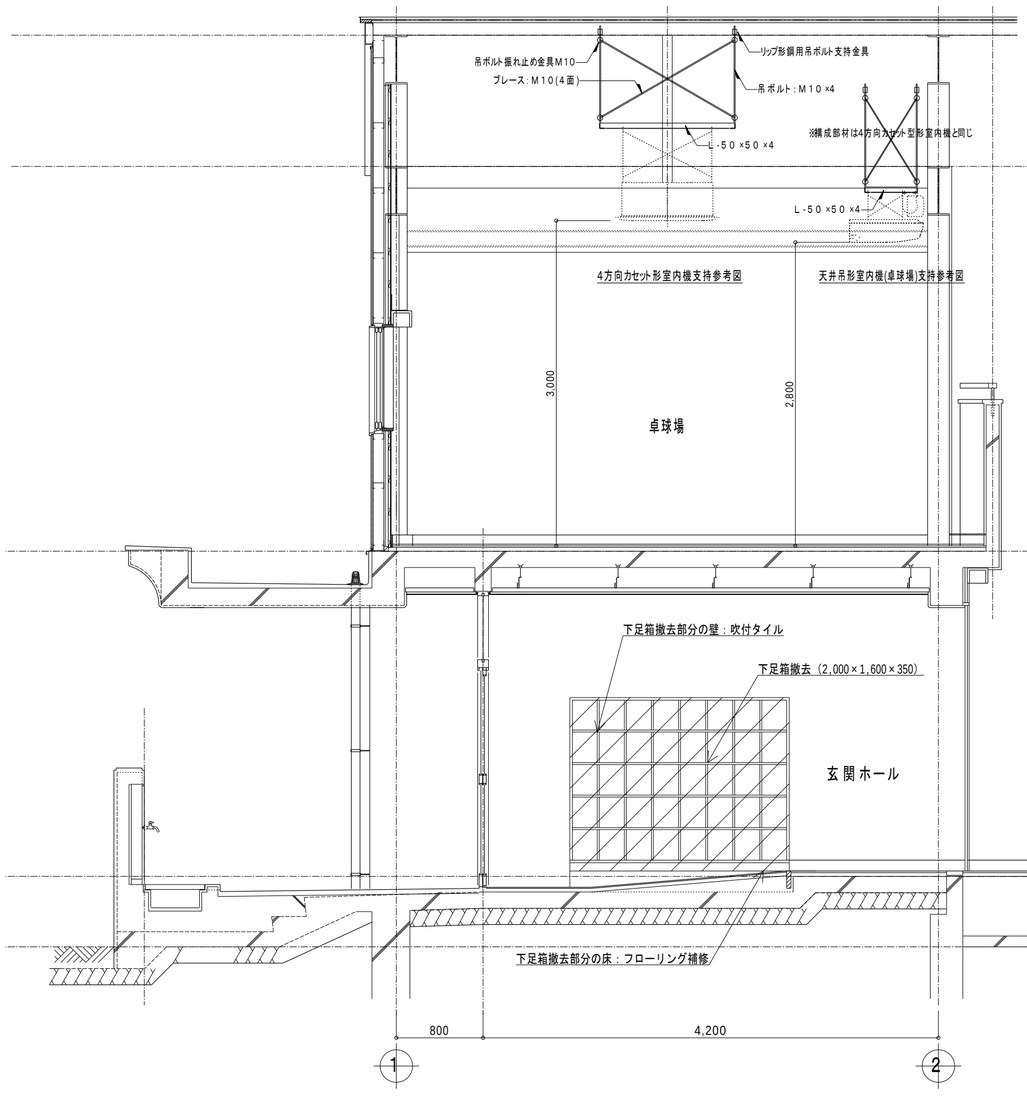
(正面)



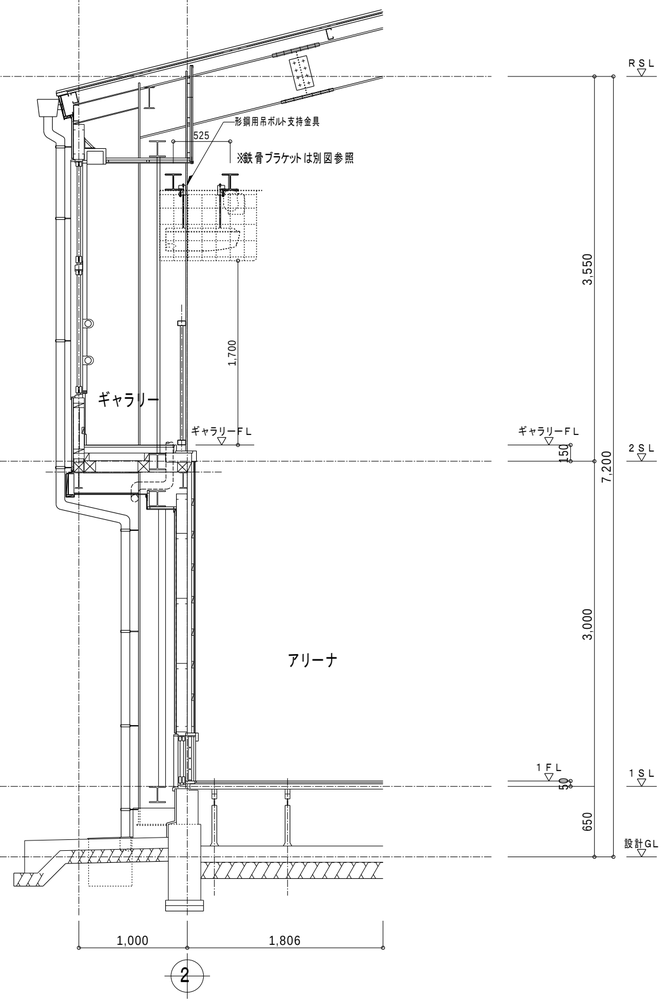


(見上げ)

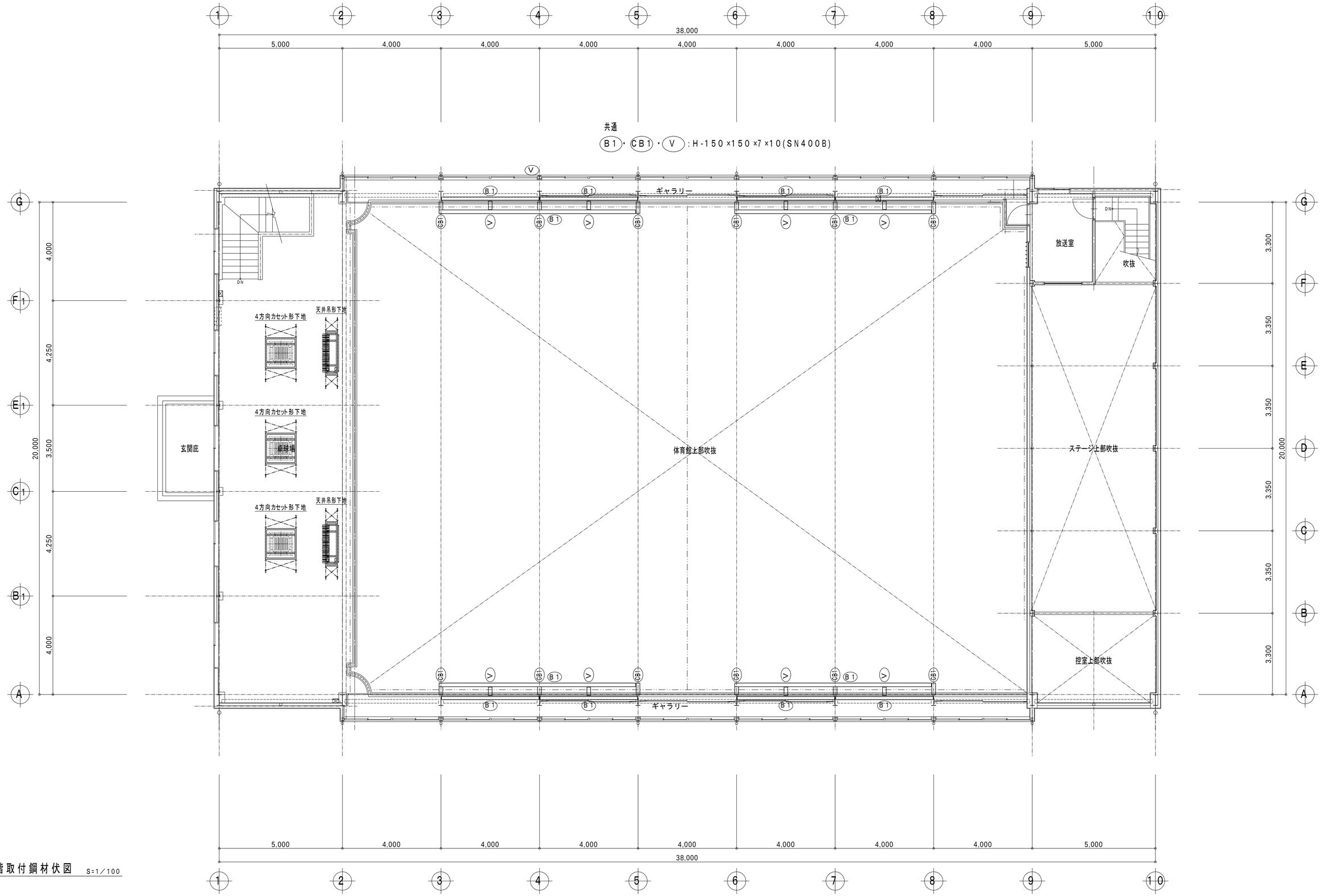
防球ガード参考図



4方向カセット形室内機支持参考図　　天井吊形室内機(卓球場)支持参考図



特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印 齋藤出	設計 齋藤出	設計年月日 R7.1.30 変更年月日 R7.00.00	工事名称 川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事 (広谷小学校) 図面名称 矩計図・室内機支持参考図・防球ガード参考図	Scale 1/40	No. AH-08



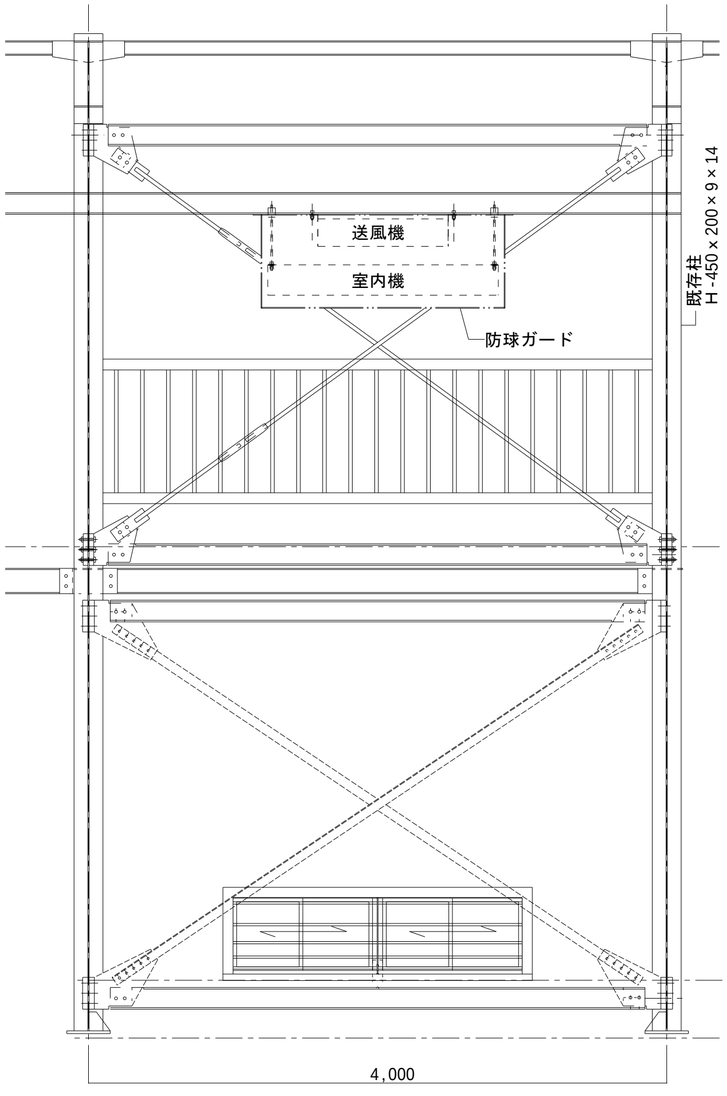
2階取付鋼材伏図　S=1／100

特記事項

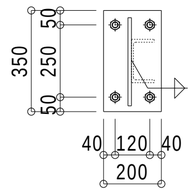
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印	設計	設計年月日	変更年月日
齋藤出	齋藤出	R 7．1．30	R 7．00．00

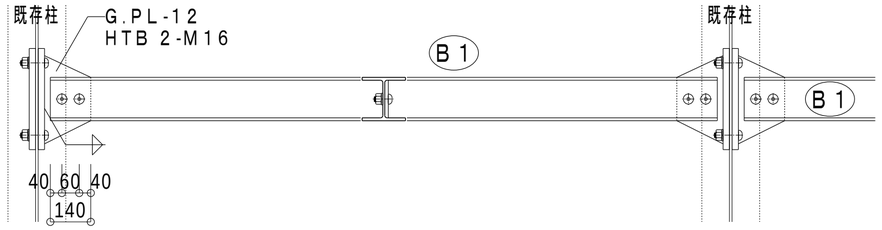
工事名称　川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事
図面名称　(広谷小学校) 2階取付鋼材伏図
Scale　1／100
No.　AH-09



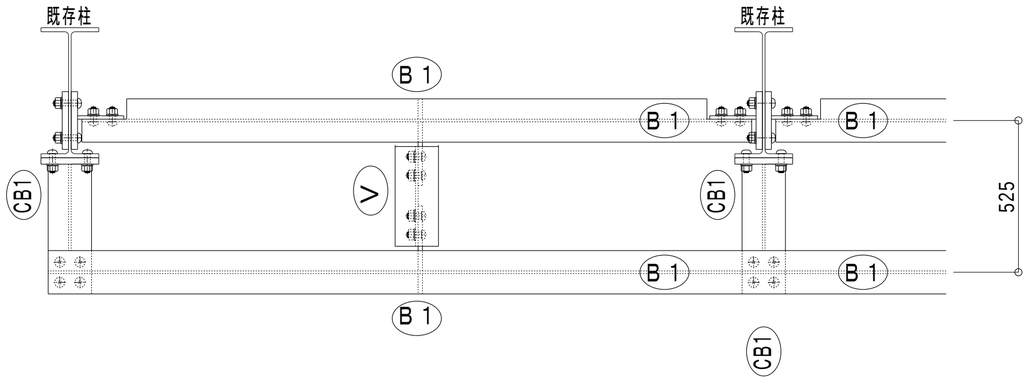
正面図 S=1／30



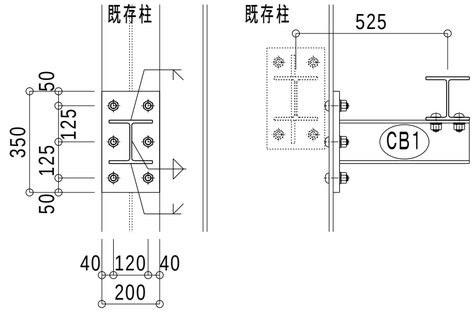
B.PL-22×200×350
HTB 4-M22



B詳細図 S=1／15

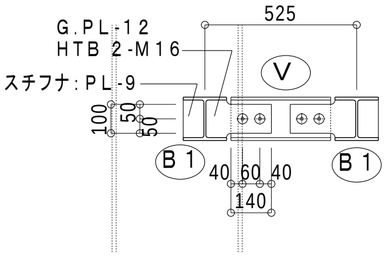


鉄骨ブラケット詳細図 S=1／15



B.PL-22×200×350
HTB 6-M22

CB1詳細図 S=1／15



V詳細図 S=1／15

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 7. 1. 30	川越市立上戸小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事	AH-10
		変更年月日	図面名称	Scale
		R 7. 00. 00	(広谷小学校) 鉄骨ブラケット詳細図	1／30・15